

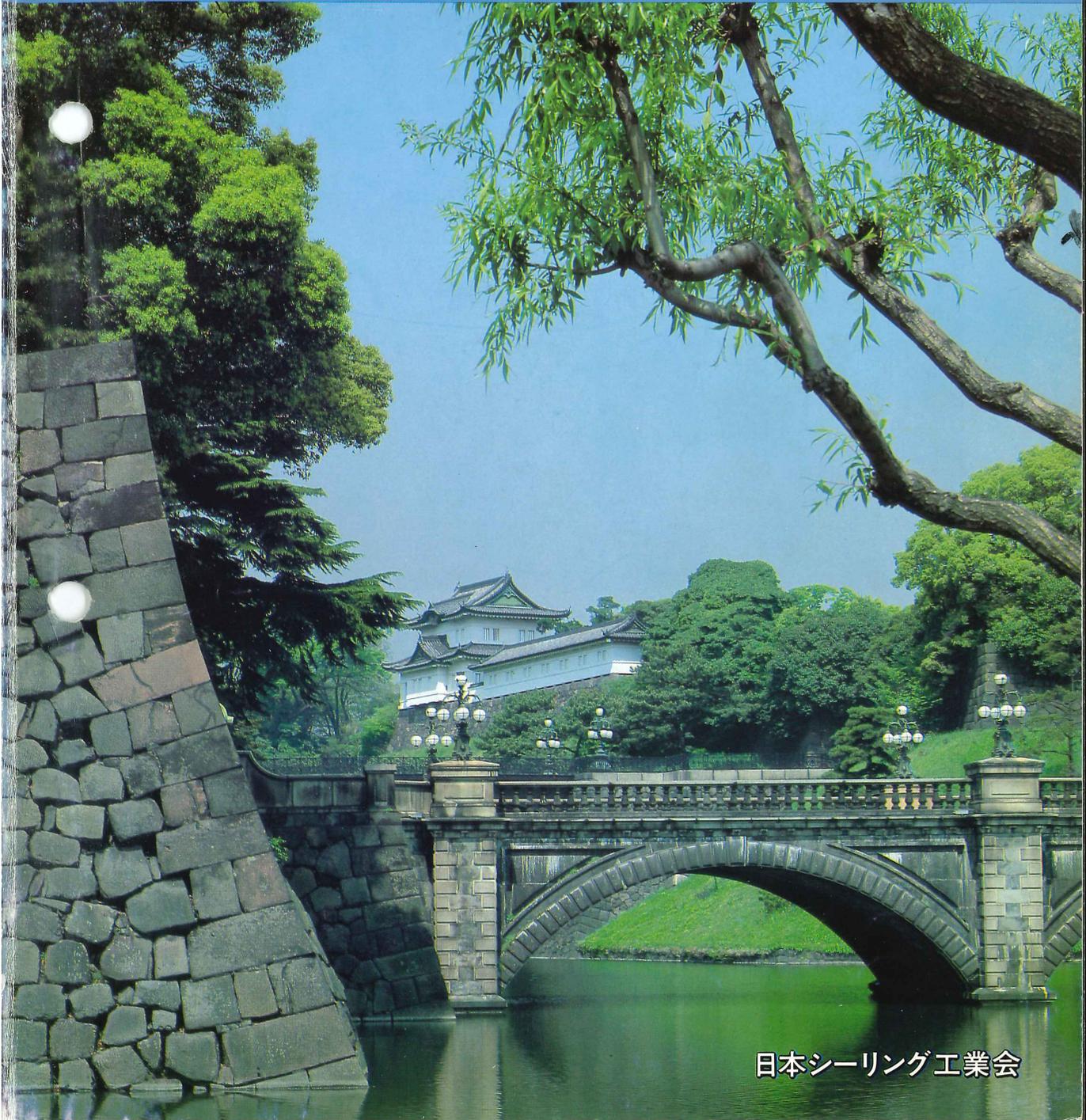
平成元年 4月15日印刷 平成元年 4月20日発行 日本シーリング工業会

シーリング 26

- シーリング業の消費税Q&A
- 建設省建築工事共通仕様書 平成元年版

VOL.22.NO.26

APRIL '89



日本シーリング工業会

SSG構法が、
建築を変えた。



トーレ・シリコン 建築用シーラント

最近、脚光を浴びているSSG(ストラクチャル・シリコン・グレーディング)構法。これは、建物の窓や外壁を構成するガラスやパネルを、耐久性・耐候性・接着性に優れたシリコン材を使って室内側のマリオンやメタルフレームに接着固定するというものです。メタルフレーム類を外部に露出ことなく、平滑なガラス壁面を形成しますので、直線や曲線の組み合わせも自由にでき、美しく斬新なデザインが可能になり、世界的に普及してきています。

■SSG構法用シーリング材

品番	成分形/タイプ	特長
SE796シーラント	2成分形 アミノキシ型	中モジュラス 高伸長 現場施工
SE797シーラント	2成分形 アルコール型	高モジュラス 速硬化性・自己接着性 工場施工
SE798シーラント*	1成分形 アルコール型	高モジュラス 自己接着性 現場(工場)施工

*DC795相当品

シリコン技術で明日のニーズに応える

トーレ・シリコン株式会社

本店・営業本部/東京都中央区日本橋室町2-3-16(三井ビル6号館)〒103 TEL03(246)1641代表

大阪営業部 TEL06(376)1251代表
名古屋営業部 TEL052(563)3951代表
九州営業部 TEL092(712)6158代表
広島営業部 TEL082(249)7811代表
北陸営業部 TEL0762(23)1585代表

南関東営業所 TEL0462(22)1595代表
北関東営業所 TEL0485(26)3972代表
東関東営業所 TEL0436(22)5743代表
仙台営業所 TEL022(227)9528代表
北海道営業所 TEL011(231)5281代表

KANEKA

建築美を支える。

変成シリコンポリマー
カネカMSポリマー®



超高層ビルからプレハブ住宅まで、

目立たないけれど
高反応で定着しています。

- ▲耐久性、耐候性に優れています。
- ▲作業性が良好です。
- ▲石材、タイルなど目地周辺を汚染しません。
- ▲塗料の付着性が良好です。
- ▲超高層ビルから小住宅まで幅広い用途に使用できます。

きれいなシーリング

鐘淵化学工業株式会社

特殊樹脂 三部

- 本社 〒530 大阪市北区中之島3丁目2番4号 朝日新聞ビル
電話：大阪(06)226-5331(ダイヤルイン)
- 東京支社 〒107 東京都港区元赤坂1丁目3番12号 赤坂センタービル
電話：東京(03)479-9675(ダイヤルイン)



サイディングボード用
ボンド
変成シリコン
LM

●冬でも押し出し性・硬化性がよい。●すぐれた接着性。●塗料がのる。

すぐれた伸縮性。

●一成分形変成シリコン系・低モジュラスタイプ●

PAINTABLE SEALANT

ボンド変成シリコンコーク LM

「ボンド変成シリコンコーク」の特長を生かした柔軟タイプのシーリング材です。
塗装適性・接着性・作業性などにすぐれ、低モジュラス型で、サイディングボードなどの目地をはじめ広い用途に使えます。

Kコニシ株式会社

「守りはかたく」

プロのニーズに応える
三洋の建築用シーリング材。



- スリーウレッチ(ポリウレタン系シーリング材)
- スリーラント(アクリル系シーリング材)
- スリーコーン(変成シリコン)
- スリークール(変成ポリサルファイド系シーリング材)

シーリング材の専門メーカー
三洋工業
本社・東京都江東区亀戸6-20-7 TEL.685-3452

歴史と実績—それが信頼をつくります

シーリング業界のリーダー

シーリング材の草分けであるエービーシー商会は、JIS商品の製造販売など常に品質重視の姿勢を貫いてまいりました。

ポリサルファイド系シーリング材
チオコーク®
(JIS認定品)

ウレタン系シーリング材

ABC®ウレタン80
(JIS認定品)

ABC®キングウレタン カートリッジ
(一成分型)

変成シリコン系シーリング材

ABC®変成シリコンM
(二成分型)

ABC®シリコンカートリッジ
(一成分型)

ABC®変成シリコンカートリッジ
(一成分型)

ABC商会では、使用目的に応じて各種シーリング材を用意しております。用途に合わせてお選びください。

ABC
shokai

東京都千代田区永田町2-12-14
TEL 03 (507) 7111 (案内)

マサル工業

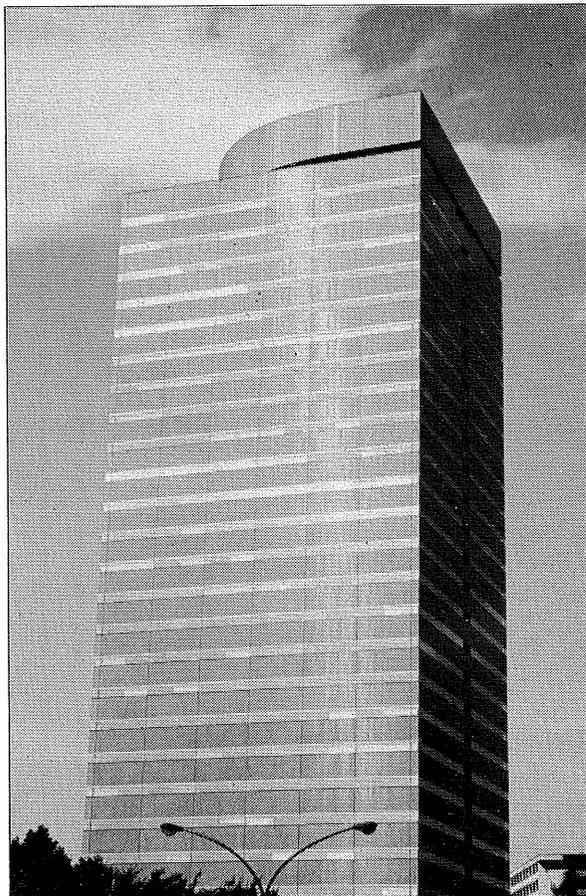
シーリング防水
PCプレハブ住宅防水
屋上防水
外壁化粧防水
各種樹脂注入工事
商業ビル・集合住宅
外装改修工事と総合診断

技術というひかりが 建築物を守る

新築工事、改修・補修工事の防水施工に三十余年の実績を持つ、
技術のマサル工業が責任を持ってお手伝い致します。

●新築工事——お客様のニーズに合ったシーリング防水
の納まり・目地設計・材料選定を致しま
す。優れた品質管理下で、良心的な施工
を致します。

●補修・改修工事——実績のある技術陣の調査によって、適切
な診断を致します。適切な施工方法で、
外装全体のシーリング防水・外装化粧防
水・面防水施工をし、建物を老朽化から
守ります。



加入団体

日本シーリング工事業団体連合会
東日本シーリング工事業協同組合
全日本プレハブ建築防水協会
東日本ロンブルーフ防水事業協同組合
フジクラブラスウォール会
コンクリートカーテンウォール工業会
C C R 工 法 研 究 会

ゴムアスファルト防水工事業協同組合
日本アスファルト防水工業協同組合
外壁補修工事業協同組合
全国アロンコート・アロンウォール
防水工事業協同組合
全日本ウレタン工事業協同組合
常温アスファルト防水工事業協同組合

豊富な実績で新しい防水技術に挑戦する

マサル工業株式会社

〒135 東京都江東区佐賀1-9-14 ☎ 03(643)5911(代)

養生テープのパイオニア

カモ井 No.3303<Blue>



《特長》

- 被着体への「ぬれ」がよく、引張りによるテープの伸びが小さく、蛇行がありません。
- 粘着力の温度依存性が小さいので、養生後の「はがし」が簡単で、斜め切れがありません。
- プライマーの溶剤におかされないよう十分考慮されています。
- 強粘着タイプもあります。



カモ井加工紙株式会社

本 社 〒710 岡山県倉敷市片島町236
TEL. (0864)65-5811(代) FAX. (0864)65-5815
東京営業所 〒103 東京都中央区日本橋本石町4-5-8 須田ビル
TEL. (03)271-3888(代) FAX. (03)271-3601

建築用2成分形ウレタンシーリング材

ミリオネートシリーズ

カーテンウォール工法が主流になって以来、シーリング材も高度な性能が要求されてきています。シーリング材は種類による性能のちがいが大きく、建物のシール部位により適用するシーリング材は適切な種類を選ぶ必要があります。そこで我社は2成分形シーリング材のさきがけであるミリオネートNSの他にこの度、変成シリコン系(NS300)、ポリサルファイド系(NS200)の2成分形シーリング材の開発を致しました。今後とも、技術の進歩にともない益々高性能、高品質化をはかる所存です。

〈主な種類〉

- **NS-300** 〈変成シリコン系〉
- **NS-200** 〈ポリサルファイド系〉
- **NS-III** (ポリウレタン系)

〈主な特長〉

- JIS認定品
- 着色方法合理的なカラーターナー式
- 耐久・耐候性良好
- 被塗装性良好
- 石材を汚染しない
- 経済性に優れる

〈用 途〉

- ◆ 金属、PCカーテンウォール
- ◆ 各種笠木目地(NS-200、NS-III)
- ◆ サッシ、窓ガラス廻り
- ◆ コンクリート、モルタル各種目地(NS-III)
- ◆ 各種パネル目地

▼プライマー種類

項目	MS-300用 プライマー	MS-200用 プライマー	MS-60	CB-20D
状 態	1液 無色透明液	1液 褐色透明液	1液 微褐色透明液	1液 微褐色透明液
乾燥時間(20℃)	10分	30分	3時間	30分
シーリング材の 充てん時間(20℃)	乾燥後から2時間	乾燥後から3時間	塗布後30分から 6時間	乾燥後から4時間
開封後の処置	当日内に使い切る (不使用時密栓)	当日内に使い切る (不使用時密栓)	当日内に使い切る (不使用時密栓)	当日内に使い切る (不使用時密栓)
貯蔵限度 (冷蔵所貯蔵)	6ヶ月	6ヶ月	6ヶ月	6ヶ月
包装・容量	500g 缶入 1ケース=12缶	500g 缶入 (1ケース=12缶)	500g 缶入	800g 缶入
主 用 途	ガラス	塗装面	汎 用	コンクリート、木部
適用シーリング材	ミリオネート NS-300	ミリオネート NS-200	ミリオネート NS-III	ミリオネート NS-III

保土谷建材工業株式会社

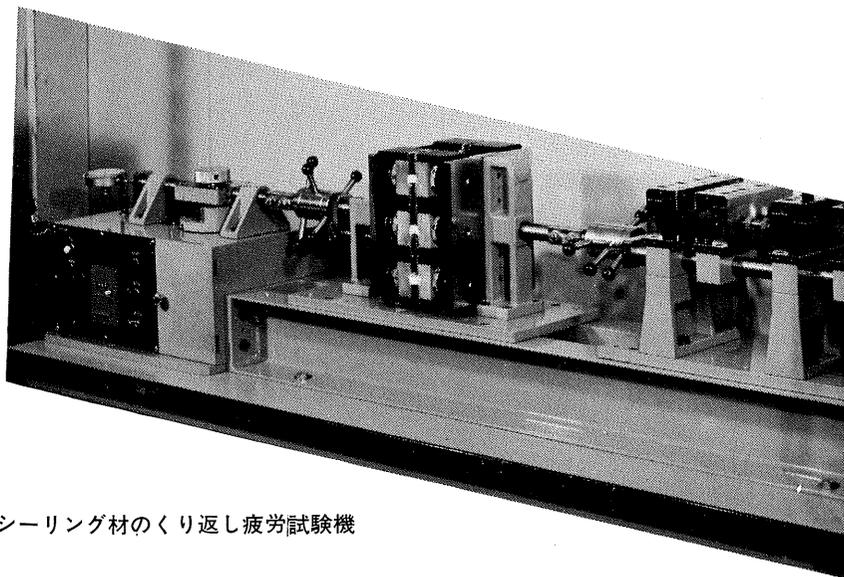
本社 〒105 東京都港区浜松町1-18-14 TEL.03(437)9471(代)
 スパックスビル2F FAX.03(433)5720

- 大阪営業所 ☎ 06(203)4651
- 福岡出張所 ☎ 092(751)3506
- 新南陽出張所 ☎ 0834(63)8363
- 札幌出張所 ☎ 011(231)7618
- 名古屋営業所 ☎ 052(231)7225

土木建築用高分子材料試験は 化学品検査協会へ

建築用シーリング材，土木用目地材，塗膜防水材，合成高分子ルーフィング材，壁材，床材，保温材，断熱材，内装材，外装材などの試験および骨材のアルカリシリカ反応試験（アルカリ骨材反応試験）を日本工業規格（JIS），官公庁・公社規格及び諸外国の規格をはじめ，本会独自の評価方法により実施し，各方面の要望にこたえています。

また，ニーズに応じた新製品の研究・開発・技術指導・JIS表示取得のための工場指導も行っております。



シーリング材のくり返し疲労試験機

◇ 中立・公正な第三者機関・通商産業省指定検査機関 ◇



財団法人 化学品検査協会

大阪事業所 〒543 大阪市天王寺区堂ヶ芝1-6-5 ☎06(771)5157
東京事業所 〒131 東京都墨田区東向島4-1-1 ☎03(610)4153
名古屋試験所 〒466 名古屋市昭和区折戸町4-1 ☎052(761)1185

豊かな実績

(ポリサルファイド系)

確かな信頼

“チオコール”シーラント

ホテル日航



●接着性が良い

●作業性が抜群

●耐久性が良い

●汚れない・汚さない

二液 ポリサルファイド チオコールシーラント

二液チオコールシーラントは、
弊社製品“チオコールLP”を主原料
として、国内外の主要シーラントメーカー
各社で製造販売されており、他の追随をゆるさない
豊富な実績で、絶大なご信頼をいただいております。

二液 ポリサルファイド チオコールシーラント



●汚れない・汚さない
仕上がりが美しい

●作業性が良い

●カビが生えない

接着性、耐久性、防カビ性、作業性、貯蔵安定性など優れた性能をバランスよく備え、使い勝手の良いシーラントです。

1パック：333m²入りカートリッジ×20本
標準色：ホワイト・グレー・ブラック
アイボリー・ブラウン

東レチオコール株式会社

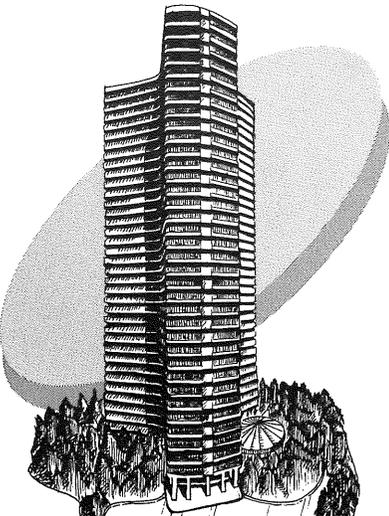
●本社 東京都中央区日本橋本石町3-3-16(日本橋室町ビル) ☎03(241)1845(代)

総代理店 株式会社野村事務所

●本社営業2部 東京都港区西新橋1-1-15(物産ビル別館) ☎03(502)1468(代)

●大阪出張所 大阪市中央区南船場4-12-8(関西心斎橋ビル) ☎06(243)0341(代)

■会長挨拶、顧問・日シ工連会長近況報告……………(11)	
◎技術と品質による真正の競争を……………大谷浩造	◎剛は柔と共存すべきである……………小池迪夫
◎ガラスの安全性—日本と米国……………加藤正守	◎連合法人化に御支援を願う……………山本 勇
■1989年シーリング産業の展望——関連業界の動向……………(17)	
■技術資料他	
・建設省建築工事共通仕様書平成元年版……………(37)	
・シーリング業の消費税Q & A……………監修・玉川良一……………(42)	
・シーリング防水保証についての見解書……………日本シーリング工業会・日本シーリング工事業団体連合会……………(60)	
■委員会報告	
◇この1年の総務……………総務委員会(44)	◆建築用シーリング材市販製品一覧表……………(65)
◇昭和63年度委員会活動の概要……………技術委員会(45)	◆平成元年度日本シーリング工業会機構表……………(78)
◇昭和の終わりは“天気晴朗なれど波高し”……………調査委員会(46)	◆日本シーリング工業会会員名簿……………(80)
◇応募者過去最高でより充実の管理士制度……………検定委員会(47)	◆日本シーリング工事業団体連合会の歩み……………山本 勇(85)
◆トピックス……………(55)	◆日本シーリング工事業団体連合会会員名簿……………(86)
◆昭和63年度管理士検定講習会実施……………(50)	◆関連会社、団体一覧……………(94)
◆各地からのたより……………(57)	◆「シーリング技術管理士」に関する規約……………(96)
◆建築用シーリング材参考標準設計価格……………(63)	◆「シーリング管理士」に関する規約……………(97)
	◆シーリング技術管理士・管理士名簿……………(99)
	◆編集後記……………(104)



建築の革新に応える。

三星シーリング材

ポリサルファイド系シーリング材 三星シールPS (㊦) ポリウレタン系シーリング材 三星シールAU (㊦) 水性アクリル系シーリング材 三星シールAC (㊦)	一液性建築用変成シリコン 三星シール変成シリコンZ プチルゴム系シーリング材 三星シールプチル 一液性ウレタン系シーリング材 三星シールU1
--	---



三星産業株式会社

本 社：〒101 東京都千代田区神田小川町3-28 TEL.03-292-1961(10) FAX(293)4570
 工 場：〒120 東京都足立区宮城1-20-15 TEL.03-912-1251(10) FAX(913)7840
 営業所：札幌TEL.011-551-3781(10)UFAX(551)5304 盛 岡TEL.0196-45-0431FAX(45)0424
 仙台TEL.022-262-5201(10)UFAX(262)3138 北関東TEL.0486-52-2181FAX(52)2384
 横浜TEL.045-261-5411FAX(261)9117 名古屋TEL.052-931-3209(10)UFAX(932)3977
 富山TEL.0766-68-1071FAX(68)2754 大 阪TEL.06-443-9721(10)UFAX(443)9720
 広島TEL.0829-32-3937FAX(32)3937 福 岡TEL.092-781-3361(10)UFAX(741)11737
 長崎TEL.0958-25-3266FAX(27)16825



いまや、ビル建築の主流となったカーテンウォール工法。その陰ではシーリングテクノロジーが極めて重要な役割を演じています。〈ハマタイト〉は、外壁パネル、サッシ、ガラスの継目などをしっかりとシーリングし、建物の気密性を守り、また地震や温度変化にも柔軟に対応します。昭和38年、国産初の弾性シーリング材として登場して以来、池袋の「サンシャイン60」や新宿副都心の高層ビル群に採用されるなど、近代建築の発展とともに歩んでいます。最近では、プレハブ工法などの低層住宅や話題の「東京ドーム」にも使用され、適材適所で幅広いニーズにえています。建築用弾性シーリング材〈ハマタイト〉、横浜ゴムの多彩な顔のひとつです。

横浜ゴムはいま、MULTIPLE。
例えば、近代建築の分野では、

建築用シーリング材〈ハマタイト〉

——が優れた性能で確かな信頼を築いています。

MULTI-FACE

〈ハマタイト〉建築商品

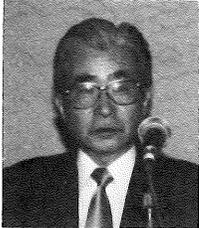
- 2成分形シリコーン〈シリコーン70〉
- 2成分形変成シリコーン〈スーパーH〉
- 2成分形ポリサルファイド〈SC-500〉
- 2成分形ポリウレタン〈UH-30〉
- 1成分形変成シリコーン〈スーパーワン〉
(高モジュラスタイプ)
- 1成分形変成シリコーン〈スーパーワンLM〉
(低モジュラスタイプ)
- 1成分形ポリウレタン〈シールエース〉
- 1成分形シリコーン〈SS-310〉
- 1成分形弾性エポキシ〈エポソフト〉
- ウレタン塗膜防水材〈アーバンルーフ〉
- 2成分形エポキシ接着剤〈Y-1700TM〉
- 2成分形ポリサルファイド〈PRC-428〉
- 2成分形ポリサルファイド〈RC-100FT〉
- 2成分形ポリサルファイド〈SM-101HT〉
- 合成樹脂系塗床材〈スムーニーフロアー〉



近況報告

技術と品質による真正の競争を

日本シーリング工業会
会長 大谷 浩造



過般行われました平成元年度理事候補選挙の結果、再び推されて引続き会長を勤めさせて頂く予定でございます。

今年1月7日に昭和天皇が崩御されましたことは、私どもの記憶に新しいところでございまして、ここに皆様とともに謹んで哀悼の意を捧げたいと存じます。そして新しい時代、平成元年を迎えました。当工業会も四半世紀の歴史を経て、新しい転換期に入ったと存じます。

さて、昨年を省みますに、建設業界は一昨年に引続き活況に推移致しました結果、私どもシーリング材業界も繁忙でありまして、出荷量も一昨年に続き高水準を維持し、69,950トン、12%増となりましたことは誠に喜ばしい次第でございます。然しながら、本年の景気は、前半良く、後半悪しが一般的な見通しで、楽観を許せない状況と思われまます。私どもは昨年官民連帯共同研究に参画し、「シーリング防水の改修設計・施工指針」に関する研究をすすめ、答申案をまとめました。これは、新築のみならず現在拡大しつつあるリフォームあるいはメンテナンスに対する指標となるものと確信しております。

昨年12月30日に消費税法案が公布されましたことは、経済界にとりまして一大変革でございます。当工業会では、直ちにこれに対応する措置を講ずべく、「消費税推進特別委員会」を設置し、急拠会員各位に賛同を求めました結果、2月15日に「転嫁カルテル」並びに「表示カルテル」結成の届出を完了することが出来ました。本税は既に4月1日より施行されておりますが、私どもは如何に円滑に末端に浸透させるかが今年の緊急かつ最大の課題と考えます。この為今年度は消費税の主旨を阻害するような営業行為のないよう、お互いに充分な協力と自戒が必要

と心得ております。

昨年度新たに加えました「変成ポリサルファイド」分科会では、現行JISに追加申請すべく検討を重ねておりましたが、これに関連して前回審議未了の課題や、外国規格との整合問題もクローズアップしてきましたので、これらも含めJIS改正を行う方向で申請を致しました。これは今年度の事業として取り上げることにしております。

また、本年1月12日～15日にわたり、恒例の「シーリング管理士」検定講習会を開催いたしました。今回、過去最高の150余名の方々のご参加を得ましたことは、本制度の定着と業界での評価の高いことを示すものと誠に喜ばしい次第でございます。

終りになりましたが、昨春会長就任にあたりまして「明朗にして活発な工業会」をモットーとして、関連諸団体との関係緊密化を課題と致しましたが、今一步の踏込みが不足し、内部的には価格競争による相互の不信感をぬぐえなかったことを残念に思っております。今年は、前述いたしました消費税の円滑な浸透、非常識な価格競争により品質低下を招くがごとき愚をさげ、技術と品質による真正の競争を行い「明日をもにらんだ明朗にして活発なシーリング業界」を生み出すことをモットーと致したいと存じます。

剛は柔と共存すべきである

日本シーリング工業会顧問
東京工業大学教授 小池 迪夫



“柔よく剛を制す”とは、柔道の極意だという。

戦争中でも全く柔道には縁がなかった小生は、柔道といえば姿三四郎か東海大の山下選手を思い浮かべるのみである。だが最近の柔道は違ってきたようだ。つい東京オリンピックのヘイシンの勇姿を思い出す。

近況報告

*

“剛”なモノ同士の組み合わせに、とかく生じがちな軋轢には枚挙の暇がない。

“売り言葉に買い言葉”

些細なことから喧嘩になり、

“さあ殺せ”

“出ていきゃあがれ”

角突き合わす関係の改善に、

“仲裁は時の氏神”

“子は夫婦のかすがい”

とは、よく言ったものだ。

国際関係も全く個人のレベルで事件が起こる。恐いから実名は挙げないが、ひょんなことで、処刑司令が出たらかなわない。

*

建築的な“柔よく剛を制す”の代表例は超高層建築の“柳に風”理論だ。最近ではゴムバネ緩衝支持まで現われた。

シーリング材が建築のプレファブ化に必要なエレメントだと、最初に目星を付けた人を特定することは難しい。しかしその後の発展に決定的な方向付けをした人は、はっきりと指摘できる。それは、今はなき平賀謙一、昭和29年当時の建設省建築研究所第4研究部長（後に所長。その後大成建設の重役）である。

プレファブ建築における、剛なる部材の暴れを納めるための、シーリング材（当時は油性コーキング材）という“柔”の導入は、まさに歴史的な事件であった。

*

コンクリートや金属の部材の間に“柔”が必要なことは、今や十分に認識された。しかし悲しいかな、温度変化が生じる剛な部材の接着部分と同じ条件にあることに気付く人は少ない。

コンクリートの上に張るタイルが好例である。昔からの実績の所為かそれほど問題にされないが、古いビルでは何時頭上に落下してくるかハラハラものだ。

最近では少なくなったが、モルタルの付け送りが、しばしば天井から落下した。横浜職安の事故調査を依頼されたことがあるが、木製機の天板が割れたという。その後竣工した宮殿でも天井のモルタルが落ちたと聞いた。

このような状況のなかで、シーリング材に類する柔らかい材料の出番は多い筈である。外装セラミックタイルを弾性接着剤で張るという意向があると聞く。もっともなことだ。コンクリートブロックの目地や、瓦屋根の面戸漆喰も現代の材料に置き換えるべきではないか。

*

さて、現在“柔”により解決を迫られている殆どすべての問題は、コンクリートとの関連で生じているが、“柔”技術の水準はどうなっているのだろうか。

元来、建築の材料施工はコンクリートを中心として発展してきた。建築構造におけるコンクリートの主体的な役割を考えると、当然である。実体のない所に影がないように、コンクリート構造の展開に伴って“柔”の必要性が注目されてきたからである。換言すれば、コンクリートは川上にあり、“柔”は川下に派生したものであることを意味する。

コンクリートに起因する問題は、“コンクリート側”で解決したいという気持ちは分からないでもない。しかし“コンクリート側”にその能力はなく、発注者的問題意識だけと言える。

現代日本の社会は“柔は剛を制しない”。それは“柔”の研究が国内より外国での評価が早く、しかも高いことから知れる。“柔は剛を制する”必然もないが、日本では、上は××から下は△△まで“剛よく柔を制す”と思っているようである。思わなくても行動がそれを裏付けていれば、“川上”的のスーパリマシーの誇りを免れない。

とかく新しい技術の発展は、商業主義と縁が切れない面もあるが、それは程度問題であろう。

*

“剛”と“柔”の関係改善の鍵は、学問に対する真摯な心なのである。特に“川上”にそれを要望したいこと、誠に切なるものがある。

近況報告

ガラスの安全性…日本と米国

日本シーリング工業会顧問
千葉大学助教授 加藤 正守

アトリウム建築は、日本、欧米で話題になっており、建築設計の新しい考え方として高く評価されている。リチャード・サクソンは、その著書の中で、アトリウムの文化的、経済的、シェルター及び調和の機能をあげ、そこに住み、働く人々に寛ぎ、快適さ、豪華さを与え、さらにその経済的効果を強調している。アトリウムは、SG構法とともにポストモダン建築の設計的表現の一つなのであろう。

アトリウムの防災設計は、基本的には早期発見、早期消火、早期避難であることはいうまでもないが、アトリウムに設けられたスカイライトの安全設計もまた極めて重要な項目である。

スカイライトは、採光を目的とし、建築物の頂部に設けられた開口部であるが、一般の開口部(側窓)に比較して破壊を起しやすいといわれている。その原因としては、風、雪などの過荷重、落下物または風による飛散物の衝撃、グレージング材料自身の熱応力、構造部材、サッシの構造及びその詳細、排水方法の不適切な設計、製造、取扱い、施工、メンテナンス中に生じるその表面やエッジの損傷などがあげられている。スカイライトの安全設計は、これらの項目を十分考慮して行わなければならない。

スカイライトの安全設計についての基本的考え方については、日米で大きな差異があるとは思えないが、その使用材料は全く異っており、ガラスの安全性についての見解が相反しているようにも考えられる。

日本では、最近体育館などの一部の建築物に難燃性のポリカーボネイト板が使用されるようになったが、一般的には不燃材料であるガラス、そして防火の規定によって網入ガラスが標準であり、またこれとの組合せによる合せガラスなどが使用されている。当然のことながら強化ガラスは使用されていない。何が問題なのだろうか。

米国では合せガラスが標準であり、その構成材料としては、フロートガラス、強化ガラス、半強化ガラス、網入ガラスなどが認められている。また認定されたプラスチック板も原則的には使用することができるようになっている。

わが国では一般的である網入ガラスについては、部分的にみて熱線吸収ガラス、色ガラスなどその種類によっては熱割れを起しやすく、また網入ガラスの合せガラス、複層ガラスはその一体性にやや難があり、どちらかといえばその使用面積が制限されている。特に興味深いことは、わが国では使用されていない強化ガラスまたは半強化ガラスが一般的に使用されており、使用面積が大きい場合は、これらの合せガラスが推奨されていることである。

湯西川温泉にて

秋夜長陣羽織きて炉を囲む



近況報告

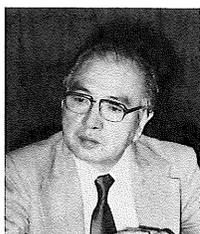
日本では網入ガラスが標準であり、米国では合せガラスが標準で、さらに強化ガラスまたは半強化ガラスが使用されている。日米によって安全性に差異があるのだろうか。どちらが安全性が高いのだろうか。実際的には安全性について特に問題がないのかも知れないが、わが国のように防火、延焼防止の点から一般の開口部と同様に網入ガラスだけに限定されていることは設計上からもいささかの疑問がある。スカイライトのガラスは火炎によって破壊する可能性はどの程度あるのだろうか、煙の温度はどの程度上昇するのだろうか、それよりも先に述べたようなガラスの破壊原因は考慮する必要があるのではないだろうか。

スカイライトのガラスの安全性は、網入ガラスよりも合せガラスのほうが高いことは自明のことであり、網入ガラスだけに限定する必要はないのではないだろうか。

アトリウムの防災設計とも関連するが、ガラスの安全性という点からみれば AAMA 等の規定を参考にして今後の検討を期待したい。

連合会法人化に御支援を願う

日本シーリング工事業団体連合会
会長 山本 勇

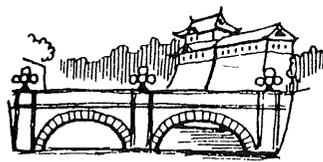


昨年度中は日シ工創立25周年と合わせ、建設業界は極めて活況に推移し、皆様におかれましても益々発展充実され、誠に大慶に存じあげます。また種々御支援を賜わり誠に有

難う存じました。

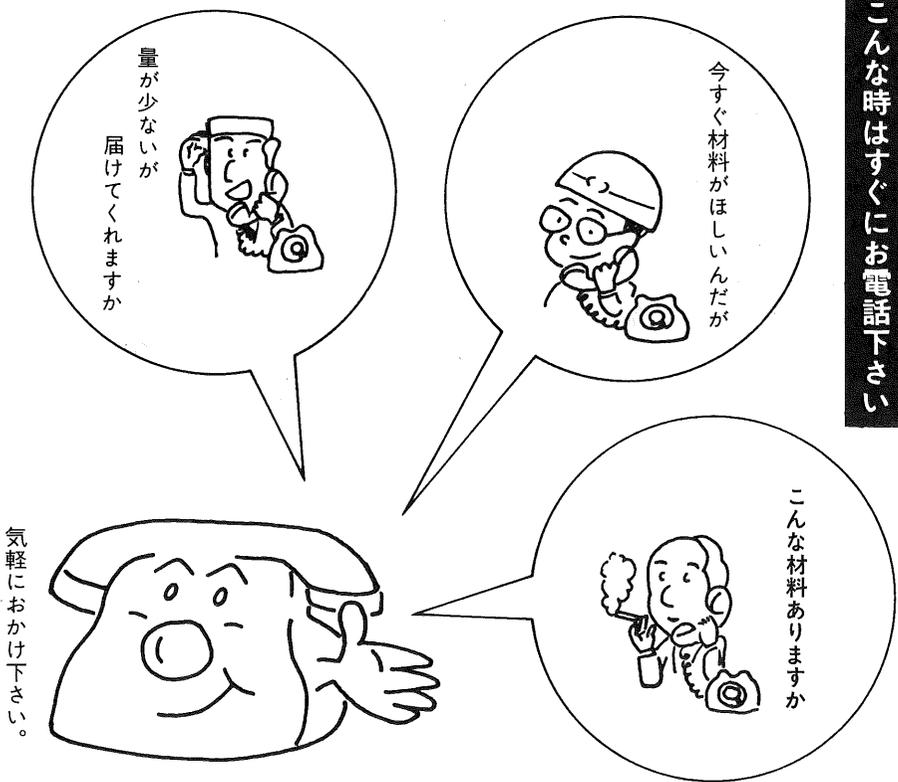
日シ工連も内需政策の進行で、業界共々陽の当たる場所を歩けたように思われます。本年度は消費税の円滑転嫁が、われわれ会員企業経営上の、重大な要点となることは間違いありませんが幸いにして私共業界を取りまく経済情勢は順調な見通しです。お

互いに辛かった時期を振り返って、不備面を洗い直し、今後猶一層の発展を遂げるための諸検討を講ずるには、大変良い機会だと思われまふ。日シ工連もこの好機を逸せず、永年の懸案事項である組織の改善問題、即ち法人化を達成し、会員企業の収益の向上と安定の獲得を目指していきたいと思っておりますが、全国組織中に在る各地区協、またその傘下に在る会員企業には様々な環境があり、当然のごとく意見の相違があるのが実情です。如何にすれば、今日迄築きあげてきた現組織を傷つけずに、猶且つ、現在以上に全国規模での有機的活動を行なえる組織基盤として進展しうるかと真剣に検討中の状況です。残念ながらというか、当然と言うべきか一朝一夕に為せるものでなくまだ時日を要するところです。折角の団結組織に疵を残す如きことをして後悔しないためにも、再度しっかりとした構想を持って、万全を期してゆきたいと考えております。また、会員諸氏の団結、協調、技術力向上、あるいは教育的事業は現日シ工連組織でも充分やって行けるものですが、全国法人化組織としてのとしてのメリットは眼に見えぬものがあり、我々同業者の誇りにも繋ることと考えております。本年度はこのテーマへの取組に最重点を置くことになりましょう。そのためにも、日シ工の皆様方には今後より一層の御支援をお願いすることになりましょうし、中央会の御指導も多々得なければなりません。組織の近代化に向け再出発せんとする日シ工連をよろしくお願い申し上げます。終りになりましたが、お得意様各位におかれましても、昨年度に増しての御支援と御鞭撻の程を心よりお願い申し上げます。



7日会のメンバーは安心して使つていただける製品をサービスを添えてお届けします。

こんな時はすぐにお電話下さい



===== 建築用シーリング材・防水材・関連製品の御用命は当会メンバーに =====

東日本シーリング工事業協同組合協力店会

7 日 会

- | | | |
|------------|-----------------------------|-----------------|
| 化研マテリアル(株) | 〒105 東京都港区西新橋3-8-1 (第2鈴丸ビル) | TEL 03(436)3011 |
| 共成(株) | 〒104 東京都中央区新川1-25-11 | TEL 03(552)2031 |
| 光栄商事(株) | 〒177 東京都練馬区上石神井1-432-2 | TEL 03(928)5811 |
| 野口興産(株) | 〒176 東京都練馬区豊玉北2-10 | TEL 03(994)5601 |
| フヨ一(株) | 〒130 東京都墨田区業平5-5-6 | TEL 03(626)3371 |
| 藤本化成(株) | 〒150 東京都渋谷区渋谷3-27-12 (並木ビル) | TEL 03(407)4701 |
| 東京ハマタイト(株) | 〒108 東京都港区芝浦2-13-7 宇徳田町ビル | TEL 03(769)3111 |



アーガードシールシリーズ

使いやすさと信頼性の調和 タイルメントの充てん剤

S-100
(シリコーン系)

S-200
(変成シリコーン系)

S-300
(ウレタン系)

S-500
(アクリル系)

S-700
(油性系)

S-101
(シリコーン系)

S-202LM
(変成シリコーン系)

S-303LM
(ウレタン系)

S-600
(ブチルゴム系)

アクリルコーク
ジャンボ
(アクリル系)



株式会社 **タイルメント**

本社 / 〒453 名古屋市中村区宿勤町1の58 TEL (052)412-5300(代) FAX (052)411-3516

■東京支店 ■大阪支店 ■名古屋支店 ■仙台営業所 ■福岡営業所 ■広島営業所 ■札幌出張所 ■横浜出張所 ■北陸出張所

確かな信用をお届けする

なにわ会

建築用シーリング材・防水材・関連製品のご用命は
信頼に應える当会メンバーにお申しつけ下さい

大阪御国商事(株)	〒567 茨木市横江2-1-12	TEL 0726(34)8214
鐘工業(株)	〒534 大阪市都島区高倉町1-11-12	TEL 06(921)4231
岸田資材工業(株)	〒652 神戸市兵庫区中道通5-1-13	TEL 078(575)2953
旭栄(株)	〒530 大阪市北区天神橋1-1-1	TEL 06(354)0356
コニシ技研(株)	〒542 大阪市中央区心斎橋1-8-18	TEL 06(245)8851
株式会社 ジャビコ大阪支社	〒530 大阪市北区梅田2-4-9(サンケイビル8F)	TEL 06(345)6871
日東工材(株)	〒553 大阪市福島区吉野1-14-2	TEL 06(445)7621
フジキ(株)	〒530 大阪市北区天神橋1-1-1	TEL 06(352)1571
フヨ(株)大阪支店	〒532 大阪市淀川区宮原5-6-10	TEL 06(395)0201
前田精市商店(株)	〒541 大阪市中央区道修町1-4-14	TEL 06(203)4641
宮崎(株)	〒541 大阪市中央区平野町3-4-9	TEL 06(231)5891
モリシタ化学産業(株)	〒543 大阪市天王寺区勝山1-6-7	TEL 06(771)3929
ヨコハマゴム工業品関西販売(株)	〒550 大阪市西区京町堀1-17-16 スミトールビル7F	TEL 06(446)6701

1989年シーリング産業の展望

広報委員会

1. シーリング材の需要動向

概況

内需主導型経済構造への転換策が軌道に乗り、昨年は産業界全般が活気に包まれた。この活況が少なくとも1～2年は続くものと期待する向も多いが、業種によっては、年後半には沈静化もしくは反動に転ずるものも出始めると予測され予断を許さない。このうち、低迷の長かった建設業は、内需振興に当たって中心的な役割を担い、一昨年から投資規模が大幅に増加した。必然的に業界も活気を取戻し、ほぼ全国的な水準で好況に転じたようである。

この好況がいつまで続くかが問題である。現段階では目立った不安要素は見当たらないが、新設住宅建設が昨年で一応のピークを見せ、以降は高水準ながらも前年を下回っている。しかし、民間設備投資など非居住用建設が好調で、都市周辺での地域再開発事業も息の長い民活推進型で堅調に推移、また、欧米諸国に比べ立遅れが目立つ住宅・社会資本に対し本格的な取組みがなされつつある。さらに、地価高騰を背景にした建替工事、豊かさの反映とも言えるリゾート開発なども活発化している現在、建設需要の急激な落込みは考えにくい。伸び率の低下は予測

されるが、今暫くは高水準で推移すると思われる。

建築着工の動きを見ると、まず、総床面積では昨年は一昨年を下回ったものの7.8%増と好調を維持、このうち防水・シーリングと関連の深い不燃建築着工は、一昨年をやや上回る13.7%増の高い伸びとなった。建築用シーリング材も一昨年に続く2ケタ伸び率を示し、今年にはいっても順調な経過を辿っている。こうした好況を背景に、現場では労務事情が悪化、鉄骨など一部資材は玉不足から高騰が目立つに至っている。しかし、シーリング材については全般的に供給過剰気味で、労務費を含めた受注コストは低水準のまま一向に改善されていない。この悪環境もそもそもは同業者間の過当競争に端を発している感もあり、本年4月から導入された消費税の円滑転嫁が懸念されるところでもある。この消費税については、現在、材・販・工それぞれがカルテルを結成するなど対策を講じているが、これが相互の信頼強化に繋ることを期待したい。

建築用シーリング材の昨年の販売量は、一昨年に続き2ケタ伸びを示し12.5%増の69,950トンとなった。建築着工、特に不燃建築の着工増に裏付けられた伸び率で、他の建築部材同様、建設業の活況により近年にない高水準の伸びを示した。

近年の建築用シーリング材の出荷動向が、不燃建築の着工動向に近似してきたことは再三述べてきた

表-1 建築用シーリング材の年別販売量

基材	区分	年	販売量 (トン)
シリコーン系		59	8,650 (1成分 7,090 / 2成分 1,570)
		60	8,640 (1成分 7,300 / 2成分 1,340)
		61	8,780 (1成分 7,710 / 2成分 1,070)
		62	9,530 (1成分 8,330 / 2成分 1,200)
		63	10,500 (1成分 9,250 / 2成分 1,250)
変成シリコーン系		59	3,200 (1成分 1,500 / 2成分 1,700)
		60	4,390 (1成分 2,300 / 2成分 2,090)
		61	5,200 (1成分 2,800 / 2成分 2,400)
		62	6,600 (1成分 3,800 / 2成分 2,800)
		63	8,400 (1成分 4,800 / 2成分 3,600)
ポリサルファイド系 (1成分を含む)		59	10,600
		60	11,150
		61	10,930
		62	11,260
		63	12,100
アクリルウレタン系		60	600
		61	610
		62	660
		63	780
ポリウレタン系		59	16,650 (1成分 3,800 / 2成分 12,850)
		60	18,190 (1成分 4,440 / 2成分 13,750)
		61	19,800 (1成分 4,900 / 2成分 14,900)
		62	21,990 (1成分 5,600 / 2成分 16,390)
		63	24,700 (1成分 6,200 / 2成分 18,500)
アクリル系		59	6,500
		60	7,160
		61	7,600
		62	8,740
		63	10,300
S B R 系		59	400
		60	400
		61	320
		62	300
		63	260
ブチルゴム系		59	1,500
		60	1,200
		61	1,100
		62	1,070
		63	1,010
油性		59	2,900
		60	2,270
		61	1,990
		62	2,050
		63	1,900
計		59	50,400
		60	54,070
		61	56,330
		62	62,200
		63	69,950

注) 1. 1成分シリコーン系シーリング材の62年度(暦年)販売量が関係官庁より2,800万本と公表されましたので、過去に遡り統計数量を訂正致しました。
2. 一部土木用を含む。

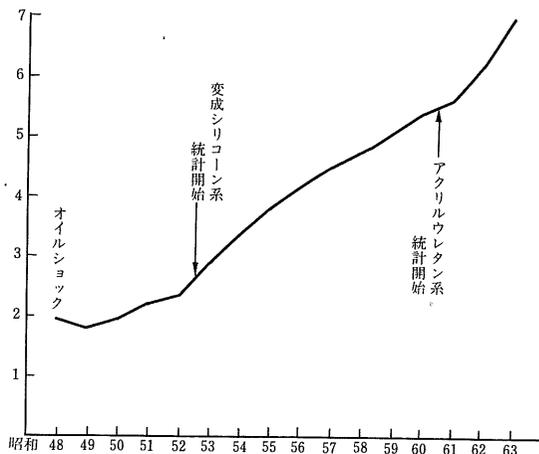


図-1 シーリング材出荷量の推移

なお、図に使用した基材の記号は次のとおりである。

- SR-2 2成分シリコーン系
- MS-2 " 変成シリコーン系
- PS-2 " ポリサルファイド系
- UA-2 " アクリルウレタン系
- PU-2 " ポリウレタン系
- SR-1 1成分シリコーン系
- PU-1 " ポリウレタン系
- AC アクリル系
- OR 油性コーキング材

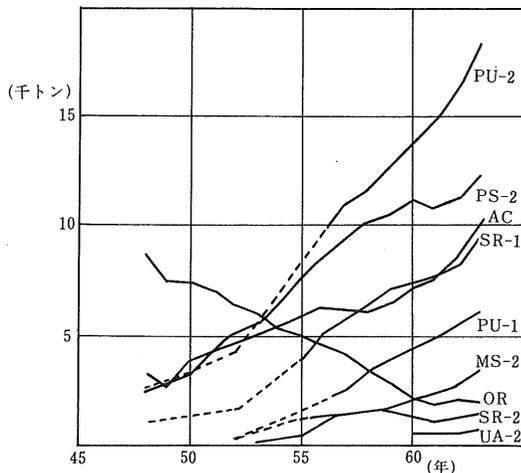


図-2 主要基材別出荷動向

とおりが、昨年の場合もほぼ同様の傾向を示した。この傾向が顕著になったのは昭和55年前後で、それ以前はシーリング材の伸びが着工動向を常に上回っており、いわば、シーリング材の認識向上と普及に伴う需要拡大期と言える。また、55年以降はシーリング材もその存在が建設業界全般に知れ渡り、その主用途である不燃建築への適用が浸透、定着したものと考えられる。もちろん、1成分形を中心にサイディング材や室内用途など新たな需要分野も形成されているが、着工動向を凌ぐほどの需要因子とは言えず、今後のシーリング材の出荷動向についても、この不燃建築の着工が大きなポイントとなることは間違いのないところである。

基材別の出荷動向はここ数年の傾向が引続いている。すなわち、シリコン系、変成シリコン系、ポリサルファイド系、アクリルウレタン系、ポリウレタン系の弾性5基材とALC目地を主用途とするアクリル系が好調で、1成分形と2成分形のタイプ別（弾性系のみ、ポリサルファイド系、アクリルウレタン系は除く）では、やはり1成分形の伸びが高かった点である。弾性系の占有率は、ここ数年80%弱から80%強と目立った変化は数字に表われていないが、昭和50年時点では50%にも満たなかったことを考えると、ワーキングジョイントを主用途としていた弾性系が用途別には圧倒的なノンワーキングジョイントへも適用されるようになった需要の様変わりが見てとれる。また、最近の占有率の安定は、各基材別の適材適所の使われ方が浸透したことを物語っていると言えよう。この傾向は、今後も継続すると考えられる。また、好調な弾性系1成分形であるが、昨年については若干様相を異にした結果となった。弾性系が過半を占めるようになった昭和50年代中盤、1成分形は20%程度を占める程度であった。現在でも、1成分形は63年実績で35.9%にすぎず物量面では2成分形が優勢である。しかし、伸び率を見れば、62年までは、常に2成分形を凌いでおり、底辺需要の拡大という点からは2成分形よりも貢献度が高かったことも否めないところである。それが、昨年に

ついては、変成シリコン系、ポリウレタン系の2成分形が1成分形の伸びを上回る結果となった。着工動向の好調により建物外壁目地への適用が増大したことを物語っていると言えよう。

一方、シーリング産業の充実期にふさわしい旺盛な技術活動は数々の成果を生んでいる。

まず、建設省総合技術開発プロジェクトでのシーリング防水の劣化診断、補修・交換、総合耐久設計各指針の作成、そして、同プロジェクトを継続し、実際の工法・仕様に適確に反映すべく「シーリング防水改修設計・施工指針(案)」の作成作業が建築研究所を中心とした建設省官民連帯共同研究で進められた。この成果も今秋より普及活動にはいる見込みで、多方面の注目を集めよう。

次に、建設省建築工事共通仕様書、同施工監理指針、JIS、JASSなど標準類に関する制・改定作業への継続的な協力・推進があげられる。このうち「共仕」は平成元年版がこのほど改定出版され（本誌37頁参照）、新たな種別区分によるシーリング工事が適用されることになった。また、秋には解説版とも言える施工監理指針が発刊の予定である。JISについては、今年度から改正作業にはいる予定で、内外の技術を反映した規格を目指している。

他関連団体との協力的な研究作業も広範に進められている。NSK、NBKとの仕上塗材・外壁塗膜防水材とシーリング材の取合いに関する研究ならびにその普及活動、日本乾式防火サイディング協会とのサイディング住宅の適正な目地施工を目途とする技術協力などが積極的に行なわれている。

これらに加え、施工技術、管理技術面でのレベルアップも図られており、特に当工業会が認定するシーリング管理士、同技術管理士制度はますます充実ぶりを見せ、多くの有資格者が誕生している。国家認定のシーリング防水技能検定制度も含め、これらの資格制度は、自主管理システムが主流になりつつある建設業界では一層重視される傾向にあり、対外的評価が高まることは間違いのない。

シーリング材に対するユーザーの認識の向上は、

ここ数年著しいものがあると言って差支えないであろう。シーリング材の建材としての一般化は、かつてカーテンウォールに試行錯誤的に適用されていた頃とは隔世の感がある。これまでの学識経験者やゼネコン研究者、そして前述したような様々な技術活動の蓄積がもたらした成果と言えるだろう。しかし、ユーザーの要求度合の高まりは止むものではなく、一層の高機能、複合機能材料が求められることも必然である。今後も継続的な技術研鑽を加え、ユーザーの期待に応え、シーリング防水への信頼を揺ぎないものにするのがわれわれの使命と考える。

基材別動向

◆シリコーン系◆

一昨年の8.5%増に続き昨年も10.2%増の10,500トンとひところの伸び悩みを脱し順調に推移している。2成分形は58,59年の1,570トンピークに減少し、61年には1,070トンまで低下したが、徐々に回復し昨年は4.2%増の1,250トンとなったSSGやガラスをふんだんに使用したメタルカーテンウォール系の大中小型物件が増加していることが大きな要因である。1成分形も11.0%増と相変わらず好調で、ガラス、板金などのルート需要が強い。底辺需要の拡大というより1件当りの使用量が増加している模様で、また、従来2成分形で対応していた小規模改修物件などもその簡便さから1成分形に置き換わるケースもあるようである。現在、各地で進められている都市再開発は、同時に防災不燃化都市への再編も促進しており、今後難燃性の面でシリコーン系に有利に働くものと期待される。

◆変成シリコーン系◆

絶対量が増加した近年は、かつての驚異的な伸びは見られなくなったが、それでも前年比27.3%増の高伸び率で8,400トンとなった。1成分形、2成分形ともに好調でそれぞれ26.3%増の4,800トン、28.6%増の3,600トンとなり、1成分形は、ルート需要での浸透のほか、近年急増しているサイディング材目地への低モジュラスタイプの適用がかなり進んでいる。

一方、2成分形も高水準の伸びを示しているが、これはコンクリートカーテンウォール系建物の受注量も同程度(26.0%)の伸びを示していることからその影響を反映してのものである。仕上塗材に対するポリマーの改良なども適宜進められ、また、2成分形については使い易く作業性の良いカラーマスター方式のシーリング材としてさらに定着していくであろう。

◆ポリサルファイド系◆

このところ他の弾性基材の好調に比べ安定的に推移しているが、昨年は7.5%増の12,100トンと高水準を維持した。近年、中高層カーテンウォールでは変成シリコーン系、中低層PCではポリウレタン系の影響でやや伸び悩みが見られたが、実績と歴史に裏付けられた汎用シーリング材としてのユーザーの支持は根強く、今後も安定した伸びを見せていくと思われる。また1成分形は、作業性、防汚性の改善なども配慮し一般ユーザーへも浸透しつつある。

◆アクリルウレタン系◆

61年のJIS改正で初めて規格化された新基材である。供給メーカーも現在2社と少ないが、60年に出荷統計を始めてから600トン台を推移、昨年は18.2%増と分母は小さいながらも高伸び率を示し780トンとなった。物性面からはポリサルファイド系とポリウレタン系の中間に位置するが、外壁仕上塗材や塗膜防水材との馴染みが非常に良いことが実証されている基材で、コンクリート目地を中心に採用されている。近年、ユーザーの外装材に対する美観要求が高まっているところから今後も伸長する要素を秘めている基材である。

◆ポリウレタン系◆

物量面では他基材を圧倒するものがあり、出荷動向も依然好調を続け前年比12.3%増の24,700トン、全弾性系の44%弱を占めるに至っている。特に、2成分形は12.9%増の18,500トンとなり、中低層のPC、RC建物、油性系の打替え、地下構造物等土木目地など広範な需要分野へ、経済性も有利に作用し着実に浸透している。また、1成分形も10.7%増の

6,200トンと好調に推移した。変成シリコン系同様、サイディング材目地やALC造も含めた戸建プレハブ住宅での採用が目立っている。ただし、特に2成分形は全般的に性能バランス上経済性を優位にしているきらいがあり、1成分形にしても製品間にかなり性能差がある基材ではある。

◆アクリル系◆

用途の90%以上がALC板目地という特異な位置づけのシーリング材である。従って、ここ数年はALC板出荷動向の好調さを反映して順調に推移、昨年は17.8%増の10,300トンとなった。ALC板目地にはポリウレタン系1、2成分形のほか変成シリコン系や変性タイプの新製品も登場しており、作業性と経済性を生かしたアクリル系主流の中にも用途や建物グレードによって使い分けが進みつつあるようである。

◆その他◆

ブチルゴム系は外壁に用いられるケースが少なく建築用途としてはサッシの裏打や板金関係、シート防水の貼仕舞への使用がほとんどである。しかし、この分野も近年耐候性上の有利さ、そして価格的にも格差が少なくなってきたことから弾性基材が用いられるケースが増えており、昨年も5.6%減の1,010トンと減少が続いた。SBR系も最近では室内目地に用いられるのがほとんどで、また、価格面でのメリットも少なくなりブチルゴム系同様低迷を示し前年比13.3%減の260トンとなった。一昨年わずかながらも3.0%増と反発した油性コーキング材も、昨年は7.3%減の1,900トンと再び減少に転じた。RC造の非露出部やコンクリート押え層の伸縮目地などにも用いられているが、弾性系の攻勢には、影が薄くなりつつあると言えよう。

このほかでは、新ポリマー「パーマポール」(商品名)ベースの変成ポリサルファイド系シーリング材が上市3年目を迎え現在4社より発売、当工業会でも分科会活動(参加企業6社)が開始されており、JISへの編入作業も進められている。現在の適材適所の中での新たな位置付も間近であろう。

2. 建築業界の動向

2-1 建設投資の動き

昭和63年度の建設投資は、政府投資が微増を示したものの、民間投資が順調な増加を見せ、名目では前年度比3.8%増の63兆5,600億円、実質(昭和55年度価格、以下同じ)では同3.3%増の62兆2,300億円となる見通しである。

わが国の建設投資の構造は、政府投資と民間投資に分けると、概ね政府4割、民間6割であり、建築投資と土木投資に分けると建築6割、土木4割である。63年度はこのうち民間住宅が31.6%、政府土木が29.8%、民間非住宅建築が22.7%の順になっている。

建設投資を政府、民間に分けてみると、政府投資は前年度に大型補正予算が追加されたが、63年度の当初予算で公共事業の確保・拡大が図られたことから前年度比0.5%増の23兆300億円(実質は0.2%増の23兆1,300億円)となる見通しである。このうち建築投資は、非住宅投資(公共文教施設、社会福祉施設等)が微減しているが、住宅投資(公営住宅、公団賃貸住宅等)が大幅な増加を示し、前年度比プラス

表-2 昭和63年度建設投資見通し (単位: 億円、%)

項目	投 資 額			増 加 率	
	61年度 (実績見込み)	62年度 (見込み)	63年度 (見通し)	62/61	63/62
総 額 (同実質)	535,000 (533,000)	612,200 (602,200)	635,600 (622,300)	14.4 (13.0)	3.8 (3.3)
建 築 (同実質)	316,800 (311,200)	366,500 (354,000)	385,700 (371,000)	15.7 (13.8)	5.2 (4.8)
住 宅	169,900	202,900	209,600	19.4	3.3
非 住 宅	146,900	163,600	176,200	11.4	7.7
土 木 (同実質)	218,200 (221,800)	245,600 (248,200)	249,900 (251,400)	12.6 (11.9)	1.7 (1.3)
政 府	172,300	188,500	189,700	9.4	0.6
公 共 事 業	146,000	165,600	166,500	13.5	0.5
そ の 他	26,300	22,900	23,200	△12.9	1.2
民 間	46,000	57,100	60,200	24.3	5.4
再 政 府	209,500	229,100	230,300	9.3	0.5
掲 (同実質)	(212,100)	230,900	(231,300)	(8.9)	(0.2)
民 間	325,500	383,100	405,300	17.7	5.8
(同実質)	(320,900)	(371,300)	(391,100)	(15.7)	(5.3)

(注) 1. 下段()内は実質値(55年度価格)である。
 2. 四捨五入により100億円単位の値としたため、各項目の合計は必ずしも統計と一致しない。
 3. 昭和62年度に国鉄が民営化され、政府土木から民間土木に移行した。

となり、また、土木投資は公共事業、公共事業以外とも微増で、建築・土木全体としてはプラスとなっている。

これに対し民間投資は、民間建築(住宅、非住宅)を中心に順調な伸びが見込まれている。貸家建築が横這いで推移するとみられるものの、持家建築に対する住宅金融公庫融資条件の改善、住宅建設貸付金利の低下などの措置があり、民間住宅は3.1%の増加が見込まれている。さらに民間非住宅建築および民間土木においても、非製造業の設備投資の増加により堅調な増加が見込まれており、民間投資全体では前年度比5.8%増の40兆5,300億円(実質で5.3%増の39兆1,100億円)となる見通しである。

建設投資総額の対 GNP 比率は54年度以降漸減傾向にあったが、61年度には7年ぶりに反転増加し、63年度は前年度に引続き17%台となる見通しである。

2-2 建築着工の動向

わが国の建築着工の動向をみると、昭和62年の総床面積は2億3,722万㎡(対前年比14.2%増)と著しい伸びを示した。これは、政府の内需政策により、政府・民間ともに建設投資が大幅に拡大されたことによるが、なかでも公共事業費の大幅な増加や、民間建築でも住宅投資等が堅調に推移したことなどが好影響をもたらした要因といえる。また、63年では、

伸び率こそ62年に及ばないものの、2億5,578万㎡(同7.8%増)と好調な推移をみせている。特に用途別では鉱工業用が設備投資を中心に大幅な拡大をみせ2,990万㎡(同39.8%増)と驚異的な伸びを示した。

また、シーリング材と関連の深い不燃建築物の着工も同様の傾向で、62年が1億5,214万㎡(対前年比13.5%増)、63年が1億7,306万㎡(同13.7%増)と好調に推移しており、伸び率では63年が62年を若干上回っている状況である。

さらに、新設の住宅建設戸数についても、貸家建設の活発化を中心として59年度から増加を続け、61年度には140万となり、62年度は持家および分譲住宅も大幅に増加したことから173万戸に達した。これは47年度(186万戸)および48年度(176万戸)に次ぐ史上3番目の高い水準である。また63年(暦年)も168万4,644戸と好調である。こうした新設住宅の好調さの要因としては、民間資金貸家の着工戸数がこれまで以上に高い伸びを示したことに加え、住宅金融公庫融資による持家の着工戸数が大幅に増加したことなどによるものである。しかし、63年以降については、貸家建設の勢いがピークを過ぎたとみられることから総着工戸数も減少傾向にあり、今後は予断を許さない状況にある。

一方、着工新設住宅の1戸当り平均床面積は、62

表-3 建築着工統計

※次頁に続く(単位:千㎡)

月 間 年 間	総 数 床 面 積	用 途 別 床 面 積							
		居住専用	居住産業併用	農林水産業用	鉱工業用	商業サービス業用	公益事業用	公務文教用	その他
55 (対前年比)	221,722 (90.4)	109,807 (88.6)	22,468 (84.2)	7,665 (88.0)	22,688 (103.7)	29,735 (88.7)	5,337 (95.2)	23,919 (96.5)	104 (60.1)
56 (対前年比)	202,752 (91.4)	100,122 (91.4)	20,028 (89.1)	6,678 (87.1)	21,346 (94.1)	28,170 (94.7)	5,551 (104.0)	20,716 (86.6)	139 (133.7)
57 (対前年比)	195,642 (96.5)	100,672 (100.5)	18,932 (94.5)	5,981 (89.6)	19,089 (89.4)	26,756 (95.0)	4,508 (81.2)	19,530 (94.3)	174 (125.2)
58 (対前年比)	189,281 (96.7)	92,470 (99.9)	18,706 (98.8)	6,301 (105.3)	19,130 (100.2)	30,292 (113.2)	4,262 (94.6)	17,892 (91.6)	228 (131.0)
59 (対前年比)	196,138 (103.6)	92,788 (100.1)	19,082 (102.0)	6,109 (97.0)	25,568 (133.7)	31,137 (102.8)	4,478 (105.1)	16,721 (93.5)	246 (107.9)
60 (対前年比)	199,561 (101.7)	95,705 (103.1)	19,138 (100.3)	5,838 (95.6)	25,035 (97.9)	31,617 (101.5)	5,789 (129.3)	16,216 (97.0)	223 (90.7)
61 (対前年比)	207,682 (104.1)	102,858 (107.5)	19,864 (103.8)	5,809 (99.5)	21,248 (84.9)	35,600 (112.6)	5,396 (93.2)	16,736 (103.2)	172 (77.1)
62 (対前年比)	237,226 (114.2)	123,703 (120.3)	23,213 (116.9)	5,763 (99.2)	21,391 (100.7)	40,795 (114.6)	5,814 (107.7)	16,344 (97.7)	203 (118.4)
63 (対前年比)	255,782 (107.8)	127,065 (102.7)	24,217 (104.3)	5,476 (95.0)	29,901 (139.8)	45,405 (111.3)	6,893 (118.6)	16,576 (101.4)	250 (123.2)

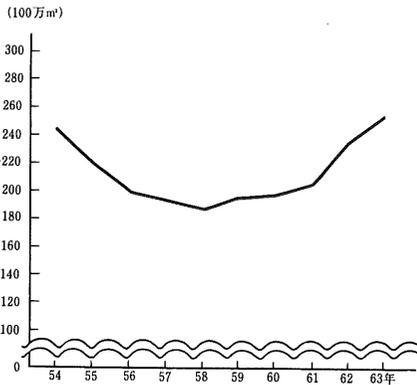


図-3 建築着工面積 (総床面積)

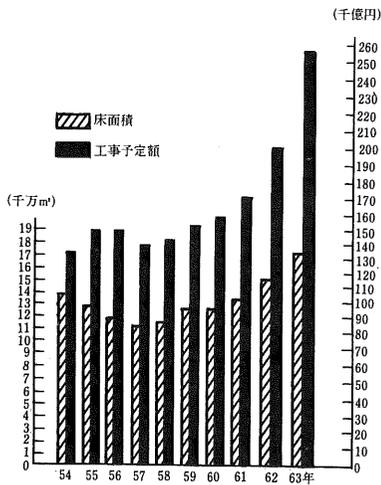


図-4 不燃建築着工統計

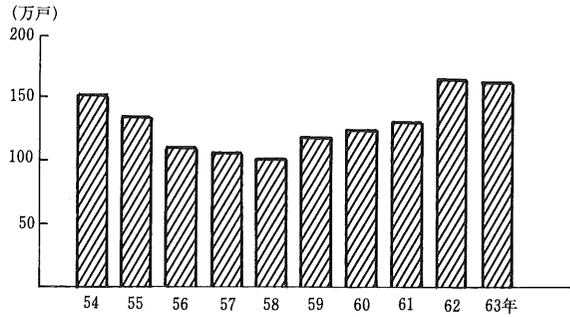


図-5 新設住宅建設戸数

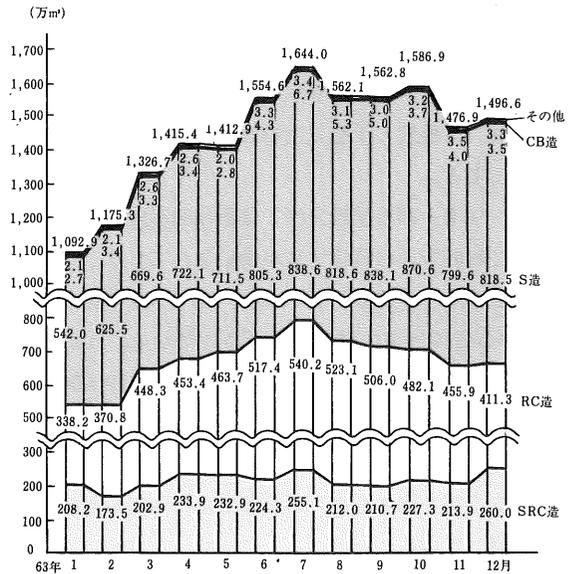


図-6 不燃建築着工床面積の増減内訳

公共	建築主別床面積		構造別床面積						
	民間		木造	不燃建築物小計	不燃建築物				
	会社・法人	個人			鉄骨・鉄筋コンクリート造	鉄筋コンクリート造	鉄骨造	コンクリートブロック造	その他
32,842 (95.6)	76,761 (95.6)	112,123 (85.5)	90,304 (86.1)	131,415 (93.6)	18,381 (100.3)	49,168 (90.9)	62,644 (94.0)	989 (89.9)	233 (81.8)
31,268 (95.2)	67,911 (88.5)	103,574 (92.4)	80,304 (88.9)	122,445 (93.2)	17,508 (95.3)	45,376 (92.3)	58,423 (93.3)	876 (88.6)	269 (115.5)
26,792 (85.7)	62,787 (92.5)	106,063 (102.4)	81,384 (101.3)	114,258 (93.3)	15,226 (87.0)	41,213 (90.8)	56,672 (97.0)	806 (92.0)	341 (126.8)
24,179 (90.2)	67,569 (107.6)	97,533 (91.9)	71,526 (87.9)	117,755 (103.1)	16,960 (111.4)	40,375 (98.0)	59,475 (104.9)	663 (82.3)	282 (82.7)
22,073 (91.3)	75,135 (111.2)	98,930 (101.4)	70,970 (99.2)	125,168 (106.3)	16,307 (96.1)	41,817 (103.6)	66,071 (111.1)	618 (93.2)	355 (125.9)
20,464 (92.7)	78,192 (104.1)	100,907 (102.0)	70,503 (99.3)	129,060 (103.1)	17,747 (108.8)	42,576 (101.8)	67,918 (102.8)	527 (85.3)	293 (82.5)
20,527 (100.3)	79,606 (101.8)	107,549 (106.6)	73,679 (104.5)	134,003 (103.8)	20,316 (114.5)	44,339 (104.2)	68,520 (100.9)	515 (97.5)	314 (107.2)
21,040 (102.5)	89,768 (112.8)	126,419 (117.5)	85,081 (115.5)	152,146 (113.5)	23,168 (114.0)	52,057 (117.4)	76,087 (111.0)	498 (96.7)	336 (107.1)
21,707 (103.2)	109,472 (121.9)	124,602 (98.6)	82,725 (97.2)	173,062 (113.7)	26,548 (114.6)	55,109 (105.9)	90,580 (119.0)	482 (96.8)	343 (102.1)

年度は79.3㎡となり、56年以降7年連続して低下し、48年度以来14年振りに80㎡を下回った。これは持家等の着工戸数の伸び率に比べ、1戸当たりの平均規模が小さい貸家の伸び率が高かったことによるものである。

現在、政府が進めている第5期住宅建設5箇年計画（61年度から平成2年度まで）では、適正な規模、構造および機能・設備を備えた住宅の建設戸数を670万戸と見込み、公営住宅、公団住宅、住宅金融公庫融資住宅等の公的資金による住宅については330万戸としている。61年度および62年度は住宅建設が好調であったため、総戸数見通しの670万戸に対する達成率は46.7%程度と予想以上の数値で推移しているところである。

また、住宅・都市整備公団では昭和30年度から61年度まで約67万戸の賃貸住宅が供給されており、62年度は9,500戸の建設計画で進められ、63年度も9,500戸の賃貸住宅の建設が計画されている。また、民営賃貸用特定分譲住宅については62年度は9,000戸を建設し、63年度も引続き9,000戸を計画しているが、さらに63年度からは同分譲住宅について、居住水準の向上等を図るため、増築等による住宅の大型化を推進している。

60年9月以降の急速な円高により、わが国経済は内需主導型経済構造への転換がせまられ、このため、公共事業の前倒し発注、規制緩和による市街地再開発、住宅建設の促進などが総合経済対策に盛り込まれ、建築着工面での充足に反映されてきた。このような状況下で、国民の住生活に対するニーズは一段と高度化・多様化し、居住水準の改善が図られている。また、一方では住宅ストックの充実などに向け、建替需要も増加してきており、わが国の潜在住宅需要の根強さがうかがえる。

建築着工の動きが、こうした経済活動に左右されるのは言うまでもないが、今後は民間活力による住宅・社会資本の整備を計画的に行なうことが極めて重要な課題といえよう。また、平成元年度についてみれば、建替需要を含めた潜在住宅需要の掘り起こ

しや、消費税導入による63年度の駆け込み需要の大半が平成元年4月以降の着工にずれ込むと見られることから、建築着工も伸び率の鈍化は予想しうるもののほぼ順調に推移するものと思われる。

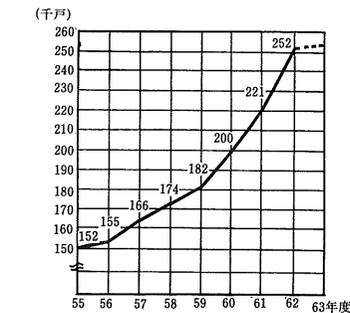
2-3 プレハブ住宅建築

プレハブ住宅の需要動向は、昭和62年度の販売戸数が対前年度比14.2%増の252,545戸となり、前年度の伸び（10.8%）を上回るとともに、初の25万戸台を達成した。また、63年度上半期（4～9月）では、

表-4 プレハブ住宅販売戸数（単位：戸）

	59年度	60年度	61年度	62年度	63年度上半期		
総数	(A) プレハブ住宅販売戸数(着工)	182,497	199,702	221,192	252,545	127,615	
	伸び率 (%)		9.4	10.8	14.2	10.9	
	(B) 全着工新設住宅数	1,207,147	1,250,994	1,399,833	1,728,534	878,895	
	(A) / (B)		15.1%	16.0%	15.8%	14.6%	14.5%
	(C) プレハブ住宅生産能力数	300,319 (184)	296,207 (183)	321,364 (169)	333,894 (171)	—	
	(A) / (C)		60.8%	67.4%	68.8%	75.6%	—
構造別	木質系住宅	33,007	34,957	38,506	44,737	22,559	
	伸び率 (%)		5.9	10.2	16.2	7.9	
	鉄鋼系住宅	120,146	134,960	150,877	174,039	88,990	
	伸び率 (%)		12.7	11.8	15.4	11.2	
	コンクリート系住宅(低層)	7,842	6,656	6,812	7,454	3,351	
伸び率 (%)		△15.1	2.3	9.4	6.2		
コンクリート系住宅(中高層)	21,502	23,129	24,997	26,315	11,715		
伸び率 (%)		7.3	8.1	5.3	16.3		

※63年度上半期は対前年同期比の伸び率



※63年度は推定（点線）

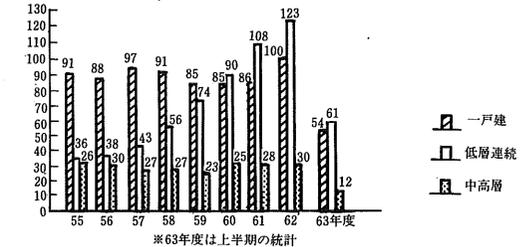


図-7 プレハブ住宅階層別販売戸数

表-5 階層別、構造別販売戸数

		59年度		60年度		61年度		62年度		63年度上半期		
		(戸)	対前年比 (%)	(戸)	対前年比 (%)	(戸)	対前年比 (%)	(戸)	対前年比 (%)	(戸)	対前年同期比 (%)	
一戸建	低層	木質系	24,266	87.5	24,155	99.5	25,328	104.9	28,654	113.1	15,370	110.5
		鉄鋼系	55,979	95.8	56,437	100.8	57,051	101.1	65,975	115.6	35,949	113.1
		コンクリート系	4,554	88.2	4,174	91.7	3,680	88.2	4,968	135.0	2,066	98.3
		小計	84,799	92.9	84,766	100.0	86,059	101.5	99,597	115.7	53,385	111.7
	中層	木質系	—	—	—	—	—	—	—	—	3	—
		鉄鋼系	—	—	—	—	—	—	—	—	921	—
		コンクリート系	—	—	—	—	—	—	—	—	7	—
		小計	—	—	—	—	—	—	—	—	931	—
	一戸建計		84,799		84,766		86,059		99,597		54,316	113.7
	共同建	低層	木質系	8,471	204.9	10,802	123.6	13,178	122.0	16,083	122.0	8,186
鉄鋼系			62,410	127.5	76,986	123.4	91,265	118.5	104,203	114.2	51,943	111.1
コンクリート系			3,288	132.3	2,482	75.5	3,132	126.2	2,486	79.4	1,285	121.9
小計			74,439	133.7	90,270	121.3	107,575	119.2	122,772	114.1	61,419	110.2
中高層		鉄鋼系	1,757	59.7	1,537	87.5	2,561	166.6	3,861	150.8	172	11.3
		P C 工法	17,526	94.2	18,149	103.6	20,136	110.9	21,378	106.2	9,104	105.0
		P S 工法	126	78.8	56	44.4	93	166.1	18	19.4	682	—
		H P C 工法	3,463	71.5	3,880	112.0	3,966	102.2	4,117	103.8	1,744	166.6
		R P C 工法	387	99.2	1,044	269.8	802	76.8	802	100.0	178	50.9
		小計	23,259	86.3	24,666	106.0	27,558	111.7	30,176	109.5	11,880	102.5
共同建計		97,698	118.2	114,936	117.6	135,133	117.6	152,948	113.2	73,299	108.9	
合計		182,497	104.9	199,702	109.4	221,192	110.8	252,545	114.2	127,615	110.9	

全体で127,615戸、対前年同期比10.9%の伸びを示し、伸び率では62年度上半期に及ばないものの、上半期として過去最高の戸数を記録した。従って、下期の伸びにもよるが63年度の販売総数は、前年度を上回り、過去最高も期待される。

62年度のプレハブ住宅販売戸数を階層別にみると、一戸建住宅は前年度(1.5%増)の伸びを大幅に上回る15.7%増の99,597戸、また、低層連続建住宅も前年度比14.1%増の122,772戸と依然として高い伸びを示し、全プレハブ住宅販売戸数における占有率は48.6%と高い数値を示した。中高層住宅も、同9.5%増の30,176戸で大きく伸長したが、中でも鉄鋼系中層住宅は同50.8%増と著しい伸びを示した。

一方、構造別の販売戸数は木質系住宅が前年度比16.2%増の44,737戸、鉄鋼系住宅が同15.4%増の174,039戸となり、木質、鉄鋼系とも一戸建と低層連続建住宅で増加を示した。コンクリート系住宅では低層住宅が連続建で減少(同20.6%減)したが、一戸建の好調(同35.0%増)さから同9.4%増の7,454戸、中高層住宅が同5.3%増の26,315戸と順調に推移した。

全体的には一戸建、低層・中高層とも好調に推移しており、全着工新設住宅に対するプレハブ住宅販

売戸数の占める割合も14.6%を示し、かなり健闘していると言える。さらに63年度は総販売戸数で前年とほぼ横這いで推移、依然高水準の需要を保ち、また、このうちシーリング材需要の大きい中高層住宅およびコンクリート系住宅も、前年と比べ同程度以上は伸びるものと考えられる。

プレハブ住宅に使用されるシーリング材は、一般的に経済性と性能のバランスにより評価の高いポリウレタン系シーリング材が使用されており、木質系、鉄鋼系一戸建ではポリウレタン1成分形が、また、コンクリート系ではポリウレタン2成分形が多くを占め今後も適用されるものと思われる。また、このほかにも変成シリコーン系、ポリサルファイド系などが適材適所で使用されているが、一戸建では1成分形、中高層住宅では2成分形といった使い分けが完全に定着している。

平成元年度の新設住宅着工戸数は62、63年度に比べ若干減少することが予想されるが、プレハブ住宅も多少の影響を受けると考えられる。しかし、消費税の影響による相当数の駆け込み需要の4月以降へのずれ込みが予想され、数字的には横這いで推移するものと思われる。また、ここにきてプレハブ住宅で圧倒的シェアを占める貸家を中心とした低層連続住

宅の伸びが鈍化しており、今後の伸びへの影響が懸念されるところである。従って、シーリング材の需要も微妙なところで、これまでのような極端な伸びは期待できず、前年程度で推移するものと考えられる。

3. 建築関連業界の動向

3-1 メタルカーテンウォール

メタルカーテンウォール（以下 MCW）の需要動向も63年は対62年実績で、かなりの伸びがあったと推定されている。既にまとめられている63年前期までの実績では、前年同期比で30%増（金額ベース）を示し、後半も好調なうちに推移している。この傾向は、今年にはいつても続いており、少なくとも10月まではメーカーもフル操業の見通しで、現状では受注を手控えている状況にある。従って、タイムラグを考慮すれば、MCWの着工について向こう1～2年の急激な低下はないと予測できる。受注高の推移を見ると、過去最高を記録した58年の418億円（日本カーテンウォール工業会会員受注高、以下同）をピークに以降は停滞あるいは減少気味であったが、62年は内需景気の好調により58年を上回る422億円を達成、さらに63年は前述のとおり好調さから、550億円を越えるものと見られている。

MCWは一般的にコンクリートカーテンウォール（以下 PCCW）に比べると建設コストが高く（約1.8～2.0倍）、中層以下のビルではPCCWの方が需要が多い。昭和50年代の建設業低迷期に、MCWとPCCWのシェアが入れ替わったのも、コスト優先的な背景があったと見られる。また、メタル表面の汚れ防止など経年的な維持管理にかかる費用もPCCWに比べ高い。しかし、軽量な点は高層建築の種々の要求機能に適合し、工期短縮、耐久性に優れるといったメリットもある。そして、大きな特徴は意匠性に富む点で、特に、近年のSSG構法に見られるようなガラスをふんだんに用いたシャープな壁面

が流行を呼んでおり、これがMCWの需要増に起因していると思われる。また、こうした傾向から最近では4～5階建の中層建物、主に店舗、遊戯施設、オフィスビルなどの商業ビルでMCWの採用が目立ち、出荷量もPCCWに再び接近してきている。

MCWに用いられるシーリング材はポリサルファイド系がまず主流をなし、次にシリコン系2成分形が進出、さらに変成シリコン系2成分形が加わってきた経緯があり、高層建築については後者2基材がポリサルファイド系にほぼ置き替ったと見てよさそうである。

カーテンウォールにおけるシーリング材適用の過程は、試行錯誤と要求性能に対する品質向上の歴史とも言え、また、別な観点からすれば、シーリング材を適用するすべての目地に適切な設計手法を確立させた道程とも言えるだろう。その結果が、シリコン系と変成シリコン系という高性能シーリング材をMCWに定着させ、反面、それでも拭い切れなかった不信感はシーリング材に頼らない、等圧システムを導入したオープンジョイント構法を誕生させた。同構法も本格的に採用され既に10年以上を経過、実績も着実に伸びている。海外でも、このオープンジョイント構法はゴムガスケットとの併用も含め主流になりつつある。しかし、わが国では、イニシャルコストが割高である点、工程数の増加、高温多湿な気候風土などの条件から一概には有利な構法とは言いきれず、今後の評価をまたねばならない。むしろ、現時点ではMCW普及期に低下したシーリング材（構法）の信頼性も大方回復してきたと考えられ、適切なメンテナンス手法の確立をもってすれば、シーリング構法の採用も有望と言えそうである。

一方、中型物件の増加などを背景に、日本カーテンウォール工業会では昭和63年5月より会員ならびに学識経験者を中心に「新ファサードシステム開発委員会」を設置し、メタルにとらわれず、種々の意匠性、機能に対応したビルファサードのシステム化に取り組んできた。この初年度の研究成果が近々報告される予定で、システムの一端を担うシーリング材

に対しても新たな機能要求が出現することも考えられ注目される場所である。なお、同委員会は引続き第2年度の研究活動として海外のファサードシステムに焦点をあてていく計画である。

3-2 コンクリートカーテンウォール

コンクリートカーテンウォール（以下PCCW）の需要は、その特徴である施工単価が安い点、防水性、耐火・耐震性が良好であること、また近年では仕上材の先付技術が定着してきたことなどにより、大都市のホテルや再開発事業を中心とする新・増築ブームでの採用が活発で、好調に推移している。

特に、PCCWと最近需要が急増しているPCF（型枠兼用材）を合わせた受注高は、61年以降、毎年20%以上（対前年度化）の伸び率で推移しており、63年度も受注高340億円（同26%増）という大幅増を示している。これは、内需主導型経済構造への転換により、建築着工戸数が大幅に増加したことによるが、このうち、オフィスビルを中心としたビル建築物の高層化が徐々に進んできたことが主な要因といえる。また、こうした需要増に伴って、PCCWの技術開発も進み、その商品価値が評価されはじめてきたことが、現在の需要を支えている要因ともなっている。

また、絶対量が少ないため統計としては明らかに

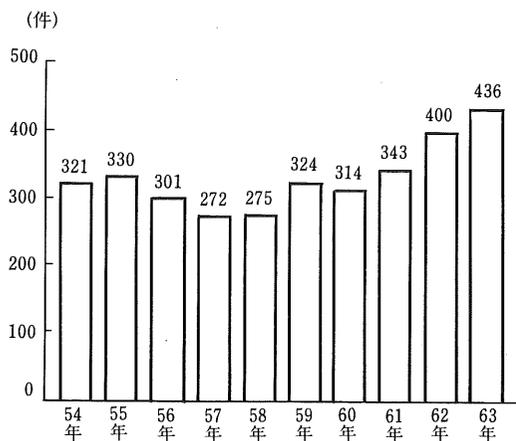


図-8 PCCW受注件数の推移

されていないが、軽量で肉薄のGRC（ガラス繊維補強コンクリート）、CFRC（炭素繊維補強コンクリート）などが、中低層、低層物件で着実にその需要を伸ばしていることも今後注目されよう。

PCCWに使用されるシーリング材は、MCWと同様に、従来のポリサルファイド系に代わって、変成シリコン系が主流となっており、耐久性、美観を最重視するところから、高層物件についてはさらにこの傾向が強まっている。また、中低層物件では経済性からポリサルファイド系シーリング材が主に使用されているものと思われる。これまで、シーリング材も耐久性の点で完全な信頼を得るには至っていない面もあったが、2次シール設計の普及、シーリング材の性能向上などにより大幅な改善がなされている。一方、オープンジョイント構法については、耐火上の問題、工程数の増加などから全面的な採用には至っていないが、大型物件での実績も増えつつあり、今後も注目する必要があるだろう。

今年から来年にかけては、大阪、名古屋、福岡などを中心にウォーターフロント開発など大型プロジェクトが相次いで予定されている。また、ユーザーの外装デザインに対する要求の多様化、現場労務者不足による工場生産ラインの増加などにより、PCCWの需要は今後も増加傾向を示すと見込まれ、必然的にシーリング材の適用も増加するものと思われる。PCCW業界では、今後も従来のカーテンウォールに加え、各種セラミックスとの複合コンクリートなど、耐久性と美装性を兼ね備えた新素材による営業展開を図っており、また、長期的には低層建築物への採用に向けても検討を加えているが、平成元年度については受注額500億円を目標にする考えである。

3-3 サッシ

昭和63年度の新設住宅着工戸数は、62年度に引続き170万戸を越えると見られるが、アルミサッシの出荷量は453,000トン（見込み、前年度比4.6%増）で62年度の伸び（同10.8%増）に比べるとやや頭打ち

の傾向となっている。これは住宅建設が、貸家を中心とする集合住宅に多くを依存しており、窓数の多い戸建住宅の伸びはそれほどではないことが原因となっている。また今後は既に、住宅建設着工自体がピークを過ぎたと見られることから、需要の約60%を木造用とするサッシメーカーでは、製品の高級化、多様化など量から質への転換を進めるものと予想される。

非居住用建築物では、オフィスビルや製造業の設備投資が好調で、新設と合わせ、スチールサッシの老朽化に伴うアルミサッシへの取替工事など改・補修工事も期待がもてそうである。

また、日本サッシ協会が、このほどまとめた平成元年度需要予測では、依然高い水準を維持し63年度を0.7%上回る452,000トン程度と見ている。これは先述したように、住宅着工は昭和63年度に比べ落ち込みが予測されるが①一戸当りの床面積の増加、住宅の質の向上等により住宅投資の落ち込みはわずかに②非住宅建築投資は内需中心の景気拡大が今後も続く——との分析によっている。

アルミサッシでは、ガラス回りおよびサッシと躯体との取合い、サッシの裏打ち部分にシーリング材を使用するが、ガラス回りについては経済性、施工性の点からグレイジングビードが大部分を占め、一部でシリコン系1成分形が用いられている。躯体との取合い部では、ポリサルファイド系が主流となっているが、変成シリコン系の使用頻度も増えて

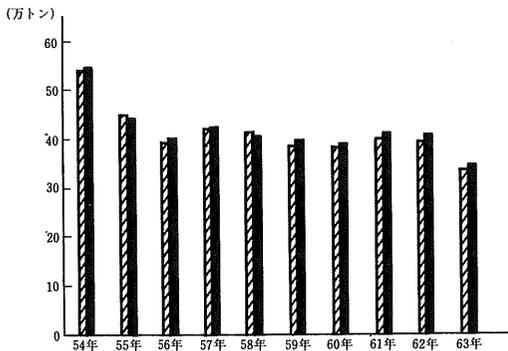


図-9 アルミサッシ年度別生産・出荷実績 (注)日本サッシ協会まとめ、63年度4~12月実績)

きている。またサッシ取替えを含む改修工事の場合でも変成シリコン系、ポリサルファイド系の使用が多い。また、裏打ち用シーリング材としては、耐候性があまり要求されないためブチルゴム系などでまかなわれることが多い。

近年、寒冷地を中心に塩ビ製サッシが多用されている。結露対策、断熱上のメリットによるもので、この取合いに用いられるシーリング材としてはポリウレタン系、変成シリコン系の各1成分、2成分形が定着しつつある。

3-4 板ガラス

板ガラスの需要構造は、おおよそ建築用が6割、自動車用が3割、その他が1割の市場と推定されている。

63年(暦年)の板ガラス一次製品の需要動向をみると、建築分野では新設住宅着工戸数が168万3000戸(対前年比0.5%増)と高水準を維持し、また、自動

表-6 板ガラス生産・出荷量(一次製品)

(板ガラス協会調べ)(単位:1,000換算箱)

種類	普通板・変り板ガラス				フロート・みがき板ガラス			
	生産		出荷		生産		出荷	
	数量	前年比(%)	数量	前年比(%)	数量	前年比(%)	数量	前年比(%)
57年	9,476	86.4	11,865	89.1	24,216	103.0	23,381	111.6
58年	7,497	79.1	7,604	64.1	26,427	109.1	25,965	111.1
59年	7,160	95.5	7,115	93.6	26,814	101.5	26,340	101.4
60年	6,982	97.5	7,008	98.5	28,411	106.0	27,568	104.7
61年	6,473	92.7	6,711	95.8	26,941	94.8	27,616	100.2
62年	5,931	91.6	6,784	101.1	27,630	102.6	28,282	102.4
63年	6,960	117.3	6,990	103.0	28,480	103.1	30,714	108.6

換算箱:板ガラスの統計単位で、2mmの厚みに換算して1箱=9.29㎡で計算

表-7 安全ガラス・複層ガラス出荷量(加工二次製品)

(単位:1,000㎡)

種類	安全ガラス(建築用)				複層ガラス	
	合せガラス		強化ガラス		数量	前年比(%)
	数量	前年比(%)	数量	前年比(%)		
57年	72	105.9	753	161.6	1,077	123.1
58年	66	91.7	866	115.0	1,096	101.8
59年	101	153.0	861	99.4	1,207	110.1
60年	116	114.9	818	95.0	1,314	108.8
61年	172	147.5	878	107.3	1,457	110.9
62年	254	147.6	1,153	131.3	1,937	133.0
63年	347	136.7	1,572	136.4	2,111	109.0

車用では四輪車の生産台数が1,270万台(同3.7%増)とこちらも好調で、年末に向かいやや落込みは見せたものの、生産で3,544万1000換算箱(同5.6%増)、出荷で3,770万6000換算箱(同7.5%増)と前年を上回り、好調に推移した。

また、自動車需要が大部分を占める加工二次製品の合せガラス、強化ガラスは、自動車需要の好調を受け前年を上回る出荷量を示し、建築分野の需要についても絶対量は少ないものの、消費者の安全意識の高まりと、61年5月の建設省通達「ガラスを用いた開口部の安全設計指針」を軸にした板ガラス業界あげての普及キャンペーンにより、合せガラスが前年比36.7%増、強化ガラスが同36.4%増(いずれも出荷ベース)と大幅に伸長した。今後も関係官庁の行政指導と消費者の安全意識の向上を反映して大きく伸びる分野と期待される。

さらに、昭和55年から統計が開始された複層ガラスは、年平均10%前後の堅調な伸びを示しており、63年も211万1000m²(対前年比9.0%増)と引続き順調な伸びを示した。これは、快適な居住環境を求める消費者から、複層ガラスの持つ断熱性能による結露軽減効果や冷輻射軽減効果が高く評価された結果であり、今後も増加傾向は続くものと考えられる。

このように板ガラスの需要動向は製品の種類によってかなりの格差はあるが、63年はトータルで前年比約10%の増加を示し、業界側では今後も消費者ニーズに合った製品の需要拡大を推進する考えである。

窓ガラスに使用されるシーリング材は、近年の安全対策として弾性シーリング材およびグレージングビードの使用が定着してきており、かつてのガラスパテの打替えなども行なわれている。また、近年わが国でも注目され始めてきたSSG構法については、ガラスとの接着性が良好なシリコン系のシーリング材が使用されている。同構法は窓面積の大型化が可能となり、デザイン性の豊かさも評価され、最近徐々に採用が増加しているが、安全性や保証体制の確立など取組むべき課題や問題点も多い。今後も同構法に関わる材料メーカー、設計者、施工業者の綿

密な連携が重要なポイントとなろう。

近年、快適な住環境を求める消費者の声は高く、窓やスカイライトに対する機能的な要求も多様化しつつある。板ガラス業界としても省エネ化、安全性、採光性、さらに意匠性など、消費者ニーズへの対応により、量から質への転換を推進する考えである。

3-5 ALCパネル

ALC (Autoclaved Lightweight Concrete) パネルは、高温高圧蒸気で養生した既製の軽量コンクリートで約60年前にスウェーデンで開発された。わが国では1964年に技術導入がなされ、現在、4種類の製品(イトン、シポレックス、デュロックス、ヘーベル)がJIS製品として市販されており、着実に需要を拡大してきている。

ALCパネルの最近の需要動向をみると、昭和61年度の出荷量が295万2,152m²(前年度比3.1%増)、62年度は300万m²を一気に突破し、338万1,935m²(同14.6%増)と大幅な増加を示した。さらに63年度上半期(4~9月)も183万8,064m²(前年同期比13.8%増)と2桁台の伸び率で推移し、6月以降(12月

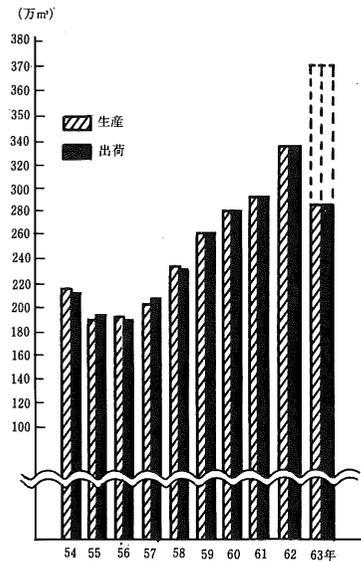


図-10 ALCパネル生産・出荷統計(通商産業省調べ)
(63年度は4~12月の実績、点線は推定)

まで)は7ヶ月連続で30万㎡台の高水準の出荷を示している。このペースで推移すれば63年度(総計)は370万㎡を確実に突破することが予想される。こうした著しい需要増の要因としては、主な需要分野である中低層建築、店舗併用住宅などの着工が依然として好調な点があげられる。もちろんこの背景には、断熱性・耐震性・化粧性を備えた高付加価値製品としての特性がユーザー層に完全に浸透してきたことがあげられ、このほかにも①長年の実績から耐火建築材料として住宅金融公庫の融資対象になっている②建替需要の増加③地価高騰による節税対策を背景とした建設需要——などもその要因としてあげられる。また、63年に限ってみれば、産業界の景気回復を反映し機械、ハイテク、食品、流通業界など、民間企業による工場建設ならびに建替えが活発化し、大型の設備投資需要が盛り上がったこと、メーカー各社がブロック調、ストライプ調といった見栄えのする商品を開発し2、3階建てのマンションや一戸建て住宅にALCパネルを採用するケースが増えてきたことなどが、大幅な需要増の一因となっている。ALC業界でも、こうした設備投資による需要増が今後も期待できるとして、フル操業で対処していく考えである。

ALCパネルは主に外壁、屋根、床、間仕切などに使用されているが、中でも外壁用途としての使用が最も多く約70%を占める。ALC目地に使用されるシーリング材は経済性、作業性の点からアクリル系が圧的なシェアで使用されており、用途・条件によってポリウレタン系、変成シリコン系の低モジュラスタイプが実績をあげている。

3-6 サイディングボード

サイディングボードは、住宅など低層建築物用の外壁パネルの一種で、材質により窯業系、金属系、木質系に分類される。また、一定の寸法で製造されるが、大型のプレキャストコンクリートパネルなどとは区別されるものである。

サイディングボードの需要は、戸建住宅をはじめ

一般住宅、店舗などの外装材の乾式構法化とともに急激に増加している。特に、新設住宅ではこれまで外装材の主流であったモルタル塗による湿式壁と完全に置替ったと見てよい。中でも窯業系乾式防火サイディングボードの増加が顕著で、これまでの総出荷量も61年度で4,419万3,600㎡、62年度で5,373万3,900㎡、63年度推定で6,889万7,400㎡(日本乾式防火サイディング協会調べ、会員14社合計)と著しい伸びを示している。こうした傾向の背景にはモルタル壁につきまとうひび割れ、はく離と言った欠点、防火上塗厚(2cm)を確保するための施工手間などに対し、サイディングボードの施工性のよさ(釘打可能)、すなわち工期の短縮、省力化が図れ、また縦張り、横張り工法とも可能である点、特に横張り工法による建物イメージの向上などが大きな要因として存在している。

サイディング住宅でシーリング材を使用する部位は、ボード同志の縦・横ジョイント部をはじめ、出・入隅ジョイント部、サッシ回り、玄関ドア回り、幕板取合部、軒天部、庇取付部、金物取付部、換気フード回りなど多数にのぼる。標準タイプの住宅(25~30坪、外壁面積100~150㎡)では横張り工法の場合20~30本(330mlカートリッジ)、縦張り工法ではその約半分が使用される。使用されているシーリング材は1成分形が圧倒的であり、低モジュラスタイプのポリウレタン系、変成シリコン系が大部分を占めている。シーリング材の適用に当っては、ボードメーカーが専用品をボードとともにセット、あるいは品目や基材を指定したり、または、施工店任せなど種々である。

しかし、一般のビル建築などではシーリング工事も適材適所や適切な目地設計の普及が進んでいるのに対し、サイディング工事は素材自体が新しく、住宅工事を請負った一般工務店・大工が、シーリング材に関する認識が不足したままに一貫してシーリング工を行なうことが多いためクレームの発生が少なくない。サイディングボードの乾湿による伸縮、アバレ、ソリなどがシーリング材にとって過酷な条

件をもたらすのに加え、基本的な施工技術不足が欠陥の原因となっている。従って、現在、シーリング材メーカーとサイディングボードメーカーが一体となって技術面の啓蒙活動に努めており、当工業会でも、日本乾式防火サイディング協会と共同で技術資料を作成し、普及化に努めるなど、今後の成果が期待されるところである。

現在サイディングボードは北海道、東北地区で普及率が高く、関西・中国・四国地区はモルタル壁が依然強く、相対的に低い。しかし、これまでの傾向から、今後も乾式化が進むことは必至で、シーリング材の適用もますます増えるものと考えられる。なお、当工業会では昭和63年度（平成元年1月実施）のシーリング管理士およびシーリング技術管理士検定講習会より新たな講習科目として「サイディング材とシーリング」を設けた。

4. メンテナンス用途の シーリング動向

ここ1～2年の新築部門の好調からやや影が薄くなった感もあるが、建物外壁の改・補修需要は、建築工事全体の中でも近年特に目立って増加している分野である。建物自体の寿命、すなわち、コンクリートや鉄骨など構造体として主要をなす無機材料に比べ、シーリング材などの有機材料の耐用年数が短いのは宿命とも言え、必然的に劣化部に対しては改・補修工事が適用されることになる。そして、この適用機会は、過去から現在に至るまでの建築ストックが増加すればするほど増大する傾向にあり、今後ますます需要を拡大する分野と言えよう。

これら建物の改・補修工事には、シーリング材の打替えなどの再施工も当然含まれてくる。シーリング材自体は、およそ10～15年でその性能寿命をまっとうすると見られ（もちろん例外も多い）、改修工事もこの周期をめやすに行なわれることになる。机上の計算では、現在改修期にはいつているものは昭和50年代初期に施工されたシーリング材であり、これに先立ちポリサルファイド系が登場した昭和30年代

後期に施工された目地は2度目の改修期を迎えることになる。シーリング材の改・補修需要は、現状ではまだ出荷量全体の一部を占めるに過ぎないであろう。しかし、上述の点を考慮すると、昭和40年代以降の建物の軽量化、柔構造化、高層化を背景にもつ建設ラッシュ、そして、その時期に大きく拡大普及したシーリング材の適用過程は、改修用途の潜在需要の膨大さを物語るものである。

改・補修の対象となる建物は、超高層から低・中層のRC、PC建物など様々である。また、シーリング工事は全面的再施工となるケースが多く、量的にも大きい部分を占める。改修もシーリングのみを目的とするのではなく、計画に則って、外壁面の塗替工事などの際、外足場を有効利用するために行なわれることが多い。もちろん、サッシの取替え、設備機器の交換、漏水に伴う部分修繕等にシーリング材が用いられることも多いが、大量に使用されるケースは稀である。

使用材料もケースバイケースで1成分、2成分形が適宜用いられ、シリコン系マスティック型などは油性系の打替えに多用されているが、改修専用のシーリング材というものは存在していない。

外壁目地シーリングの改修工法として現在行なわれているのは①再充填方式②拡幅再充填方式③ブリッジ方式の3種に大別できる。しかし、それぞれが満足のいく工法かと言うと、騒音問題や塵埃発生、再び訪れるであろう再補修時の対応、被着体の問題など必ずしも首肯できない点もある。そこで、近年では、意匠性も考慮し外装の一新を図るために壁面全体を包み込んでしまうパネル構法が出現している。ただし、水密性がそれほど要求されていないからか、ノンシール方式による場合が多い。

一方、改修需要の増加に伴い、その経済的、効果的な実施を目途として官・民種々の機関で工法・仕様の確立が図られている。なかでも建設省が進めた総プロ活動では昭和61年にシーリング防水の劣化診断、補修・交換、総合耐久設計の各指針が作成され、シーリング材の耐久設計、管理について一応のめや

すが示され注目を集めた。引続き62年度からは官民連帯共同研究として総プロ成果を継続する形で「シーリング防水改修設計・施工指針(案)」の作成作業が始められた。作業に当たった「防水・シーリング改修技術開発委員会」には、総プロ同様に当工業会からも委員を派遣、一応の作業は3月に終了し、今後普及委員会が設けられ、早ければ今秋より普及活動にはいる予定である。現状では需要増大とともに改修用材料・工法も百花繚乱の感があるが、同指針の普及により実務面での応用、標準的な手法の確立が期待されるところである。

5. ルートセールス分野でのシーリング材

シーリング工事専門業者以外のいわゆるルートセールス分野でもシーリング材の需要が伸びている。使用者が専門家でないこともあり1成分形の使用が圧倒的に多く、種別ではポリウレタン系、変成シリコン系、シリコン系の伸びが目立っている。従来、左官業、吹付業、板金業、塗装業、内装工事業など防水工事周辺業者は、単純な工事に関してはシーリング工事まで請負うケースが多かったが、特に、最近急増しているサイディングボード住宅の目地シーリングでは、一般工務店が建設工事を一貫して請負うことがほとんどである。作業性を含めた1成分形の性能向上により、このような専門家以外の使用量は今後も増加してゆくものと思われる。

※工務店等関連工事ルート

工務店の場合、従来より浴槽や台所などの内装シーリングは自前で施工する事が多く、新築工事1件当たり4本前後を使用していたが、サイディングボード住宅の目地シーリングでは一般標準住宅(25~30坪、外壁100~150㎡)で、10~30本を使用し、ポリウレタン系、変成シリコン系が多用されている。

板金、塗装業でも本業に伴う簡単なシーリング工事はほとんど外注することがなく、シーリング材は工事の必携品となっている。シーリング材の種類は、性能、価格、また手に入れやすさといった面からシ

リコン系、変成シリコン系、プチルゴム系、ポリウレタン系を使用している。

配管設備関係、簡易補修を手掛ける営繕業者もシーリング材を使うケースが増えており、カートリッジタイプのシリコン系、変成シリコン系が主流となっている。

※建築金物・機械工具関係

この分野でも全体の取り扱い量はシリコン系、変成シリコン系を中心として年々増加している。

建築金物分野でのシーリング材はメーカー、代理店もしくは1次問屋から建築金物問屋へ、ここから建築金物店、建材店などに流れるが正確な数字の把握は非常に困難である。一応、中堅クラスの建築金物問屋で月当り5,000本程度の需要があるという。

機械工具関係でシーリング材を扱っているのは主に、工具の総合問屋で、売上げのほとんどはシリコン系1成分形のカートリッジタイプである。

※DIYルート

昭和47年にわが国で初めてのホームセンターが誕生して以来、現在では総売上1兆円を超える巨大市場となるに至った。

ホームセンターではシーリング材は塗料・接着剤コーナーで取扱われており、一般消費者もシーリング材と接着剤を厳密に区別する意識は薄いようである。また売上げについても塗料・接着剤に分類されており総売上げに占めるこの分野の売上げは4~5%程度である。

また、購入者が素人であり、近年は主婦層にまで使用者層が広がっていることから、ネーミング、パッケージング、サイズ、マニュアルの整備などに工夫が凝らされているが、特にシーリング材の場合は基材の区別、特徴などが簡単に分かるようにする必要はある。

シーリング材の総売上げのうちDIY関連の売上げは10%未満と思われるが、DIY市場自体の成長性と価格にバラツキのないことから各メーカーとも力を入れているようだ。

わが国DIY産業の興隆の背景には(株)日本DIY協

会を中心としたメーカーや販売店、ユーザーに対する意識向上運動がある。DIYショー、DIY・HIマーケティング講座、DIYアドバイザー制度などが運営され内部的にも対外的にも充実を見せている。

現在、わが国は米国、西独と並んで世界3大DIY国の一つに数えられている。国民1人当たりの民住面積の小さな日本では米国並み（ホームセンター42,000店、総売上げ13兆円）の成長は期待できないという声もあるが、補修需要の増加や慢性的な職人不足による人件費の高騰もあり、まだまだDIY業界における建材の需要は伸びるものと思われる。

DIY分野で用いられるシーリング材は次の各種である。

〈油性コーキング材〉 10数年前まで一般家庭用充てん剤の主流だった油性系も今ではその座をシリコン系、アクリル系などに奪われた形となっている。

屋根、外壁など外まわりの補修に用いられているが、内部が硬化しないことから家庭用としては敬遠されるようである。

〈シリコン系〉 DIY関連で販売されるシーリング材の大半をシリコン系が占めているようである。浴槽や流し台、タイル目地といった本来の用途以外にも電気接続部分など、あたかもオールマイティーのように使われている。素人でも失敗の少ない使い易さが人気を呼んでいるものと思われる。

〈アクリル系〉 防水性能においてはシリコン系に一歩ひけをとるが、価格が安くて使い易いことから室内壁向けを中心に売上げを伸ばしている。インテリアの改装などに若年層の購入が目立っている。

〈その他のシーリング材〉 上記3基材以外ではポリウレタン系、変成シリコン系が徐々に進出している。

建築防水資材の名コンビ

シーリング材

シリコン1液2液 変成シリコン
ポリサルファイド
ウレタン1液2液
アクリル プチル 油性

バックアップ材

角型 丸棒 超硬質 特殊形状
ゴムグレイジングロープ
マスキングテープ
他副資材

- ★防水吹付材・エポキシ注入材
- ★エポキシライニング材・防水塗床材
- ★ウレタン防水材・シート防水材・伸縮目地材

豊富な在庫で迅速納入



フヨー株式会社

本社・建材営業部/〒130東京都墨田区業平5-5-6 Tel. 03(626)3371(代)
大阪支店/〒532大阪市淀川区宮原5-6-10 Tel. 06(395)0201(代)
仙台営業所/〒982仙台市富沢3-28-30 Tel.022(244)4911(代)



注目の的！

JIS 耐久性区分 9030 に合格

高性能一成分形ポリウレタンシーラント



JIS A 5758

PU-1-9030-A-N

許可番号 386031

AUTONSEALER 101A



- 特長
 - 一液ですので、計量、混練、脱泡などの手間がいりません。
 - モジュラスと伸びとのバランスが良く、振動伸縮に対する追従性が優れています。
 - 多くの被着体に対し非常に優れた接着性を持っています。
 - 硬化後、各種塗料による塗装が可能です。
 - 耐候性、耐熱耐寒性、耐水性、耐薬品性に優れ、長期にわたり高性能を維持します。
- 荷姿
 - カートリッジ (320ml) 25本入りカートン箱、ミニペール缶 (4ℓ) 2個入りカートン箱、ペール缶 (12ℓ)
- 色
 - グレー、ホワイト、アイボリー、アンバー

製造元

オート化学工業株式会社

東京都港区西新橋 2-23-1 ☎ (03) 437-3482(代表)

大阪市淀川区東三国 1-12-15 ☎ (06) 396-1421

発売元

株式会社 岩田商会

仙 台 022-266-1007 名古屋 052-231-8591

東 京 03-438-0511 大 阪 06-356-1121

長 野 0262-24-0309 広 島 0822-49-7642

浜 松 0534-64-6331 福 岡 092-472-0235

性質・用途	アミノキシ型			酢酸 1成分形	アルコール 1成分形	オキシム 1成分形
	1成分形 トスシール	2成分形 トスシール	3成分形			
低モジュラス (メタル・PCカーテン ウォール・土木用)	10 (P)+1	361 (P)+2				
一般用 (ガラス・一般建材用)				トスシール 371	トスシール 380	トスシール 381 (P)+3
中・高モジュラス (ストラクチャル グレイジング用)		トスシール 62		トスシール 1200		
防カビ性 (バスタブ用)		トスシール 63		トスシール 73		トスシール 83
超透明 (ショーケース用)				トスシール 78		
難燃性 (防火区画内用)		トスシール 64				
難燃充填シール用 (シリコンフォーム)		トスシール 300				
流動性 (土木用)		トスシール 67				
マスチック型 (油性補修用)			トスシール 90			

*1 JIS A 5758 「SR-1-10030-A-N」
 *2 JIS A 5758 「SR-2-10030-A-N」 認定品 許可番号 第381142号
 *3 JIS A 5758 「SR-1-9030G-A-N」

信頼のブランド トスシール

各種用途に適した 製品のラインナップ

超高層ビルに数々の実績があるトスシール。この実績が保証する品質の確かさ、十分なる技術サービス体制、豊富な製品ラインが、どのような用途にもきっちりとご満足のゆく製品となって、皆様のお手許にお届けすることができます。

●建築用シーリング材に関することなら、まず、東芝シリコンにご相談ください。



東芝シリコン

東芝シリコン株式会社
 本社/☎106 東京都港区六本木6-2-31
 ☎(03) 479-3501(代) ●支店/大阪・名古屋
 営業所/札幌・仙台・金沢・北関東・松本・広島・福岡

建築用弾性
シーリング材

セメダイン

ポリシール1^{ワン}

世界が認めた
パーマポール日本
で新登場!!

セメダイン「ポリシール1」は、変成ポリサルファイド系ポリマー（パーマポール®）を主成分とし日本触媒化学工業㈱と共同開発した1成分形建築用シーリング材です。空気中の酸素で硬化する特長を有し、バランスのとれた性能を保持することから、新しい1成分形シーリング材として今後の市場要求に対応する製品です。

特長

- 酸素硬化のため、寒冷地（-5℃）での硬化がOKです。
- 専用プライマー（MP2000）を使用することにより、油性コーキング材の打ち替え用途に最適です（1液タイプであるため、リフォームでは混合機を必要とせず、手軽な作業ができます）。
- シール施工後の仕上塗材に対しては、ウレタン系と同程度の良好な密着性と非汚染性を有します。

用途

- PC、SRC、RC、モルタル、ALCなどコンクリート目地シール。
- 各種サイディング材の内外装目地シール。
- GRCなどのセメント2次製品類の目地シール。
- 石目地、タイル目地シール。
- 建築各種の金属建具まわり、配管まわりシール。
- 折板目地、カラ鉄板シール。
- コンクリート系外壁リフォームの目地打替え、クラック補修。

塗料がのる変成
ポリサルファイド

油性コーキング材の打ち替え
補修に最適!



接着剤とシーリング材の総合メーカー
セメダイン株式会社

〒141 東京都品川区東五反田4-5-9

建築土木
事業部

☎(03) 442-1341

大阪支店 〒542 大阪市南区島之内1-15-14 ☎(06) 251-3555
名古屋支店 〒464 名古屋市千種区井上町34 ☎(052) 781-3166
札幌営業所 ☎(011) 261-1471 南関東営業所 ☎(045) 314-9671 広島営業所 ☎(082) 249-0941
仙台営業所 ☎(022) 284-6167 静岡営業所 ☎(0542) 52-3031 福岡営業所 ☎(092) 741-7188
北関東営業所 ☎(0285) 22-1291 金沢営業所 ☎(0762) 51-3501

建設省建築工事共通仕様書

平成元年版発刊

シーリング工事も一部改正

建設省の建築工事共通仕様書平成元年版が、このほど(株)営繕協会より発刊された。昭和60年版以来4年ぶり第11回目の改正で、4月1日以降の官公庁工事を中心として同仕様書が適用される。現在、営繕協会では従来版との改正点等について説明会を開催中で、6月頃まで全国主要都市での普及活動が行なわれる予定。

シーリング工事(9章4節)の今回の改正の要点は、①シーリング材の種別、目地寸法、工法は、従来各章にまたがっていたものを、全てこの節にまとめたほか、シーリング材の種別を、従来の耐久性区分による分類から、材種と施工箇所に応じた種別区分に改めた②外部に面するシーリング材の品質管理を明確にするために、簡易接着性試験を追加したほか、バックアップ材、ボンドプレーカー、シーリング材の挿入状況及び硬化、接着状態の確認、検査を行なうこととした—の2点。

以下に、同仕様書9章4節「シーリング工事」の全文を掲載する。

4 節 シーリング

9.4.1 適用範囲

この節は、不定形弾性シーリング材(以下「シーリング材」という)及び油性コーキング材を用い、部材の接合部、目地部の充てん、ガラスの留付けなどのシーリングに適用する。

なお、シーリング材及び油性コーキング材の総称を、シーリング用材料という。

9.4.2 材 料

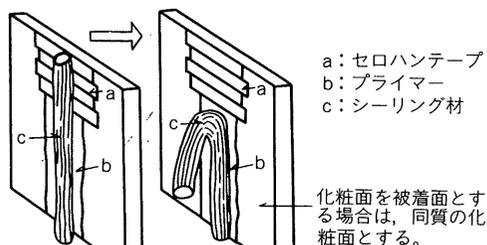
- (a) シーリング材は、JIS A 5758(建築用シーリング材)の規格品とし、有効期間を過ぎたものは、使用してはならない。
- (b) 油性コーキング材は、JIS A 5751(建築用油性コーキング材)の規格品とする。
- (c) シーリング用材料の種別及び施工箇所は特記による。特記がなければ9.4.1表による。

9.4.1表 シーリング用材料の種別及び施工箇所

種別	材種	施工箇所	
A種	シリコンシーリング材 (1成分形) 高モジュラス形	ガラス方立工法, ガラス突付け	
B種	シリコンシーリング材 (1成分形) 低モジュラス形	金属製笠木目地	
	シリコンシーリング材 (2成分形)	建具周囲	
C種	ポリサルファイドシーリング材 (2成分形)	建具周囲	プレキャストコンクリート カーテンウォール目地
	変成シリコンシーリング材 (2成分形)	コンクリート壁目地 石目地	
	変成シリコンシーリング材 (1成分形)	タイル目地	
D種	ポリウレタンシーリング材	ALCパネル縦使い挿入筋工法の建具周囲	
E種	エマルジョン系アクリルシーリング材	ALCパネル縦使い挿入筋工法の目地	
F種	油性コーキング材	遮音壁取合部	

(注) 1. 高モジュラス形とは、50%モジュラスが $2.5\text{kg}/\text{cm}^2$ を超えるもの。
2. 低モジュラス形とは、50%モジュラスが $2.5\text{kg}/\text{cm}^2$ 以下のもの。

9.4.1図 簡易接着性試験



- (d) 外部に面する金属、コンクリート、建具などに用いる場合は、接着性試験を行い、試験成績書などを監督員に提出して、承諾を受ける。
- (e) 接着性試験は、下記の方法により、特記がなければ簡易接着性試験とする。
- (1) 引張接着性試験
JIS A 5758 (建築用シーリング材) による引張接着性試験とし、被着体は使用する材料と同様に製作されたものとする。
- (2) 簡易接着性試験
- (i) 被着体は、実際の部材又は化粧見本とする。
- (ii) 9.4.1図により、セロハンテープを張り、プライマーを塗布する。
- (iii) ひも状にセロハンテープ面とプライマー塗布面にシーリング材をシールし、硬化するまで放置する。
- (iv) 硬化後、9.4.1図のように、シーリング材を 180° 回転させ、手で引張る
- (v) 被着面全面にシーリング材が接着したままか、又は破断した場合に、接着性を合格とする。
- (f) 2成分形シーリング材の基材及び硬化剤は、製造所の指定する配合とする。
- (g) 合成高分子ルーフィング防水及び塗膜防水に用いるシーリング材は、それぞれ9.2.2(b), 9.3.3(b)による。

(h) 補助材料

- (1) プライマーは、主材製造所の製品とし、被着体（塗装してある場合は塗料）に適したものと
する。
- (2) バックアップ材は、合成樹脂又は合成ゴム製
でシーリング材と接着しないものとし、使用箇
所に適した形状で、裏面に接着剤の付いている
ものは目地幅より1mm程度小さいもの、接着剤
の付いていないものは目地幅より2mm程度大き
いものとする。
- (3) ボンドブレーカーは、紙、布、プラスチック
フィルムなどの粘着テープで、シーリング材と
接着しないものとする。

9.4.3 材料の貯蔵など

- (a) 材料は、高温及び多湿の場所を避け、直射日光
や雨の当たらない場所に密封して置く。
- (b) プライマー及び溶剤の取扱いには、火気に注意
する。

9.4.4 目地寸法及び下地処理

- (a) シーリング用材料の目地寸法は、特記による。
特記がなければ下記による。
 - (1) 陶磁器質タイル型枠先付け工法の伸縮目地は、
幅20mm以上、深さ10mm以上とする。
 - (2) 上記以外の箇所目地は、幅10mm以上、深さ
7mm以上とする。
- (b) 目地などの形状は、凹凸、広狭などのないもの
とする。
- (c) 下地は、十分乾燥し、油分、じんあい、モルタル、
塗料などの付着物及び金属部のさびを入念に
除去し、清掃したものとす。
- (d) 目地深さが、シーリング用材料の寸法より深い
場合は、バックアップ材を押し込み、所要の深さ
が得られるようにする。
- (e) 目地深さが、所要の寸法で、シーリング材が
9.4.1表のA種～D種の場合は、目地底にボンドブ
レーカーを用いる。ただし、動きの小さい打継ぎ
及び誘発目地並びにサッシ回りなどの場合は、監
督員の承諾により省略することができる。

- (f) バックアップ材及びボンドブレーカーの挿入状
況を監督員に報告する。

9.4.5 工 法

- (a) 充てんは、原則として吹付けなどの仕上げ前
に行う。仕上げ後に充てんする場合には、目地周囲
を十分養生し、はみ出さないように行う。
- (b) 降雨、多湿などにより結露の恐れがある場合は、
作業を中止する。
- (c) 充てん
 - (1) 一般事項
 - (i) 充てん用コーキングガンのノズルは、目地
幅よりわずかに細いものを使用し、十分隅々
まで行きわたるように加圧しながら充てんす
る。
 - (ii) 充てん後は、へらで十分押さえ、下地と密
着させて表面を平滑に仕上げる。
 - (iii) 目地には、必要に応じて、養生テープを張
り、へら押さえの後、直ちに取除く。
 - (iv) 目地への打ち始めは、原則として目地の交
差部あるいは角部から行い、すき間、打ち残
し、気泡がないよう目地の隅々まで十分に充
てんする。
なお、打継ぎ箇所は、目地の交差部及び角
部を避けてそぎ継ぎとする。
 - (v) 充てん箇所以外の部分に付着した場合は、
直ちに取除く。
 - (2) シーリング材の場合
 - (i) 上記(1)以外は、下記による。
 - (ii) 充てんに先立ち、**9.4.4(c)**、**(d)**及び**(e)**の下地
処置後、被着体に適したプライマーを塗残し
のないよう均一に塗布する。
なお、バックアップ材又はボンドブレーカ
ーには付着しないように行う。
 - (iii) 充てんは、プライマー塗布後製造業者の指
定する時間内に行う。
 - (iv) プライマー塗布後、ごみ、ほこりなどが付
着した場合又は当日充てんができない場合は、
再清掃し、プライマーを再塗布する。
 - (v) 2成分形シーリング材は、製造所の指定す

る配合により、可使時間に見合った量を十分練混ぜて使用する。

(vi) 2成分形シーリング材を用いて充てんする場合は、各ロットごとにサンプリングを行う。

なお、サンプリング資料は、整理して監督員に提出する。

(vii) プライマーの塗布及び充てん時に被着体が、5°C以下又は50°C以上になる恐れのある場合は、作業を中止する。やむを得ず作業を行う場合は監督員の承諾を受けて、板囲い、シート覆いなどによる保温又は断熱を行う。

9.4.6 検 査

外部シーリングについては、下記の検査を行うものとする。

(1) 目地に対して正しく充てんされていることを目視などで確認し、シーリングの硬化及び接着状態を指触などにより確認して、その結果を監督員に提出して、承諾を受ける。

(2) 硬化、接着などの不具合がある場合は、切取り検査を行う。

なお、切取った部分は、直ちに充てんし補修を行う。

(3) 切取り検査は、不具合のあった材料ロットごと、かつ同日に行った部分について3箇所とする。

(4) 切取り検査の結果、不具合があった場合は、監督員と協議を行う。

9.4.7 養 生

(a) 施工後、仕上げを行う場合は、表面が硬化してから行う。

(b) じんあいの付着、汚染、損傷などの恐れのある場合は、必要に応じて、養生を行う。

(c) 目地シーリング面の仕上げ施工について、
15.6.1〔一般事項〕(1)、15.6.2〔下地処理〕(b)による。

●屋上防水工事 ●補修，改修工事 ●シーリング工事 ●ライニング工事

責 任 施 工

- 防水及補修全般
結露防止・改修工事
- 赤外線建物診断
- 漏水現場診断・施工設計

日本シーリング工業事団体連合会会員
全日アスファルト防水事業協同組合会員
日本樹脂施工協会会員
サンスター会会員
リフリース工法普及会会員
TVS赤外線建物診断協会会員
(広島県知事許可般-60第4809)



株式会社サンゼオン

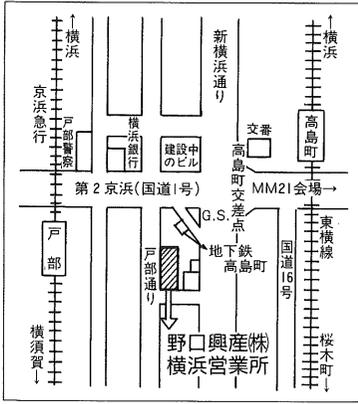
〒733 広島市西区中広町3丁目17-16
TEL 082-291-1631(代) FAX 082-291-1739

野口興産株式会社 横浜営業所開設!!

所在地

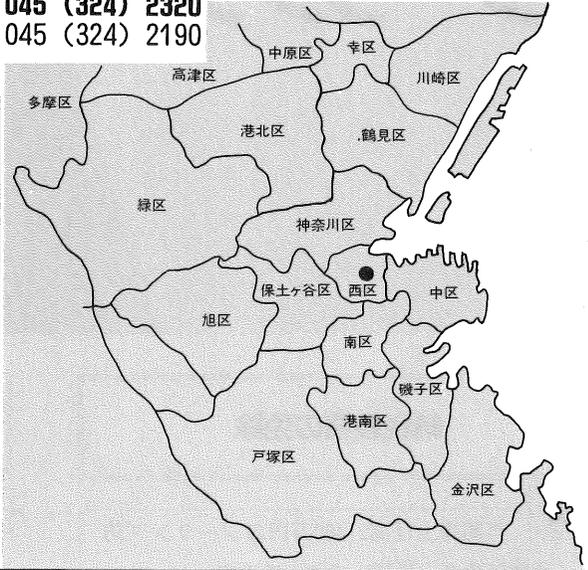
神奈川県横浜市西区戸部町7丁目220番
 郵便番号 220 粕川ビル1階
 電話番号 045 (324) 2320
 FAX No. 045 (324) 2190

案内図



代表取締役
 野口賢一郎
 横浜営業所
 長 舟木保雄

市営地下鉄 高島町より徒歩1分
 東横線 高島町より徒歩3分
 京浜急行 戸部駅より徒歩5分



SRシリ

- S70 1液変成シリコン系シーリング材
- S50 2液変成シリコン系シーリング材
- U73 1液ポリウレタン系シーリング材
- U31 2液ポリウレタン系シーリング材

SRボンド

- E 24 2液エポキシ系目地充填材

エッジシリ

網入り板ガラス防錆ブチルテープ
 (ガラスメーカー3社 全硝連推奨品)

JIS表示工場 第581036号 (JIS・A・5758)

サンライズメイセイ株式会社

- | | | |
|--------|----------------------------------|--------------------|
| 本社工場 | 〒592 堺市浜寺石津町中1丁4番7号 | TELEX 5374-743 |
| 電話 | (0722) 44-7500(代) | FAX 0722-44-8183 |
| 静岡工場 | 〒437-14 静岡県小笠郡大東町国安字一本松2-4-16 | FAX (0537) 72-4772 |
| 電話 | (0537) 72-5700(代) | FAX (0537) 72-4772 |
| 関東営業所 | 〒221 横浜市神奈川区三枚町2-9-9番地5 | FAX 045-383-4869 |
| 電話 | (045) 383-4651(代) | FAX 045-383-4869 |
| 熊谷営業所 | 〒360 埼玉県熊谷市宮町2丁目1-3-2番地(林ビル) | FAX 0485-25-2491 |
| 電話 | (0485) 25-1822(代) | FAX 0485-25-2491 |
| 名古屋営業所 | 〒465 名古屋市名東区一社3丁目90番地(チサンビル202号) | FAX 052-704-1978 |
| 電話 | (052) 703-2061(代) | FAX 052-704-1978 |
| 関西営業所 | 〒592 堺市浜寺石津町中1丁4番7号 | FAX 0722-44-8183 |
| 電話 | (0722) 44-7500(代) | FAX 0722-44-8183 |
| 広島営業所 | 〒733 広島市西区三篠町3丁目20番19号 | FAX 082-230-1944 |
| 電話 | (082) 230-0019 | FAX 082-230-1944 |
| 九州営業所 | 〒811-32 福岡県宗像郡福岡町字長引3464番地(桜井ビル) | FAX 0940-43-2866 |
| 電話 | (0940) 43-2254(代) | FAX 0940-43-2866 |

シーリング業の消費税Q&A

監修 玉川良一

納税義務の免除

Q 年間売上げ高2,400万円のシーリング防水施工業者（孫請）です。その内、シーリング材を年間約800万円購入しています。納税義務は免除されますか？

A 基準期間の課税売上高が3,000万円以下であれば当期の売上げ高に関係なく、納税義務は免除されます。

基準期間とは、個人事業者の場合は前々年、法人事業者はその事業年度の前々期となります。ですから、前々期の売上げ高も3,000万円以下であれば、納税義務は免除されます。



玉川会計事務所・税理士

「簡易課税制度」とは

Q 年間売上げ高4億円のシーリング防水施工業者（下請）です。
(昭和63年度)

・材料仕入れ（副資材を含む）	15,000万円
・労務費（工賃）	15,000万円
・一般管理費（事務、諸経費共）	8,000万円
・利益	2,000万円

〔売上げ〕 計40,000万円
仕入れ税額をその都度計算するのも面倒なので、「簡易課税制度」を選択できると聞きました。その方法を教えてください。

A 簡易課税とは、中小企業者の納税事務負担を緩和するために基準期間の課税売上げ高が5億円以下の事業者は仕入れに含まれている税額を売上げに含まれている税額の80%（卸売90%）とみなし、売上げだけから納付税額を算出できる方式です。貴社の場合の納税額を簡易課税方式、原則課税方式のそれぞれで算出すると以下のようになります。

〈簡易課税による納付税額〉

$$(400,000千円 \times 3\%) - (400,000千円 \times 80\%) \times 3$$

%=2,400千円

〈原則課税による納付税額〉
 $(400,000 \text{千円} \times 3\%) - (150,000 \text{千円} + 50,000 \text{千円}) \times 3\% = 5,100 \text{千円}$

通常課税方式と簡易課税方式

Q 年間売上げ高4億円の建材商社です。マージン率が10%しかありません。簡易課税制度が有利か、通常の課税制度が有利か教えてください……① また、簡易課税制度を申請した場合、売値には何%消費税を転嫁することができますか?……②

A ①通常課税方式と簡易課税方式のどちらかを選択する場合、実際の課税仕入れ率がみなし仕入れ率より低い場合は簡易課税方式が有利、高い場合は不利と一般的に言えます。建材商社を卸売と判断すると簡易課税のマージン率は10%と同じですので、事務負担を考えると簡易課税が有利となります。

②原則課税方式であるか簡易課税方式であるかに関係なく売上げに対しては3%の転嫁をしないと自己負担となります。

簡易課税における節税値引き

Q 下請協力会社として、売上げ高1億円、仕入れ高3,000万円の下請会社(A)を抱えている元請です。Aは簡易課税制度を申請していますので、節税分の値引きを依頼したいと考えています。可能ですか?

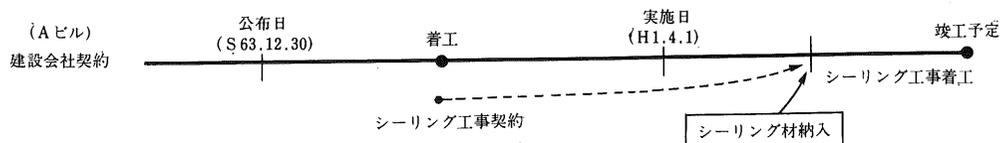


図-1

A 大企業が仕入れ先に対して不当に消費税相当分または簡易課税の節税分の負担を押しつけること等は、優越的地位の乱用として独禁法上問題となります。

税制実施日前後の処理方法

Q 建設会社が公布日前に契約し、実施日前に着工したAビル現場の下請シーリング防水業者です。実施工は、実施日後に施工開始し、シーリング材料は実施日後に購入致します。この際の消費税の転嫁と、仕入れ材にかかる消費税の処理方法を教えてください。(図-1)

A 消費税とは資産の譲渡等につき課税されるもので、単なるシーリング材の販売では請負工事の経過規定には該当しません。実施日以後の取引は消費税の課税対象となります。

経過規定は元請業者と下請業者との関係で規定され、課税売上げの段階で課税対象となりませんが、仕入れ税額控除もできないことになっています。

しかし、課税期間における課税売上げ割合が95/100未満の場合は控除対象となる仕入れ税額を個別対応方式、比例配分方式により計算することになり、控除対象仕入れ税額に取り込まれることとなります。

この一年の総務

昭和63年度という年が、昭和最後の年になるのではないかという予感是谁もが持っていたでしょうが事実上その通りになりました。日本人の80%以上が年号の変わり目を初めて経験し、人それぞれに何か新鮮な、すべて事改まる気分を味わっていることと思います。

シーリング業界は、相変わらずといえればそれまでですが、着工面積の急増・消費税の導入・三液化等々目まぐるしく変化する側面もあって皆様何かとお忙しいようです。工業会でも、ほとんど毎日色々な会合があって、調査・検定・技術・広報・総務それぞれの委員会や個別の下打ち合わせ・部外の人との折衝などで御茶ノ水駅近くのこの20坪ばかりの事務所はいつも賑やかな事です。

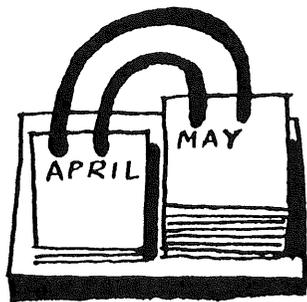
工業会の事務局本体は木村事務局長・森田書記の

二人が常勤で頑張っていますが、ここのところ大量の印刷物の作成と発送、打ち続く会合やパーティーと説明会などでやや過労気味の感なしとはしません。

所で、63年度は日シ工設立25周年にあたるので例年の新年パーティーを記念事業の一つとして盛大に実施しました。出席者は正会員・賛助会員以外に日頃お世話になっている方々約40名を招待客としてお迎えし、TV・雑誌で御馴染みの、堺屋太一先生に講演をお願いしました。エネルギー問題のみならず都市問題・経済一般・行政経営歴史風俗など多方面に亘る豊富な話題に先生の博識ぶりが窺われ、まったく退屈しない90分でしたが結論は、型にはまらない多様な発想さえあれば建築需要はまだまだ旺盛であろう、というお話でした。

この講演会の様に、通常の業務以外に何か特別な事をするのは総務としては珍しいことで例年総務委員会としては毎年同仕事の繰り返しが普通です。それを間違いなく、出来るだけ安上がりに遂行して行けば総務委員会の仕事はマルといえるので、良く世に言う何事もなく事が運ばれていてもともと、何か間違いがあると目について減点になるという、余り割りの合わない仕事かも知れません。しかし世の中は90%までそういう機能で回っているのだからこれは大切な仕事です。

もっとも、今年は当初考えた通り会則内規類の整備充実に努め、会則の改訂、選挙規定の制定などは実現の運びに至っております。官公庁をはじめ関係諸方面とのつながり強化も着手しました。さらに今



年から来年にかけては工業会は財政上のひずみがじわじわと表面化してどうにも避け切れない問題が出てくる可能性も有ります。そのときは総務委員会も振り廻り鉢巻きで各方面に掛け合ったりお願いしたり

という場面となりましょう。これまた型にはまらぬ発想で柔軟に対応し最善の対応を見出して行かねばなりません。会員の皆様の、ご理解とご協力を切にお願いする次第です。

技術委員会

昭和63年度 委員会活動概要の報告

早いもので、委員長就任もう一年かの思いである。振り返ると、盛り沢山の課題の中で消化不良の感をまぬがれないが、前委員長をはじめ、メンバー全員に私のリーダーシップ不足を補ってもらい、何とか対処してきたのではないと思う。如何でしょうか？ここに反省を込めて昭和63年度の活動概要を報告します。

〔昭和63年度技術委員会活動概要〕(順不同)

1. 官民連帯共同研究「シーリング防水の改修設計・施工指針」案の作成

このテーマは63年度から参加したもので5月の申し込みから、7月の委員会スタート、今年3月の最終案提出というように短期間の作業が要求された。そのため、夏期合宿まで行い、最も精力を集中したテーマとなったが3月13日のWG3・委員会をもって一応作業は終了した。情報によれば、今後総プロと同じく普及版の作成も行われるようであるが、改修への指針として有用であると考え。(WGリーダー：平野、山内両氏)

2. 試験法WG「試験方法と評価の見直し」

このテーマへの取組はすでに2年を経過している。目下内外のシーリング材に関するあるいは参考になる試験法を調査し、要約集を作成している所であったが、変成ポリサルファイド系のJIS追加要望がき

っかけとなり今年度のJIS改正申請となった。もともとこのテーマはJIS改正への準備及び工業会標準の作成を目指したものであり、従って今年度はJIS改正への対応が主体のWG活動となる。JIS改正の開始予定は6月頃である。(WGリーダー：笹谷氏)

3. 官公庁WG「建設省共通仕様書及び施工監理指針」の改訂への協力

昭和62年度より継続して、このテーマの改正に対する協力を行ってきた。共仕はずでに発行されているが、特にシーリング材と主な用途の関係やQCが導入されたことに特徴がみられる。(WGリーダー：山内氏)

4. 乾式防火サイディングWG

日本乾式防火サイディング協会と共同で「サイディングにおけるシーリング工事」について約2年間にわたる検討を重ね同協会誌「住宅とサイディング」にこれらの技術資料を報告した。(WGリーダー：斉藤氏)

5. 勉強会WG

工業会正会員を対象として技術勉強会を開催した。テーマは「フッ素樹脂塗装について」2社、「サイディングとシーリングについて」1社であり、約90名が参加した。また、技術委員会としても坂田先生を迎え「ISO規格」について現状を勉強した。今年度

委員会報告

は更に活性化したい。(WGリーダー：斉藤氏)

6. 視聴覚 WG

技術資料の視聴覚化を目指して、スタートしたWGであるが、63年度はビデオ装置などの購入と参考ビデオの研究にとどまった。今年度は更にこの研究を推進し、シナリオ作成までと考えている。(WGリーダー：滝沢氏)

7. 保証 WG

従来からシーリング工事の保証に関する当工業会の見解は、10余年前に日本カーテンウォール工業会に提出したものが存続(シーリング管理士用テキストに記載)しているが、今回、付帯条件を具体化した内容で書き改めた。基本的考えは同じであり、年数は3年、材工連名である。(保証の基本は設計から我々まで共同であるという理念に変わりはない<私的意見>)(WGリーダー：池田氏)

8. JASS 17ガラス工事、小委員会への参加

現在 JASS 17ガラス工事の改訂中であり、工業会からも委員が参加し活動している。従来から JASS 8 防水工事の3節シーリング工事と常に懸案であったガラス目地の面クリアランスも最小5%に改訂と聞く。(3%→5%へ改訂)(WGリーダー：篠沢

氏)

9. ALC WG

ALC協会の「仕上げ読本」の改訂に伴うシーリング関係の見直しに協力。(WGリーダー：内海氏)

10. 仕上材 WG (NSK, NBK WG)

NSK・NBK 両工業会との共同研究(シーリング材の仕上塗材、防水材への影響を自然暴露2年間にて調査)も一段落し、次の継続テーマを検討。(WGリーダー：林氏)

11. 消防法の改正に関するもの

建築用シーリング材について、引火性固体(セタ密閉式引火点の測定40°C未満)になるかどうかで「大山鳴動したがネズミー匹」となった。というのは種々試験を行った所、既存のシーリング材の殆どが40°C以上であることが判明したためである。40°C未満だと危険物となる。

以上概要を説明したが舌足らずでもあり、詳細はシーリングニュース、月報等を参照願いたい。なお、今年度(平成元年度)は昭和63年度の官民共同研究にかわって、JIS A 5758「建築用シーリング材」の改正が活動の中心となりそうである。

調査委員会

昭和の終わりは "天気晴朗なれど波高し"の年

昭和64年迎春間もなく昭和天皇が崩御され、年号も昭和から平成に改められ、新たな出発となった。

さて、昭和63年度を回顧すれば、調査委員会では3つの大きな出来事があったと考えられる。

先づ1つは、業界軌道修正である。事は、62年10月11日に端を発し、翌63年7月26日ようやく終結

した。これは今後、我々業界の進むべき方向を改めて示唆したものとして姿勢を正して受けとめなければならぬ。63年度より新たに就任された大谷会長と前太田会長には大変ご迷惑をお掛け致し、断腸の思いであります。

2つ目は、消費税の施行である。63年12月24日議

会成立、同年12月30日公布、翌年4月1日施行となった消費税法だが、調査委員会では消費税推進特別委員会を結成、大泉副会長を委員長に度重なる協議の結果、遂に転嫁の共同行為と表示の共同行為が、公正取引委員会において無事承認された。この委員会は今後2年間継続するものである。この趣旨に御賛同を得た各会員、慌しい新年であったにもかかわらず作業に御協力を頂き、また委員会諸氏、そして大谷会長には最終の承認申請まで足を運んでいただいた事に調査委員会として感謝の念にたえない。ここに紙上をもって御礼申し上げたい。

最後に3つ目は、毎年恒例の作業でもあるシーリング材年間販売量“実質”統計である。この集計作業は従来、10月より11月にかけて行われていたため年末2〜3ヶ月分については、推定量として算入せざるを得なかった。しかし、本誌の配布が例年1月から4月になった事で推定部分がなくなり実質統計をとる事が出来るようになったのである。

昭和62年度住宅着工戸数は、164万7000戸と史上第3位の伸率を示しその勢は昭和63年度に入っても衰

える事なく、建設業界に超繁忙の極点をもたらした。シーリング材の年間販売量実質統計を見ると、建設業界の超繁忙に比例して対前年実績比12.5%増のこれも史上第4位の伸率となった。物量面では、日本経済と同様に御同慶の到りであるが、市場価格は相も変わらず低迷価格が横行している。時候の挨拶で、相も変りませず……は誠に結構な事であろうが、我々業界人としては誠に恥しい事と言わねばなるまい。数量では大きく増加したにもかかわらず、収益面では厳しい状況が続き、過当競争は跡を絶たず泥沼化しているのが現状で、正に“どこまで続くぬかるみぞ”の形容がぴたりと当てはまる。この泥沼から一刻も早く脱出して、市場破壊を起さぬよう、今こそ相互信頼の基本理念のもと“労多くして実りある”業界に進んでいきたいと願う次第である。

以上、昭和63年度調査委員会3つの出来事を取りまとめてみた。最後に昭和63年度は言うなれば“天気晴朗なれど波高し”の年であったと諸事深く肝に銘じる次第である。

■ 検定委員会

63年度講習会の応募者過去最高で より充実した管理士制度を目指す

昭和63年度の管理士検定講習会は、年号が改まった平成元年1月に実施された。検定講習会は今回で、管理士が第12回目、技術管理士が第10回目を数えるが、我々においても又受講者においても記念すべき年となった。

今回の応募者は過去最高となり、最終受講者数は管理士64名、技術管理士88名、計152名の盛況であった。(合格率は管理士が72%、技術管理士が77%、平

均75%) 申込み時点で既に定員をオーバーする程の盛況は、建設業の活況が背景にあるとしても、管理士制度の普及と管理業務の重要性に対する認識が土台にあると判断出来、我々委員会としてもこのうえない喜びである。特に管理士対象者は全国より広く応募があり、日シ工連の皆様へ深く感謝する次第である。

さて昭和63年度の委員会取組み内容を具体的に述

委員会報告

べると以下の如くである。

(1) 過去からの慣例であった2月の講習会開催を1月に変更した。

(大勢の要望を考慮した積りであったが、正月明け、ということで一部非難の声も出、次年度の実施日はもう一度検討する考えである。)

(2) カリキュラムの配点方法を一部変更。

(受講者の試験負担の軽減と採点作業の円滑化を目的とし、この面での効果は十分に得られたものと判断している。)

(3) カリキュラムに新たに「サイディング材とシーリング」を設けた。

(近年、需要増に伴って重要視されてきているサイディングボードのシール防水について、現状の種々問題点の指摘、知識の向上などに寄与する意味ではタイミングの良い企画であったと自負出来る。)

(4) テキストの見直し、一部改訂の実施。

(被着体、目地の納り、シーリング材の各カリキ

ュラムについては比較的幅広く、その他については微少の改訂と、新たに、サイディング材とシーリングの記載を行った。)

(5) 名古屋、北海道地区において予備講習の開催。

(日シ工両支部の要請により、名古屋地区は12月22日、北海道地区は1月9、10日、検定委員による予備講習を実施した。テキストでのポイントと特に問題集の積算演習に重点をおいた。)

(6) 問題集を最新のものに作り変えた。

(60～62年)

以上であり、このあと4月に更新講習の業務を残している。

63年度は前記内容の取組みにおいて、それなりの忙しさがあつたわけだが、全委員の熱意と、技術委員の一部援助を得て無事に終ろうとしている。

次年度については、又多くの応募者があると予測され、委員会としては本年の反省と新しいカリキュラムの検討など、益々充実したものにしていきたいと考える次第である。

建築土木用

発泡プラスチック製品

成型プラスチック製品

●営業品目

- ①目地材
- ②断熱材
- ③防音材
- ④バックアップ材
- ⑤機密材
- ⑥防振シート
- ⑦養生マット
- ⑧結露防止マット
- ⑨接着シート
- ⑩ガスカート各種

複合資材で用途開発をお引受する

株式会社 新和商会
新和化工株式会社

本 社 東京都荒川区西日暮里2丁目24番14号
TEL. 03(803)1411 (代表)
工 場 埼玉県浦和市西堀5-9-31
TEL. 048(864)1751(代表)

IT'S JUST SEALANT !

ⒺJIS A 5758 許可番号576247

フジチオコール

液状ポリサルファイドをベースとした2成分形のシーラントで、構造物の変位に追随し、日光、油薬品等によく耐えます。

ⒺJIS A 5758 許可番号381074

ユーゼット103

ウレタンエラストマーの特性を活きて、シーラントとしての要求を満たし、且つ優れた諸性能を有する2成分形のシーラントです。

ⒺA 5758 許可番号 576247

メトリック

変成シリコンポリマーをベースに耐熱性、耐久性は抜群、経済性や施工条件に対して許容度を高めた総合性能バランスの良さが大きな特徴のシーリング材です。

アクリルエマルジョンをベースにしたシーリング材で、長期にわたり柔軟性を失うことなく、その性能を十分に発揮します。

アクリルエース

乾性油および不乾油などの油や石油樹脂、タルクなどを混ぜて練り合せ柔軟性のパテ状にした油性コーキング材です。

エバーミール

ⒺJIS A 5751 許可番号368206



昭石化工株式会社

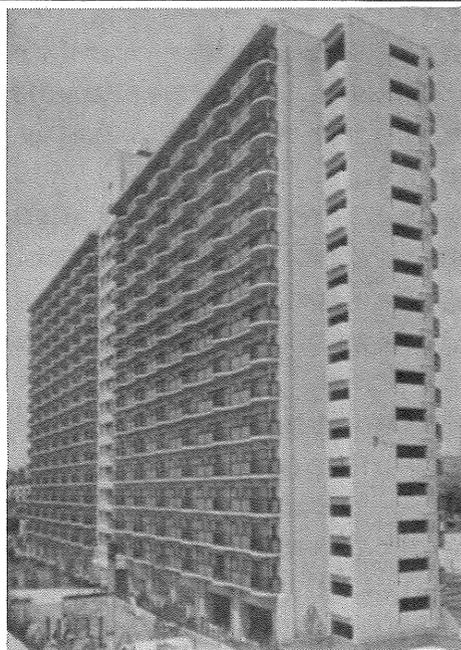
本社 東京都渋谷区代々木1-11-2 TEL.(03)320-2005
 札幌出張所 011(251)7912 東京営業所 03(320)2013
 仙台営業所 022(267)5319 新潟営業所 025(225)2331

名古屋営業所 052(231)6568
 大阪営業所 06(341)6395
 広島出張所 082(283)9226
 福岡営業所 092(291)0008

- 屋上防水工事
- 外壁防水工事
- シーリング工事

外壁補修工事業協同組員
 全国パラテックス防水工事業協同組員
 東日本建設防水協同組員
 東日本シーリング工事業協同組員
 ゴムアスファルト防水工事業協同組員
 全日本プレハブ建築防水協会会員
 全国アロンコート・アロンウォール
 防水工事業協同組員

東京都知事許可 般62第36279号



株式会社

ジックス

取締役社長 出水秀夫
 東京都渋谷区代々木1-30-1
 TEL 03 (370) 0121 (代)



誕生!!

シーリング管理士46名 シーリング技術管理士68名

当会では先頃行なった第12回シーリング管理士試験および第10回シーリング技術管理士試験の合格者を決定、上位合格者それぞれ5名は5月15日の総会で表彰される。

結果内容は、シーリング管理士については講習受講者63名、認定試験のみ受験1名の64名が受験、うち合格者46名(合格率72%)、シーリング技術管理士については88名が受験、うち合格者68名(同77%)となっている。

今回の試験は、静岡県田方郡函南町の生産性研修会館で1月12日から14日までの3日間にわたって実施されたシーリング管理士および技術管理士の養成講習会を経て、第4日目の15日に行なわれた。なお2月から1月に移行しての開催は今回が初めて。

講習内容は例年の建築一般知識、図面の見方、目地設計、施工技術、安全管理、材料、保証、積算などに加え、近年需要が急増する一方で、シーリング知識の欠如や安易な施工によるクレームが目立つサイディングボードの目地シーリングについて新たな

シーリング管理士・技術管理士合格者上位5名

シーリング管理士	シーリング技術管理士
小野 賢二 (㈱新日本樹脂化工)	小島 健市 (㈱タイルメント)
川口 正秀 (光栄工業㈱)	梅本 州一 (日東ポリマー工業㈱)
多田 泉 (丸福建材工業㈱)	永野 勇 (横浜ゴム㈱)
田中 達美 (中林産業工販㈱)	村中 等 (㈱前田理工)
小島 卓三 (マサル工業㈱)	大島 幸雄 (横浜ゴム㈱)

科目「サイディング材とシーリング」が設けられた。これらの知識を実際の現場で有効に活かせる技術者の養成を目的としているため、資格判定基準もかなり厳しいが、現場監理者および技術管理者資格に対する認識の高まりから、毎年受験者は増加しており、今回は申し込み時点で既に定員をオーバーした。なお、管理士、技術管理士の平均合格率は75%だった。

今回の合格発表で現在の有資格者は、シーリング管理士が329名、シーリング技術管理士が467名となった。

シーリング管理士合格者名簿（46名）

我妻貴司	(株)我妻工業所	菅谷敏行	(株)サンエイ	半野田重俊	マサル工業(株)
古川泰志	(株)ムトウ	前田敏行	(株)前田コーキング	大越清美	〃
小野賢二	(株)新日本樹脂化工	新藤詔三	(株)東光商会	村上孝行	〃
伊藤儀一	(有)環清工業	板倉保	〃	田村良則	〃
江藤孝明	日本化成工業(株)	永野光幸	テイパ化工九州販売(株)	林正実	理建工業(株)
渡辺光穂	山下防水建設(株)	井川清文	徳島ゴーレックス工業(株)	西園克己	〃
岩崎十代志	(株)天草シール	中野宏	(有)高知エバレヂン工業	山本真一	〃
三石富夫	〃	森川弘己	四国ポリマー(有)	加藤重	日本ビソ一(株)
沖浜巨人	(株)東洋防水	阿部賢一	桜シーリング工業	工藤純二	(株)アートシーリング
大村幸美	〃	斉藤智弥	(有)三国工業	梶江裕二	(株)第一興産
畑中美佐男	〃	菅原春男	〃	大坪政博	拓友防水工業(株)
川原田義行	セイコー技建(株)	岡和夫	(株)占部防水工業	松代敏一	(株)栗原
馬場哲也	(株)馬場工業	鈴木泰彦	ニッテイ(株)	駒崎弘幸	ビルコン(株)
蛸崎徳靖	(有)京阪防水	多田泉	丸福建材工業(株)	田中達美	中村産業工販(株)
甲斐誠	中央建材工業(株)	川口正秀	光栄工業(株)		
堀越飛行	堀越コーキング(株)	小島卓三	マサル工業(株)		

シーリング技術管理士合格者名簿（68名）

羽土浩春	カネボウ・エヌエスシー(株)	村中等	(株)前田理工	山本東	ヨコハマゴム工業品九州販売(株)
福富浩司	〃	三浦正文	〃	岡本博行	ヨコハマゴム工業品北海道販売(株)
相原正伸	オート化学工業(株)	小島健市	(株)タイルメント	佐藤新一	〃
古田春喜	日本シーカ(株)	服部貴久	小野田エーエルシー(株)	佐々木雅之	〃
阿部真久	〃	勝尾明兼	井上喜(株)	大野幸保	〃
久保勝年	〃	田中猛仁	〃	小山昌明	ヨコハマゴム工業品東北販売(株)
山崎健一	世界長(株)	古賀俊男	〃	鈴木憲人	ヨコハマゴム工業品中部販売(株)
安藤政人	〃	秋山晶俊	コニシ(株)	佐藤達彦	〃
田所和正	〃	田室浩一郎	〃	松浦市郎	〃
重永真二	〃	梶山武夫	サンライズメイセイ(株)	高山雅美	下田通商(株)
中村章一	〃	町田孝夫	東芝シリコーン(株)	北村利晃	〃
清水正浩	信越化学工業(株)	吉村純一	〃	竹浪博	潮物産(株)
中島剛	〃	志賀芳勝	三洋工業(株)	八友聡	テイパ化工(株)
久田光男	昭石化工(株)	長尾賢	〃	本村力	野口興産(株)
大山隆	〃	富永淳一	〃	菅原昇	トーヨーサッシ(株)
白倉晋	〃	土嶺俊夫	〃	野口修	松戸トーヨーサッシ(株)
伊藤哲夫	〃	庄司誠	〃	柴田英則	(株)西井塗料産業
浦山政成	〃	宮崎進	フヨー(株)	熊谷正浩	サンスター技研(株)
木村公彦	〃	荒喜一郎	〃	高良龍一	〃
塩垣紀明	〃	木山雅博	〃	山崎滝通	保土谷化学工業(株)
加藤輝男	〃	大島幸雄	横浜ゴム(株)	宗延徳仁	(株)阿部塗料店
梅本州一	日東ポリマー工業(株)	永野勇	〃		
谷岡博美	〃	佐々木雅大	〃		
長久誠治	三井東圧化学(株)				

戸建住宅から
超高層ビルまで

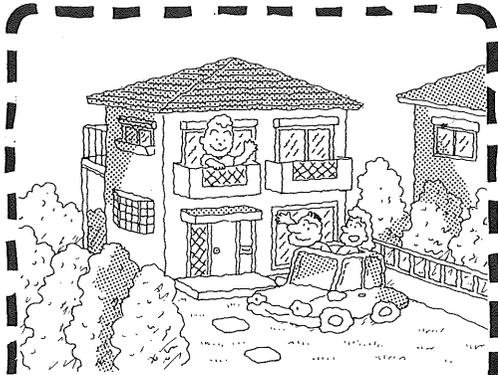
Kanebo-**NSC** Feature and Benefit.

KBKシーリング工法

ビル・マンション・学校・工場等に
ベルエースシリーズ

(缶入りタイプ)

- | | |
|------------|------------------------|
| ベルエースMS | 2成分形変成シリコン系 |
| ベルエースワン | 1成分形変成シリコン系(カートリッジタイプ) |
| カネボウP-5000 | 2成分形変成ポリサルファイド形 |
| カネボウP-6000 | 2成分形ポリウレタン系 |
| カネボウP-4000 | 1成分形エマルジョンタイプ・アクリル系 |
| カネボウP-3000 | 1成分形溶剤タイプ・ブチルゴム系 |

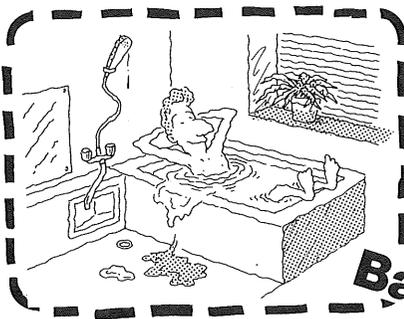


内装・設備・戸建住宅等に
デュアリボンシリーズ

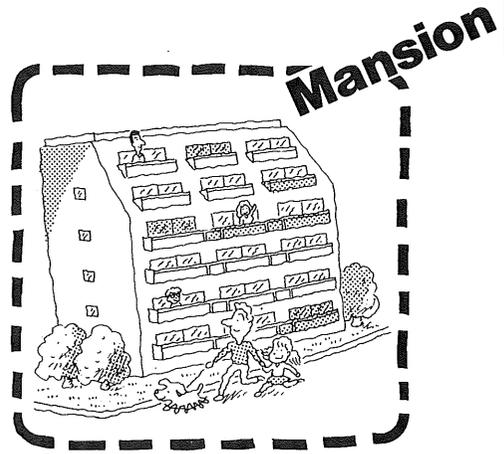
(カートリッジタイプ)

- | | |
|------------|---------------------|
| デュアリボンMS | 1成分形変成シリコン系 |
| デュアリボン6500 | 1成分形ポリウレタン系 |
| デュアリボン4000 | 1成分形エマルジョンタイプ・アクリル系 |
| デュアリボン3000 | 1成分形溶剤タイプ・ブチルゴム系 |

House



Bath



Mansion

カネボウ・エヌエスシー株式会社

本社・大阪営業所	〒562 大阪府箕面市船場西1丁目6番5号 カネボウ千里ビル	☎(0727)28-4701 FAX (0727)28-3333
東京営業所	〒102 東京都千代田区平河町1丁目3番13号	☎(03)263-4701 FAX (03)263-4705
名古屋営業所	〒450 名古屋市中村区名駅4丁目17番19号 鐘紡ビル8F	☎(052)583-8606 FAX (052)583-8608
広島出張所	〒733 広島市中区舟入幸町8番地11号	☎(082)234-9322 FAX (082)234-9323
福岡出張所	〒810 福岡市中央区大手門3丁目7番19号	☎(092)715-5378 FAX (092)752-0024
四国出張所	〒760 香川県高松市木太町8区4062-4	☎(0878)66-2287 FAX (0878)66-2296

高性能カルテット「変成ポリサルファイド系シーリング材」

露出使用でも長期間表面にクラックが生じません。

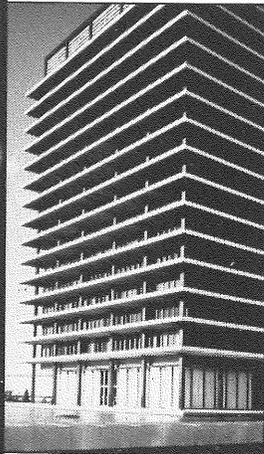


低モジュラス、高伸びであり、耐疲労性、復元性にすぐれ長期にわたって目地の伸縮に対応できます。

依存性が少ない。また貯蔵安定性もすぐれています。酸素硬化型ですので硬化時の温度・湿度

塗料との密着性がよく塗料を汚しません。しかも石目地、タイル目地などに対する汚染がありません。

変成ポリサルファイド系シーリング材は、建業・複層ガラス用シーラントとしてアメリカをはじめ世界各国で20年以上の実績があります。



変成ポリサルファイド系ポリマー パーマポール®

日本触媒

日本触媒化学工業株式会社

住設建材営業部 ● 東京(03)798-7071 東京都港区三田 3-11-36(三田日東ダイビル) ● 大阪(06)223-9223 大阪市中央区高麗橋 4-1-1(興銀ビル)

シーカの解。

シーリング材は、スピードです。

ビルやマンションの内外装施工、土木施設の仕上げ施工などに使われているシーリング材。シーリング材に求められる性能は、接着性・耐候性はもとより、作業がしやすく乾きも早いこと。つまり、施工の最終工程だけに、こうしたスピーディな施工性が何よりも喜ばれます。シーカのシーリング材は、1液ウレタン。ですから作業効率も高く、スピーディな施工に威力を発揮。

シーカは多彩なニーズに最適解で応えます。



シーカの土木・建築用シーリング材

シーカフレックス-1a、15LM、11FC(土木)

アイガスマスチックN アイガスK、R、ロープ アイガスK-HPT

アイガスE-LM、NS



日本シーカ株式会社

本社 〒143 東京都大田区大森北2-4-18 東京建物大森ビル ☎03-767-9821



札幌(011)221-6331
名古屋(052)733-7353

仙台(022)267-2501
大阪(06)315-7851

富山(0764)42-3232
福岡(092)472-1684

東京(03)767-7221
沖縄(0988)85-3987

25周年記念懇親会開催

堺屋太一氏が特別講演

当工業会設立25周年記念懇親会が1月23日午後3時より東京・八重洲の「ホテル国際観光」で関係者、来賓多数の参会をもって盛大に挙行された。また、当日は、25周年記念特別講演会として創作、評論など幅広く活躍中の堺屋太一氏を講師に招き、テーマである「建築業界の中・長期見通し」について氏の達観した見解が述べられ、注目を集めた。

講演会終了後の懇親会では、まず大谷会長が「皆様の絶大なご支援により25周年を迎えることができた。昨年の出荷量も業界の好調を受け2ケタ伸び率を維持しそうである。しかし、当初の目標である明朗活発な工業会活動が達成し得たとは言えず、価格競争による相互不信は拭いきれぬ面もあった。自らをおとしめる愚を避け、明日に繋る明るい業界を形成することが引続いての課題である。また、新たに消費税推進特別委員会を組



講演する堺屋氏



抱負を述べる大谷会長

織化、他業界とも積極的に接触し対策を検討したい。皆様の足並揃ったご協力をお願いする」と述べ、年頭の挨拶とした。引き続き、来賓を代表して当工業会顧問・小池迪

夫東工大教授、日本シーリング工業会団体連合会・山本勇会長からも祝辞が述べられ、和やかな歓談のひとつときがもたれた。

官民連帯共同研究

改修指針(案)作成作業終了

昭和62年度より開始された建設省の官民連帯共同研究「シーリング防水改修設計・施工指針(案)」の作成作業もいよいよ終局を迎え、3月13日東京・千代田区平河町の新海運クラブで63年度第5回目の防水・シーリング改修技術開発委員会が開催された。当工業会は昨年7月からの参加となったが、2年間にわたる委員会活動は当日で総てを終了、閉会後は参加者による打上げパーティも開催された。

当日は、今泉勝吉委員長(工学院大学教授)を始め、建設省、建築研究所、ゼネコンの各委員らが顔を揃え、参加団体ならびに企業であるアスファルトルーフィング工業会、合成高分子ルーフィング工業会、日本ウレタン建材工業会、

そして当工業会など4団体5企業が、それぞれ研究成果の最終報告を行ない審査を受けた。

これらの研究成果は、3月末日に委員会報告としてまとめられ建設省に提出、早ければ今秋にも本格的な普及活動にはいる見込みとなっている。



トピックス

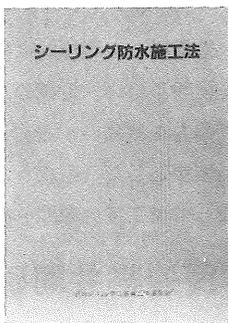
シーリング防水施工法 改訂版刊行

日 工 連

日本シーリング工事業団体連合会（山本勇会長）は、かねてより進めていた「シーリング防水施工法」の改訂作業をこのほど終了、新装改訂版として発刊した。

同書は、シーリング防水の施工技術および知識の向上を目的として昭和58年に刊行されたが、その後の JIS 改正、JASS 改定をはじめとする技術動向の変化により内外から改訂の要望が寄せられていたもの。

施工、ディテール、補修方法、設計など全編にわたり新データが盛り込まれたほか、新構法である SSG 構法について新たに解説が加えられ、また、RC、タイル、金属パネルおよびガラス目地の作業標準例を紹介し施工法についての内容が詳述されている。体裁は A5判192頁、上製本。定価2500円。



ハンドブックも 6月改定へ

広報委員会

シーリング材ハンドブックの改定版も6月の刊行を予定している。今回は、本年改訂発刊された建設省建築工事共通仕様書平成元年版の内容を盛り込み、また、4月1日付で提示された当工業会ならびに日工連共同作成によるシーリング防水の「保証についての見解書」も掲載している。なお、施工に関する詳細は、日工連の「シーリング防水施工法」を参照いただき「ハンドブック」との併用を願いたい。

超高層ビルでの実績と信用

シーリング工事 責任施工

日本化成工業株式会社

許可番号 大阪府知事許可(般-62)第34549号

〒564 吹田市南金田1-4-46

TEL 06 (385) 3886(代) FAX06 (385) 3055

昭和日本化成株式会社

許可番号 知事許可(般-62)第12100号

〒814 福岡市早良区原4-8-11

TEL 092 (843) 3311(代) FAX092 (843) 3314

南日本化成株式会社

許可番号 知事許可(般-61)第4182号

〒891-01 鹿児島市中山町2037-5

TEL 0992 (67) 6121(代) FAX0992 (67) 6125

● 本部事務局だより

年明けと共に昭和の時代が終りました。昭和に生きて来た私どもにとっては、まことに感無量でございます。

年改まり、平成元年1月12日～15日にかけて、恒例の管理士検定講習会を実施いたしました。今回は過去最高の参加者をかぞえ、教室が手狭で受講の方々には大層ご迷惑をかけました。今回の合格者数は次表の通りでございます。

引続く1月23日には25周年記念講演並びに懇親会を開催いたしました。25周年を記念して、堺屋太一先生より「建設業の中長期見通し」についての講演を企画し、併せて、日頃お世話になっている諸先生、諸団体の方々をご招待いたしました結果、130名にも及ぶ大イベントとなりました。

さて、昨年末消費税法案が成立したのを受けて、当工業会でも推進特別委員会を設置し、委員の方々が一足早い対応作業を行われた結果、2月15日「転嫁カルテル」並びに「表示カルテル」結成の届出を終りました。これからは如何にスムーズに転嫁が実施されてゆくかを見まもってゆかねばなりません。

昨夏の長雨、今冬の暖冬のためか庭の沈丁花の香りがうすく、匂

いも違うようでした。地球規模での天候異変が心配されておりますが、順調な季節の移り変わりであってほしいものですし、順調な業界の発展が続くことを祈りたいものです。

● 北海道支部の動き

今年は全国的に暖冬、ご当地北海道も、例年より少い雪、流氷の接岸も、もう無いだろうとのこと、我々業界にとっても、春はそこまで来ています。(3月10日記)

最近の支部活動について以下連絡致します。

記

1. 「寒冷地に於けるサイディング用シーリング材」説明会講師派遣

(1) 2月3日 於札幌郵便貯金会館

(2) 主催 日本乾式防火サイディング協会北海道地区需要拡大部会

(3) 参加350名

(4) 参加者内訳 建材店、施工店、シーリング工事店、工務店、ハウスメーカー

2. 消費税カルテル展開

(1) 会員メンバーのカルテル説明会 2月22日、及3月8日。

(2) ディーラー会の消費税カルテル説明とカルテル結成の要請、3月8日

(イ) 北海道シーリングディーラー会 3月8日発足、3月22日団体届出、3月23日カルテル申請(予定)

(ロ) 会長 白井(潮物産)

理事 小林(小林通商)、安井(北商物産)

● 仙台支部の動き

平成元年の立春もすぎ春の足音がもうすぐそこまで聞えてきそうな今日この頃ですが、東北地方はまだもう少し先になりそうです。昨年昭和～今年平成にかけても一昨年と同様、平野部への雪は少なく、相変わらず自動車のスパイクが道路を削り粉塵を巻き起こしています。仙台砂漠の汚名返上はまだ先ようです。今年平成元年は、1987年の伊達政宗ブーム、そして東北博に続けとばかり仙台市制100周年記念「花と縁」のグリーンフェア仙台が開かれます。期間は7月29日～10月16日の80日間、また、東北六県と新潟県を加えた芭蕉紀行300年記念行事も各地で行われる模様です。さらに、来年、平成2年には高校総体(インターハイ)も開催の予定で各種競技場の整備も着々と進められています。お隣の山形では平成4年に「紅花」国体開催又仙台空港も国際空港化を目指し滑走路の延長工事が始まっています。全国の皆さん東北地方にも機会があれば是非一度おいで下さい。

さて仙台支部は昨年11月の懇親会、12月の忘年会が流会となり、

	受 験 者 数	合格者数(率)
管 理 士	64	46 (71.8)
技 術 管 理 士	88	68 (77.3)
合 計	152	114 (75.0)

各地からのたより

遅まきながら平成元年1月27日に作並温泉岩松旅館にて新年会と例会を兼ねて開催致しました。又3月3日には御町会館で消費税「カルテル」の結成報告例会を行い、3月11日(土)には休業会員があるにもかかわらずDM会を開催する予定で、本部より西尾氏、濱田氏が応援に来仙して戴けるとの事です。

早いもので昨年4月支部長に選任され1年が過ぎようとしております。この1年間何も皆様のお役に立つ事は出来ませんでした自分なりに一生懸命やってきたつもりです。なお、不足分は次期支部長に委ねたいと思っております。

● 東京支部の動き

名実とも新しい年平成元年を迎えました。当支部も連日新聞誌面で話題になっている“消費税”についてその対応等に取り組む方振りに、あわただしい毎日が続いています。ところで支部活動状況ではありますが、最大の問題でもある消費税の転嫁をいかにスムーズに実施するかで、2月にDM会を開催し、流通の皆様にご理解して頂くようお願い致しました。又、7日会の皆様だけでなく、広く流通の皆様にご理解して頂くよう3月に拡大DM会を開催致しました。尚、拡大DM会は名称も、関東甲信越シーリングディーラー会(KSD会)として装いも新たに発足致しました。今後これを機会に益々材、販、工の絆を深く、当面の大きな問題

であります消費税について取組んでいきたいと思います。

● 名古屋支部の動き

厳しくなりそうだとの気象予報で始まった今年の冬も何とも生ぬるいままに終ろうとしています。如何がおすごでしょうか。

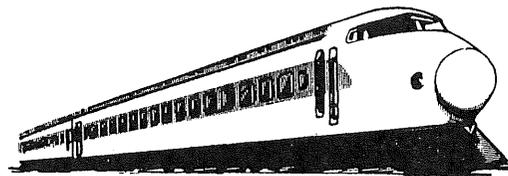
さて、今年は正月早々昭和天皇が崩御され昭和時代の終焉を迎えることに始まりました。そして、今まさに消費税という未経験の事態に突入しようとしています。

当名古屋地区に於ても、3月に入り消費税の話題が出始め、適用が始まる4月1日が近づくにつれ、具体的な問題が提起され始めています。話題の中心はもっぱら転嫁の可否にまつわる不安です。この消費税については名古屋支部も本部の御来援を得てディーラー数社に工業会の姿勢を表明し、御理解と御協力を求めたところです。

これから転嫁を進めてゆくわけですが改めて業界の団結の重要性を認識させられる事、お互い協力し合って円滑な転嫁が見られるよう頑張りたいと考えます。

● 大阪支部の動き

花と緑と人間生活のかかわりをとらえ、潤いのある豊かな社会の創造をめざし「国際花と緑の博覧会」が平成2年4月に開催される予定です。会場の大阪鶴見緑地では現在施設の建設が進められておりますが、この花の万博にも消費税が課せられます。大阪支部では1月26日予定の新年会を中止し、又研修会も4月14日に順延致しました。消費税が4月より実施されるについて2月21日支部会員、賛助会員、合同会合を持ち、表示カルテル、転嫁カルテル等につき検討を行ないました。日シ工のカルテル結成に伴ない、賛助会員である販売会社を中心となりカルテル結成に向けて作業がすすめられることになりました。関シ協に対しても消費税の転嫁について説明を行ないました。本部の役員の任期が2年間となる情報を先取りして、大阪支部も、役員任期の1年間の延長を決定致しました。平成元年と年号もかわり、業界の発展のため積極的に協力していくつもりで



す。皆様方のご支援ご指導をお願い致します。

● 広島支部の動き

一昨年に引続く暖冬で、冬物業者そして冬のスポーツ愛好家は何とも困った事と思われます。しかし、我々建築関係の商売にからむ者としては、誠に有難く、街のあちこちでの高層物件の建設の進展も順調です。

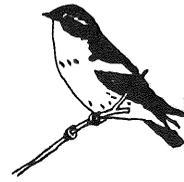
4月1日から施行される消費税対策が、何かと気にかかり、原則は理解するも、特例ケースや、経過処置への質問に対し自信を持った回答を引出すのに苦勞をしている状態です。早目の春の到来が予測され、景気も引続き良好との御託宣に、業界のメンバーは、さらに張切っております。

● 福岡支部の動き

九州、西中国の史上最大のイベント「アジア太平洋博覧会」(通称、よかとぴあ)もいよいよ来る3月17日より開幕されます。

福岡市内の施設、高速道路、ホテル等の準備もすべて完了致しました。

今話題になっていますのは、会場内に建築された「福岡タワー」です。高さ234m、形状は正三角柱の巨大ビル形、全面を熱線反射板ガラスで覆った近代的な塔です。展望台よりみる福岡の美しい風景、湖水のように静かな博多湾、湾を優しい手で抱え込むように広がる海の中道、志賀島、ぎっしりとビルが詰った福岡の市街地、その他数々のすばらしい眺望が期待され、



新しい福岡の観光名所となっています。

去る2月9日、久しぶりに九シ協、販売店会、工業会の幹事会社で新年会を開催し、情報交換を行い、合せて親睦を深めることが出来ました。

今年は暖冬のせい、例年より雨の日が多く、各工事店の皆様は、連日遅くまで、がんばっておられます。工業会も4月1日より適用される消費税法等につき、理解と適正な運用を計るべく、勉強会を実施しております。

「変成ポリサルファイド分科会便り」

三洋工業(株) 松浪 久夫

当分科会では昨年来、変成ポリサルファイド系シーリング材のJIS追加申請に向けて積極的に活動を展開してきたが、このほど工業会の皆様方のご理解とお力添えによって、JIS見直し、改正要望の一つとして「当基材の追加」を加えて頂けることになった。ここに、ご尽力を頂きました皆様方にお礼方、ご報告を申し上げます。

さて、昨年、産声をあげたこの分科会、本年はノーベル樹脂さんを新規会員に迎え、一同益々意気盛んなところである。

すでに平成元年の第一回分科会も開催し、本年の分科会活動方針について打合せを行い、その結果、当基材をシーリング材ハンドブックの各表中に他基材並みに記載してもらうための活動を行うこととなった。これは

現在、このハンドブックが広く普及し、ユーザーサイドに大変重宝がられ、且つ信頼されているからでもある。

そんなわけで今後は、データ採りなどで忙しくなりそうだが、そこは意気頓揚たる若き分科会、皆で協力し、支えつつ、精一杯頑張っていく覚悟にある。

工業会の先輩諸兄、まだ若輩の当分科会に、本年もご指導ご鞭撻を賜りますよう、よろしく、よろしくお願い申し上げます。

シーリング防水

保証についての見解書

日本シーリング工業会
日本シーリング工事業
団体連合会

「保証についての見解書」作成について

技術委員会

保証に関するシーリング工業会の見解としては、10数年前に日本カーテンウォール工業会及び日本サッシ協会の要請により提出した日シ工連（日本シーリング工事業団体連合会）との共同統一見解書があり、現状まで存続の形となっていた。

この見解書は、正式文書として公にされてはいたが、業界全般にわたってその主旨、位置付けが認識されていたかについては、取扱い等を含め十分であったとは言い切れない。

近年、シーリング防水に係わる種々見直しと検討整備の成果は著しい変化、進歩をもたらし、それらの認識は広く業界に定着しつつある。これらの状況を背景に、このほど、日シ工と日シ工連は材工一体の立場において、過去からの見解書を改訂すべく取組みを行ない、下記の新しい見解書を作成するに至った。

本見解書は、シーリング防水の故障のうち、その約80%が1～3年以内に生じている過去の実績を踏まえ、保証期間はその初期故障範囲内の3年としている。一方、付帯条件については設計、材料、施工の範囲を明確に区分けし、近年の新しい知見を取り入れたものとした。本改訂見解書の作成は、シーリング防水における保証は真に重要であり、安易に行なわれるものではないことを業界関係者が広く認識し、特に付帯条件についてはそれらの各事項が適切なシーリング防水を構成する基盤であって、保証のための特殊条件ではないとの理解を得ることを目的としたものである。

保証についての見解書

日本シーリング工業会
日本シーリング工事業団体連合会

本保証見解書は、一般の工事物件におけるシーリング防水の初期故障を対象に材工一体の立場から、日本シーリング工業会と日本シーリング工事業団体連合会が共同で作成したものである。

記

1. 保証期間：3ヶ年
(四会連合協定工事請負契約約款を参考)
2. 保証事項：シーリング材による防水機能の維持
3. 補償範囲：シーリング材の破断・はくりが原因で室内に漏水が生じた場合にシーリング材の防水機能を修復する。
4. 付帯条件：
 - 4.1 事前におけるシーリング設計上の考慮が十分なされていること。
設計上の考慮事項は下記による。
 - 4.1.1 目地設計はシーリング材メーカーの明示するシーリング材の限界性能値、又は、JASS 8 の設計伸縮率・設計せん断変形率の標準値を満足すること。
(付表1・JASS 8, シーリング材の設計伸縮率および設計せん断変形率の標準値)
 - 4.1.2 設計目地形状としての形状係数 (D/W), 目地幅・充てん深さは、JASS 8 を満足すること。
(付表2・JASS 8, 形状係数の範囲の目安)
(付表3・JASS 8, 設計目地幅の許容範囲の標準値)
(付表4・JASS 8, 充てん深さの許容範囲の標準値)
 - 4.1.3 使用シーリング材は、原則として JIS マーク表示品とし、その基材の選定は、JASS 8 の被着体とシーリング材の適切な組合せを参考とし、シーリング材メーカーおよび工事店の承認がなされていること。
(付表5・JASS 8, 被着体とシーリング材の適切な組合せ)
 - 4.1.4 被着体については事前に接着性能が確認されていること。
 - 4.2 目地の納まりは設計上と異なることなく、目地幅および取付け位置の許容差の範囲は JASS 8 を満足すること。
(付表6・JASS 8, カーテンウォール部材取付時の目地幅の許容差の標準値)
(付表7・JASS 8, カーテンウォール部材取付位置の寸法許容差の標準値)
 - 4.3 施工上の考慮が十分なされていること。
施工上の考慮事項は下記による。
 - 4.3.1 適切な工期が確保されていること。
 - 4.3.2 施工要領書に基づいて施工が行われること。
 - 4.3.3 施工要領書は JASS 8 に記述される内容を包含していること。
(付文, JASS 8, 施工要領書)
 - 4.4 シーリング材メーカー、工事店の材工一体保証であること。
 - 4.5 材工の価格は、適正であること。

免責事項

下記の事項については、補償対象外とする。

- 1) 天災地変などその他一切の不可抗力による場合
- 2) 付帯条件が遵守されていないことが明白である場合

以上

大好評!! 土木用シーラント ファイシールド・No.2000

作業性抜群!! 7Qセット・ペール缶グレー

優れた品質, 優れた施工性, 豊富な経験と実績!

変成シリコン系シーリング材(4ℓセット)

ファイシールド・No.500 (㊦)

JIS A 5758 9030 合格品

ポリサルファイド系シーリング材(4ℓセット)

ファイシールド・No.300 (㊦)

JIS A 5758 9030 合格品

ポリウレタン系シーリング材(3.5ℓセット)

ファイシールド・No.200 (㊦)

JIS A 5758 8020 合格品



日本添加剤工業株式会社

営業部 〒174 東京都板橋区前野町1-21-5 電話 03(965)5731(代)
 大阪支店 〒550 大阪市西区江戸堀1-5-13(日々会館ビル) 電話 06(443)6231(代)
 名古屋支店 〒453 名古屋市中村区大閘通2-40(ワタパビル) 電話 052(451)8632(代)
 本社・工場 〒174 東京都板橋区前野町1-21-5 電話 03(960)8621(代)

でた!

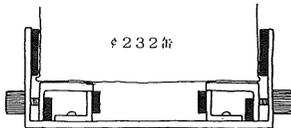
Aフープに新機種

丸缶3タイプにピッタリ!

(174φ・217φ・232φ)

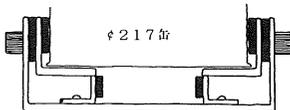
三段式フープ誕生!!

φ244フープ使用時



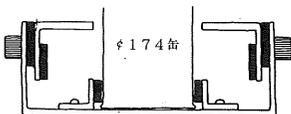
φ232缶

φ229フープ使用時

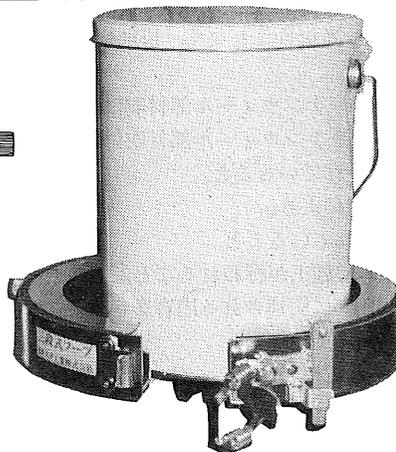


φ217缶

φ186フープ使用時



φ174缶



- もうフープにバッカーを張る必要がありません!
- より便利でコンパクトかつ頑丈なフープが実現しました。
- もちろん締めつけゴムパッキンも汚さず、紙缶も大丈夫!!

*「A型ミキスタ」
 「B型ミキスタ」
 「250型真空脱況ミキスタ」
 に適用できます。

実用新案・意匠登録出願済

ミキスタ工業株式会社

〒103 東京都中央区日本橋蛸殻町1-33-7
 電話 03-669-9471(株)

建築用シーリング材参考標準設計価格

平成元年 1 月

(単位：m 当り円)

材料区分	積算基準 (円/ℓ)	目地寸法 (幅×深さmm)	材料価格	材料ロス	労務費	副資材費	諸経費		施工単価	備考
							直接経費	間接経費		
シリコン系 1成分形	5,100	10×10	510	153	380	149	95	283	1,570	
		15×10	765	230	461	182	131	391	2,160	
		20×10	1,020	306	521	216	165	489	2,720	
シリコン系 2成分形	4,350	10×10	435	87	430	149	88	261	1,450	
		15×10	653	131	504	182	118	352	1,945	
		20×10	870	174	590	216	148	442	2,440	
		20×15	1,305	261	698	254	201	601	3,320	
		25×15	1,631	326	826	289	246	732	4,050	
		30×15	1,958	392	972	327	292	869	4,810	
変成 シリコン系 1成分形	5,000	10×10	500	150	380	149	94	237	1,510	
		15×10	750	225	460	182	130	323	2,070	
		20×10	1,000	300	521	215	160	404	2,600	
変成 シリコン系 2成分形	4,000	10×10	400	80	430	149	85	256	1,400	
		15×10	600	120	504	182	112	332	1,850	
		20×10	800	160	590	216	141	423	2,330	
		20×15	1,200	240	698	254	191	567	3,150	
		25×15	1,500	300	826	289	233	692	3,840	
		30×15	1,800	360	972	327	277	824	4,560	
ポリサル ファイド系	4,000	10×10	400	80	430	149	85	256	1,400	
		15×10	600	120	504	182	112	332	1,850	
		20×10	800	160	590	216	141	423	2,330	
		20×15	1,200	240	698	254	191	567	3,150	
		25×15	1,500	300	826	289	233	692	3,840	
		30×15	1,800	360	972	327	277	824	4,560	
変成 シリコン系 2成分形	4,000	10×10	400	80	430	149	85	256	1,400	
		15×10	600	120	504	182	112	332	1,850	
		20×10	800	160	590	216	141	423	2,330	
		20×15	1,200	240	698	254	191	567	3,150	
		25×15	1,500	300	826	289	233	692	3,840	
		30×15	1,800	360	972	327	277	824	4,560	
シリコン系 1成分形	2,700	10×10	270	81	380	149	70	210	1,160	
		15×10	405	122	461	182	94	276	1,540	
		20×10	540	162	521	216	115	346	1,900	
		10×10	230	46	430	149	68	207	1,130	
		15×10	345	69	504	182	88	262	1,440	
		20×10	460	92	590	216	109	323	1,790	
シリコン系 2成分形	2,300	20×15	690	138	698	254	142	418	2,340	
		25×15	863	173	826	289	172	507	2,830	
		30×15	1,035	207	972	327	203	606	3,350	
		40×20	1,840	368	1,294	399	312	927	5,140	
		10×10	110	22	272	149	44	133	730	
		15×10	165	33	317	182	56	167	920	
シリコン系	1,100	20×10	220	44	372	216	68	200	1,120	
		10×10	90	18	272	149	42	129	700	
		15×10	135	27	317	182	53	156	870	
SBR系	900	20×10	180	36	372	216	64	192	1,060	
		10×10	110	22	272	149	44	133	730	
		15×10	165	33	317	182	56	167	920	
ブチルゴム系	1,100	10×10	110	22	272	149	44	133	730	
		15×10	165	33	317	182	56	167	920	
		10×10	85	17	272	18	31	97	520	
油性	850	15×10	128	26	317	27	40	122	660	
		20×10	170	34	372	37	49	148	810	
		30×10	255	51	435	45	63	191	1,040	
		10×10	85	17	272	18	31	97	520	

注) 上記価格には消費税は含まれておりません。また、製造業者、地域、JIS規格可否等により多少変動することがあります。

建築用シーリング工事参考標準設計価格付帯条件

1. 施工時の材料を次のように設定する。

- (1) 2成分形シーリング材のロスは20%とする。
- (2) 1成分形シーリング材のロス30%とする。(仕上げ時にはみだした材料の再使用ができない)
- (3) ガラス：ガラスのジョイントに1成分形シリコーンを使用した場合のロスは下記の通りとする。
 - (a) ガラス：ガラス突付け 50%
 - (b) ガラス：ガラス+リブ付 100%

〔ガラス上下の中間にプレ止め用の器具を取り付け、気泡が混入しないよう2～3方向から同時に充填し、同時にへら仕上げをする。その際、はみだした材料は再使用できない。またプレ止め部のダメ工事がある。〕

2. ゴンドラ使用の場合は、次の通りとする。

- (1) ゴンドラは無償供与とし、揚重、取付け点検費用は、別途とする。
- (2) 階層割増しは、下記のように設定する。

項目	階高	12階以下	13階以上	備 考
a 労 務 費		40%アップ	50%アップ	・ ゴンドラの盛替え作業 ・ 未作業昇降時間、大規模現場の場内運搬、その他の管理業務等の費用が a, b に含まれる。
b 直 接 経 費		25%アップ	50%アップ	
c 間 接 経 費		a, b に準じてアップする		
作業日稼働日数の平均		18日/月	16日/月	

※ゴンドラ作業の計算例

(単位；m当り円)

階高	材 料	積算価格	目地寸法	材 料 価 格	ロ ス	労務費	副資材	諸 経 費		施 工 価 格	ア ッ プ 率
								直 接	間 接		
12階以下	ポリサルファイド (2成分)	4,000円/ml	20×10	800	160	826	216	176	481	2,659	14.1%
			20×15	1,200	240	977	254	239	643	3,553	12.8%
20×10			800	160	885	216	211	502	2,774	19.0%	
20×15			1,200	240	1,047	254	286	669	3,696	17.3%	

3. 本価格の適用は目地長さ500m以上とする。

4. 施工体系



注) シーリング工事の流れは非常に複雑で上図のようにいくつかの段階を経て工事業者に発注される場合が多い。図中の関連業者とは防水、サッシ、PC、カーテンウォール、ガラス業者等を指す。

また1次工事業者は施工管理のみを行ない実際の工事は2次工事業者以下が行なう場合が一般的である。

上表に示す価格はゼネコンが施主から請負う段階での標準的な価格である。

建築用シーリング材市販製品一覧

シリコン系シーリング材

会社名	商品名	色	容量・荷姿	混合比	備考
(株) エービーシー商会	ABCシリコンカートリッジ	クリアー, ホワイト, グレー, ブラック, ダークブラウン, アイボリー	333mlカートリッジ	1成分形	オキシム型
コニシ(株)	ボンドシリコンコーク	グレー, クリアー, ホワイト, ダークブラウン, アルミ, 黒, アイボリー, アンバー, ダークアイボリー	330mlカートリッジ	1成分形	オキシム型
サンスター技研(株)	ペンギンシール2505	クリアー, ホワイト, アイボリー, グレー, ダークブラウン, ブラック	330mlカートリッジ	1成分形	高モジュラス ◎9030G
	ペンギンシール2520	ホワイト, グレー, アイボリー, ブラック	3ℓセット	100:2.7: (6.5~8.0)	低モジュラス ◎10030
シャープ化学工業(株)	シャープシーラーS	クリアー, グレー, アンバー, アイボリー, ホワイト, アルミ	330mlカートリッジ	1成分形	
信越化学工業(株)	KE42	透明, 白, 黒, グレー, アルミ, アンバー, ダークブラウン, アイボリー	330mlカートリッジ	1成分形	高モジュラス 酢酸型
	シーラント45	透明, 白, 黒, グレー, アルミ, アンバー, アイボリー, ダークブラウン, ダークアイボリー	330mlカートリッジ	1成分形	◎9030G 高モジュラス オキシム型汎用
	KE422	透明	330mlカートリッジ	1成分形	高モジュラス 酢酸型, 水槽用
	KE420	高透明	330mlカートリッジ	1成分形	高モジュラス 高透明, 酢酸型
	シーラント4588	白, アイボリー, ダークアイボリー, ライトグレー	330mlカートリッジ	1成分形	◎9030G 防かび性, オキシム型
	シーラント72	グレー, ダークブラウン, アンバー, アイボリー	330mlカートリッジ	1成分形	◎9030G 中モジュラス, アルコール型
	シーラント70	白, グレー, アンバー, 黒	3ℓセット カラーマスター方式	10:1	◎10030 低モジュラス, アミノキシ型
	シーラント701	白, グレー, 黒, アンバー	3ℓセット	10:1	低モジュラス, アミノキシ型
	シーラント79	グレー, アンバー	3ℓセット カラーマスター方式	100:10 :0.71	塑性シーラント, 3成分形, アミノキシ型
	シーラント74	白, グレー	3ℓセット カラーマスター方式	10:1	低モジュラス, 60分耐火 アミノキシ型
	シーラント90	黒, グレー	330mlカートリッジ	1成分形	高モジュラス, SSG用 アルコール型
	シーラント76	黒, グレー	3ℓセット	10:1	中モジュラス, SSG用 アミノキシ型
	シーラント92	黒	3ℓセット	10:1	超高モジュラス SSG用 アルコール型

会社名	商品名	色	容量・荷姿	混合比	備考
(株) スリーボンド	スリーボンド5211	ホワイト, クリアー, アルミ, グレー, アイボリー, アンバー, ブラック	1/3 ℓカートリッジ	1成分形	無酸型
	スリーボンド5221	ホワイト	1/3 ℓカートリッジ	1成分形	防カビ型
	スリーボンド5271	ホワイト, グレー, アンバー	3 ℓセット	10:1	低モジュラス
	スリーボンド5241	ホワイト, クリアー, アンバー, グレー	1/3 ℓカートリッジ	1成分形	酢酸型
世界長 (株)	セカイチョーシーラーS I	クリアー, ホワイト, ダークブラウン, グレー, アイボリー, アルミグレー, 黒	333mℓカートリッジ	1成分形	オキシム型
セメダイン (株)	セメダインシリコンシーラー-8060	クリアー, アルミ, ホワイト, アンバー, ナチュラルストーン, ダークアンバー, グレー	333mℓカートリッジ	1成分形	オキシム型
	セメダインシリコンシーラー-8065	クリアー, シルバー, ホワイト, アンバー, ナチュラルストーン, グレー, ブラック	333mℓカートリッジ	1成分形	酢酸型
(株) タイルメント	アークシール S-100	ホワイト, クリアー, グレー, アンバー, アルミ, ブラック, アイボリー	333mℓカートリッジ	1成分形	オキシム型
		ホワイト, クリアー	100gチューブ	1成分形	オキシム型
	板金用シリコン	ホワイト, クリアー, ニュークリーム, シルバー	150gチューブ	1成分形	オキシム型
(株) 東郊産業	ハイシーラー#5000	クリアー, ホワイト, アンバー, アイボリー, グレー, ブラック	330mℓカートリッジ	1成分形	
東芝シリコン (株)	トスシール361	ホワイト, ライトグレー, グレー, ダークブラウン, ブラック	3 ℓセット	100:3	㊟10030 低モジュラス
	トスシール62	グレー, ダークブラウン, ブラック	3 ℓセット	100:3	中モジュラス ストラクチャル用
	トスシール63	ホワイト, アイボリー	3 ℓセット	100:3	防かび性
	トスシール64	ホワイト, グレー, ダークブラウン, ブラック	3 ℓセット	100:3	準不燃性
	トスシール67	グレー, ブラック	16 ℓセット	100:3	流動性
	トスシール10	ライトグレー, グレー, ダークブラウン, ブラック	500mℓフィルムパック 5丸缶	1成分形	㊟10030 低モジュラス ミノキシ型
	トスシール371	クリアー, ホワイト, グレー, アルミグレー, ブラック, ダークブラウン	333mℓカートリッジ	1成分形	酢酸型, 速硬性
	トスシール73	ホワイト	333mℓカートリッジ	1成分形	防かび, 酢酸型
	トスシール381	クリアー, ホワイト, グレー, アルミグレー, ダークブラウン, ブラック	333mℓカートリッジ	1成分形	㊟9030G オキシム型
	トスシール83	ホワイト, アイボリー, ライトアイボリー, ダークアイボリー	333mℓカートリッジ	1成分形	防かび, オキシム型
	トスシール380	ホワイト, グレー, ダークブラウン	333mℓカートリッジ 4丸缶	1成分形	低モジュラス アルコール型
	トスシール90	ライトグレー, グレー, ダークブラウン	3 ℓセット	100:3:0.64	油性目地補修用, 3成分形
	トスシール1200	ブラック	333mℓカートリッジ	1成分形	高モジュラス ストラクチャル用
	トスシール52	ブラック	4.4 ℓセット	2成分形	高モジュラス ストラクチャル用

会社名	商品名	色	容量・荷姿	混合比	備考
トーレ・シリコン (株)	SH780	クリアー, ホワイト, グレー, アイボリー, ニューアイボリー, アルミ, アンバー, ブラック, ダークブラウン	1/3 ℓカートリッジ	1成分形	㊟9030G 無酸型
	SH781	クリアー, ホワイト, グレー, アンバー	1/3 ℓカートリッジ	1成分形	㊟9030G 酢酸型
	SH790	ホワイト, グレー, ナチュラルストーン, アンバー, ブラック, アイボリー	1/2 ℓフィルムパック	1成分形	低モジュラス
	SH792	ホワイト, アイボリー, グレー, ナチュラルストーン, アンバー, ブラック	3 ℓセット	10 : 1	㊟9030 低モジュラス カラーマスター
	SE797	ブラック	2 ℓセット	10 : 0.5	SSG 用
	SE798	ブラック	1/3 ℓカートリッジ	1成分形	SSG 用
	SE1900	ブラック	1.5kgセット 40kgセット	1 : 1	貫通部シール フォーム
	SE555	グレー, アンバー	1/3 ℓカートリッジ	1成分形	㊟9030G 脱アルコール 中モジュラス
	SE777	スーパークリアー	1/3 ℓカートリッジ	1成分形	酢酸型
	SE5003	グレー	1/3 ℓカートリッジ	1成分形	準不燃性
	SE5010	ホワイト, アイボリー, ニューアイボリー	1/3 ℓカートリッジ	1成分形	㊟9030G 無酸型, 防かび性
	SE5011	ホワイト	1/3 ℓカートリッジ	1成分形	酢酸型, 防かび性
	SE9090	グレー	1/3 ℓカートリッジ 4 ℓ	1成分形	マスチックタイプ (表面のみ硬化)
	SE794	グレー, アンバー	3 ℓセット	100 : 3	準不燃性 カラーマスター
	SE796	グレー, アンバー	3 ℓセット	100 : 3	中モジュラス ガラス用 カラーマスター
	SE792	ホワイト, アイボリー, グレー, ナチュラルストーン, アンバー, ブラック	1/3 ℓセット	100 : 2.5	㊟10030 低モジュラス カラーマスター
	SE9500	ブラック	1 kg缶	10 : 1	脱アルコールタイプ
日東ポリマー工業 (株)	ニューワイドシーラー	クリアー, グレー, ホワイト, アンバー, シルバー, アイボリー, ブラック	330mlカートリッジ	1成分形	
日本フランシール (株)	ロードシルV-2	クリアー	1/3 ℓカートリッジ	1成分形	酢酸型, 中モジュラス
	ロードシル3-B	クリアー, グレー, ホワイト, アルミ	1/3 ℓカートリッジ	1成分形	酢酸型
	ロードシルV-70	クリアー, グレー, ホワイト, ダークブラウン, アイボリー, ブラック, アンバー, シルバー	1/3 ℓカートリッジ	1成分形	オキシム型
	ロードシル5C	グレー, ホワイト, ブラック, ダークブラウン	1/3 ℓカートリッジ	1成分形	アルコール型
バイエル合成シリコン(株)	バイエル合成シリコンシーラント BA-10	アイボリー, グレー, アンバー, ブラック	1/3 ℓカートリッジ	1成分形	無酢酸型, 低モジュラス
	バイエル合成シリコンシーラント AP-20	クリアー, ホワイト, グレー, アンバー, ダークブラウン, ブラック, アルミ	1/3 ℓカートリッジ	1成分形	酢酸型
	バイエル合成シリコンシーラント AP-22	グラスクリアー	1/3 ℓカートリッジ	1成分形	酢酸型, 超透明
	バイエル合成シリコンシーラント BO-50	クリアー, ホワイト, アイボリー, グレー, アンバー, ダークブラウン, ブラック, アルミ	1/3 ℓカートリッジ	1成分形	無酢酸型
	バイエル合成シリコンシーラント BO-50A	クリアー, ホワイト, ダークブラウン, アンバー, ブラック	1/3 ℓカートリッジ	1成分形	無酢酸型, 速硬化性
	バイエル合成シリコンシーラント BL-40	クリアー, ホワイト, グレー, ダークブラウン	1/3 ℓカートリッジ	1成分形	アルコール型
	バイエル合成シリコンシーラント MS-60	グレー, ダークブラウン	1/3 ℓカートリッジ	1成分形	マスチック型

会社名	商品名	色	容量・荷姿	混合比	備考
横浜ゴム(株)	ハマタイトSS-310	ホワイト, グレー, ダークブラウン, アイボリー, ブラック, クリアー	333mlカートリッジ	1成分形	無酢酸型
	ハマタイトシリコン70	ホワイト, グレー, ダークブラウン, ブラック	4ℓセット	10:1: (0.48~0.57)	㊟10030

* () 内はカラーマスター

変成シリコン系シーリング材

会社名	商品名	色	容量・荷姿	混合比	備考
(株) エービーシー商会	ABC変成シリコンM	ホワイト, ライトグレー, グレー, ブラウン, ダークブラウン	4ℓ	10:1	㊟9030
	ABC変成シリコンカートリッジ	ホワイト, グレー, アイボリー	333ml	1成分形	
カネボウ・エヌエスシー(株)	ベルエースMS	グレー, ブロンズ, アンバー, ベージュ, ホワイト	4ℓセット	100:10:(3.8)	㊟9030
	ベルエースワン	グレー, ホワイト, アイボリー, ブロンズ	333mlカートリッジ	1成分形	低モジュラス
	デュアリボンMS	ホワイト, グレー, アイボリー, ベージュ, ブロンズ	333mlカートリッジ	1成分形	
関西パテ化工(株)	セルスーパー	ホワイト, グレー, ダークブラウン, ベージュ	333mlカートリッジ	1成分形	
	セルシールMS	ホワイト, グレー, アンバー	4ℓセット	2成分形	
コニシ(株)	ボンドMSシール	ホワイト, アイボリー, グレー, アンバー, ブロンズ, ブラック, ニューアイボリー	4ℓセット	100:10:(3)	㊟9030
	ボンド変成シリコンコーク	グレー, ホワイト, アイボリー, ベージュ, ブロンズ, ブラック	333mlカートリッジ	1成分形	
	ボンド変成シリコンコークLM	ホワイト	333mlカートリッジ	1成分形	中モジュラス
サンスター技研(株)	ペンギンシール2500	グレー, アンバー, ホワイト, ベージュ, ブラック	4ℓセット トナー200g	10:1:(0.4)	㊟9030
	ペンギンシール2550LM	グレー, アンバー, ホワイト, ベージュ	320mlカートリッジ	1成分形	低モジュラス ㊟8020
	ペンギンシール2550 (パワーファイブH)	グレー, アンバー, ホワイト, ベージュ, ブラック, アイボリー	320mlカートリッジ	1成分形	高モジュラス
三洋工業(株)	スリーコンB-4000	ホワイト, グレー, アンバー, アイボリー	4ℓセット	10:1	㊟9030
	スリーコンC-320	ホワイト, グレー, アイボリー, アンバー, 他	320mlカートリッジ	1成分形	
サンライズメイセイ(株)	SRシール S50	グレー, 白, ブラウン	3ℓセット×4	10:1	㊟9030
	SRシール S70	グレー, 白, クリーム, ブラウン, 黒	333mlカートリッジ 4ℓ缶	1成分形	
シャープ化学工業(株)	シャープシーラーM	ホワイト, グレー, ブラウン, アイボリー, ベージュ	320mlカートリッジ	1成分形	
	シャープシーラーM-2	グレー, ホワイト, ブラウン	4ℓセット	10:1	㊟9030
昭石化工(株)	メトリック	グレー, ブラック, ホワイト, ベージュ, ダークアンバー	4ℓセット	100:10:(3)	㊟9030
(株) スリーボンド	スリーボンド5222	ホワイト, グレー	320mlカートリッジ	1成分形	
世界長(株)	セカイチョーシーラーMS	ホワイト, グレー, アイボリー, アンバー, ダークブラウン, ブロンズ, 黒	4ℓセット	100:10:(3)	㊟9030
	セカイチョーシーラーHS	ホワイト, グレー, アイボリー, アンバー, ダークブラウン, ブロンズ, 黒	4ℓセット	100:10:(3)	㊟8020
	セカイチョーシーラーM-1	グレー, ダークブラウン, アイボリー, ホワイト	320mlカートリッジ	1成分形	

会社名	商品名	色	容量・荷姿	混合比	備考
セメダイン(株)	POSシールLM	ホワイト,グレー	333mlカートリッジ	1成分形	㊟8020
	POSシールタイプII	ホワイト,グレー,ブラック,ブロンズ,アンバー,アイボリー	4ℓセット	100:3:(3)	㊟9030
(株) タイルメント	アークシール S-200	ホワイト,グレー,アンバー*,アイボリー*	333mlカートリッジ	1成分形	*は特注色
	アークシールS-202LM	ホワイト,グレー,アンバー*,アルミ*	320mlカートリッジ	1成分形	低モジュラス *は特注色
テイパ化工(株)	ボニーシーラーMS-3000	グレー,ブラウン,ホワイト	4ℓセット	10:1	㊟9030
	ボニーシーラーMS-8000	グレー,ブラウン,ホワイト	1/3ℓカートリッジ	1成分形	
日興化学工業(株)	ニッシーラーMS	白,グレー,アンバー,ブロンズ,黒	5ℓセット	10:1	
日東ポリマー工業(株)	ニットーコーク500MS	ホワイト,グレー他3色	4ℓセット	100:10:(3)	
日本添加剤工業(株)	ファインシーラーNo500	グレー,ダークブラウン,ホワイト,ブラック	4ℓセット カラーマスター	100:3:(2.5)	㊟9030
(株) 服部商店	サンシール#801	グレー,ホワイト,アイボリー,ダークブラウン	4ℓセット	10:0.7:(0.3)	
	コスモシール	グレー,ホワイト,ダークブラウン,アイボリー	1/3ℓカートリッジ	1成分形	
日立化成ポリマー(株)	ハイボン2000	オフホワイト,グレー,ダークグレー,ベージュ,ブロンズ,ブラック	4ℓセット	100:10:(3)	㊟9030
保土谷建材工業(株)	ミリオネートNS-300	グレー,ブロンズ,ブラウン,アイボリー,ニューアイボリー,ブラック,ホワイト	4ℓセット	100:10:(3)	㊟9030
三星産業(株)	変成シリコンZ	グレー,ホワイト,アイボリー,ベージュ,ブラック	320mlカートリッジ	1成分形	
横浜ゴム(株)	ハマタイトスーパーII	ホワイト,グレー,ダークブラウン,ダークアンバー,ブラック	4ℓセット	100:10:(3)	㊟9030
	ハマタイトスーパーワン	ホワイト,グレー,ベージュ,ダークブラウン	333mlカートリッジ	1成分形	
	ハマタイトスーパーワンLM	ホワイト,グレー,ベージュ,ダークブラウン,ダークアンバー,ブラック	333mlカートリッジ	1成分形	

* () 内はカラーマスター

ポリサルファイド系シーリング材

会社名	商品名	色	容量・荷姿	混合比	備考
アサヒボンド工業	101~109	グレー,黒,白,ブロンズ,ライトブロンズ,アンバー,ライトグレー,クリーム,その他	3.47ℓセット	10:1	
(株) エービーシー商会	チオコーク	グレー,ライトグレー,ブラウン,ダークブラウン,ブラック	4ℓセット 7ℓセット	10:1	㊟9030
カネボウ・エヌエスシー(株)	ベルエースP-5000	グレー,ブロンズ,アンバー	4ℓセット	100:10:(6)	㊟9030
関西パテ化工(株)	ハイトシール	ダークグレー,ブロンズ,ホワイト,アンバー,ブラック	3.4ℓセット	10:1	
コニシ(株)	ボンドシール#10	グレー,ブロンズ,アンバー,ブラック,ベージュ	4ℓセット	100:10:(6)	㊟9030
サンスター技研(株)	ペンギンシール169	グレー,ホワイト,アンバー,ブラック	4ℓセット	10:1:(0.5)	㊟9030
三洋工業(株)	スリーコールB-4000 スリーコールB-4000S	グレー,アンバー,オフホワイト,アイボリー	4ℓセット	10:1	㊟9030 ㊟8020
サンライズメイセイ(株)	SRシールT27	グレー	3ℓセット	10:1	
シャープ化学工業(株)	シャープシーラーT-35	グレー,ライトグレー,ダークブラウン,ブラック,ホワイト	4ℓセット	10:1	㊟9030

会社名	商品名	色	容量・荷姿	混合比	備考
昭石化工(株)	フジチオコール	グレー, ブラウン, アンバー, アイボリー, ダークアンバー, ブラック	4ℓセット	10:1	㊟8020
住友スリーエム(株)	ウェーザーバンシーラー	ブラック, グレー	4ℓセット	ブラック 10:1 グレー 10:1	
世界長(株)	セカイチョーシーラー-TH	シーリングホワイト, グレー, アンバー, ダークブラウン, ブロンズ, 黒	4ℓセット	グレー 100:10 シーリング ホワイト 100:5 その他 100:10:(4)	㊟9030 ㊟8020 (シーリングホワイトのみ)
セメダイン(株)	ポリシール	グレー, ブラック, ブロンズ, アンバー-2, アンバー-3	4ℓセット	100:7:(7)	㊟9030
大日化成(株)	サンシーラーP	グレー, アンバー, ブラウン, 黒	4ℓセット	100:8	㊟8020
テイパ化工(株)	ボニーシーラーPS-2000	グレー, ブロンズ1, ブロンズ2, ブラック, アンバー-5	4ℓセット	100:8	㊟9030
(株)東亜応用化工	エポコールシーラ	グレー, ブロンズ, 黒, 白, アイボリー	4ℓセット	100:8	㊟9030
東レチオコール(株)	トプコールS	ホワイト, アイボリー, グレー, ブラウン, ブラック	333mlカートリッジ	1成分形	汎用タイプ
日興化学工業(株)	ニッシール	白, グレー, アンバー, ブロンズ, 黒	3ℓセット	10:1	
日東ポリマー工業(株)	ニッターコーク300S	グレー, アンバー他3色	4ℓセット	100:8:(5)	
(株)日本化学研究所	チオシールニッカ#3151	グレー	4ℓセット	10:1	
	チオシールニッカ#501	ブロンズ	4ℓセット	10:1	
	チオシールニッカ#1000	アイボリー	4ℓセット	10:1	
	チオシールニッカ#300	アンバー	4ℓセット	10:1	
日本添加剤工業(株)	ファインシーラーNo300	グレー, ダークブラウン, ブラック	4ℓセット	10:1	㊟9030
(株)ノーベル樹脂化学	ニューコーク#501	グレー, 各色	4ℓセット	10:1 1:1(土木用)	㊟8020
日立化成ポリマー(株)	ハイボン1000	グレー, ダークグレー, ブロンズ, アイボリー, アンバー, ブラウン, ブラック, (ホワイト)	4ℓセット	10:1 95:10:(5)	㊟9030
保土谷建材工業(株)	ミリオネートNS-200	グレー, ブロンズ, ブラウン, ベージュ, ブラック	4ℓセット	100:10:(6)	㊟9030
三星産業(株)	三星シールPS	グレー, ダークグレー, ブロンズ, アイボリー, ブラック	4ℓセット	10:1	㊟9030
横浜ゴム(株)	ハマタイトSC-500	オフホワイト, グレー, ダークブラウン, ブラック, アンバー *オフホワイトは主剤着色方式で㊟8020	4ℓセット	100:5.2:(8)	㊟9030

* () 内はカラーマスター

アクリルウレタン系シーリング材

会社名	商品名	色	容量・荷姿	混合比	備考
日東電工(株)	ニトシールA2000	グレー他	5.5ℓセット	1:2.5	
ヤマウチ(株)	トップシーラー#7	グレー, 白, その他	6ℓセット	1:3	

ポリウレタン系シーリング材

会社名	商品名	色	容量・荷姿	混合比	備考
アサヒボンド工業 (株)	アサヒシール651~659	黒,白,ブロンズ,グレー,ライトブロンズ,クリーム,アンバー,ライトグレー,その他	4.4ℓセット 7.35ℓセット	1:3	
(株) エーピーシー商会	ABCウレタン80	グレー,アイボリー,ホワイト,ダークブラウン	6ℓ	1:3	㊟8020
	ABCコーキングウレタンカートリッジ	ホワイト,グレー,アイボリー,ダークブラウン	333mℓカートリッジ	1成分形	
オート化学工業 (株)	オートンシーラー101A	グレー,ホワイト,アイボリー,アンバー	320mℓカートリッジ 4ℓ缶 12ℓペール缶	1成分形	㊟9030 一般汎用
	オートンシーラー101N-LM	ライトグレー	320mℓカートリッジ 12ℓペール缶	1成分形	ノンフリージング 低モジュラス
	ALCコーク	ホワイト	320mℓカートリッジ 12ℓペール缶	1成分形	㊟8020 ALC専用
	オートンサイディングシーラント	各色	320mℓカートリッジ	1成分形	㊟9030 サイディング板用
カネボウ・エヌエスシー (株)	ベルエース P-6000	グレー,ブロンズ,ホワイト	6ℓセット	1:3:(0.1)	㊟8020
	デュアリボン6500	ホワイト,グレー	320mℓカートリッジ	1成分形	
関西パテ化工 (株)	セルシールPU	グレー,白	12ℓ	1成分形	
	セルシールPU	グレー,アンバー,白,アイボリー	4.8ℓセット	1:3	
	セルシールPU	グレー,アンバー,白,アイボリー	320mℓカートリッジ	1成分形	
コニシ (株)	ボンドUシール	グレー,ブロンズ,アイボリー,ホワイト,ブラック	6ℓセット	1:3:(0.1)	㊟8020
	ボンドウレタンコーク	グレー,ホワイト,アンバー,アイボリー	320mℓカートリッジ	1成分形	
サンスター技研 (株)	ペンギンシール980	グレー,ホワイト,ベージュ,アンバー	6ℓセット トナー300g	1:2.9:(0.15)	㊟8020
	ペンギンシール970	ブラック,グレー	12ℓセット	1:1	
	ペンギンシール955 (ガードワン)	グレー,ホワイト,アンバー,ベージュ	14ℓ 320mℓカートリッジ	1成分形	
三洋工業 (株)	スリーウレッチ103	グレー,ホワイト,アンバー,アイボリー	4.6ℓセット	1:3	㊟8020
	スリーウレッチC320	グレー,アイボリー,ホワイト,アンバー,他	320mℓカートリッジ	1成分形	
サンライズメイセイ (株)	SRシールU31	グレー,白,ベージュ,ブラウン	7.1ℓセット	1:3	
	SRシールU73	グレー,白	320mℓカートリッジ	1成分形	
シャープ化学工業 (株)	シャープシールU	グレー,ホワイト,アイボリー,ブラウン	320mℓカートリッジ	1成分形	
	シャープシールU-75	グレー,ホワイト,アイボリー,ブラック	6.8ℓセット 6ℓセット	1:2 1:3	㊟8020
昭石化工 (株)	ユーゼット103	グレー,ホワイト,アイボリー,アンバー	320mℓカートリッジ	1成分形	
	ユーゼット103	グレー,ホワイトアイボリー,ベージュ,ダークブラウン,アンバー	8ℓセット 4ℓセット	1:3	㊟8020
(株) スリーボンド	PANDO412A	グレー	1/3ℓカートリッジ	1成分形	
世界長 (株)	セカイチョーシーラーU-1	ホワイト,グレー,アイボリー,ダークブラウン	320mℓカートリッジ	1成分形	
	セカイチョーシーラーPU-213	グレー,アイボリー,ダークブラウン,ニューホワイト,黒	6ℓセット 4ℓセット	1:2.9:(0.1)	㊟8020

会社名	商品名	色	容量・荷姿	混合比	備考
セメダイン(株)	S-750	ホワイト,アイボリー,ブロンズ,アンバー,グレー,ブラック	6ℓセット	1:3:(0.1)	㊟8020
	S-700M	ホワイト,グレー,アンバー,ブラック,アイボリー	333mlカートリッジ	1成分形	
大日化成(株)	サンシーラーU-13	白,グレー,アイボリー,ブラウン	5.8ℓセット	1:3	㊟8020
	スカイシールU	白,グレー,アイボリー,ブラウン	1/3ℓカートリッジ	1成分形	
(株)タイルメント	アークシール S-300	ホワイト,グレー,アンバー,アイボリー	320mlカートリッジ	1成分形	
	アークシール S-303LM	ホワイト,グレー	320mlカートリッジ	1成分形	低モジュラス
テイパ化工(株)	ボニーシーラーU-2000	グレー,ブラウン,アイボリー,ブラック	7ℓセット	1:2	㊟8020
	ボニーシーラーU-3000	グレー,ブラウン,アイボリー,ブラック	6ℓセット	1:3	㊟8020
	ボニーシーラーU-8000	グレー,ホワイト,アイボリー,アンバー	1000mlカートリッジ 320mlカートリッジ	1成分形	
(株)東亜応用化工	エポコールU-3	グレー,ブロンズ,黒,白,アイボリー	6ℓセット	1:3	
(株)東郊産業	ハイシーラーハイレタン	グレー,ホワイト,アンバー,アイボリー,ブラック	320mlカートリッジ	1成分形	特注色
	ウレタンジャンボ	グレー,ホワイト,アンバー,アイボリー	1000mlカートリッジ	1成分形	特注色
	ウレタンSPジャンボ	グレー,ホワイト,アンバー,アイボリー	900mlソーセージパック	1成分形	
日興化学工業(株)	ニッシーラーウレタン	白,グレー,アンバー,ブロンズ,黒	5ℓセット	1:3	
日東電工(株)	ニトシール A2100	グレーほか	7ℓセット	1:8	
日東ポリマー工業(株)	ニットーコーク200U	ホワイト,グレー他4色	4.5ℓセット	100:29:(1)	㊟8020
	ニットーウレタン	ホワイト,グレー,アイボリー,アンバー	320mlカートリッジ	1成分形	
(株)日本化学研究所	ニッカウレタイトシーラー	グレー,ホワイト,ブラック	6ℓセット	1:2 1:3	
日本シカ(株)	シーカフレックス1a	グレー,白,ダークアンバー,黒	320mlカートリッジ 400mlモノ・ソーセージ 12.5ℓペール缶	1成分形	
	シーカフレックス15LM	グレー,白,ダークアンバー,ベージュ,アイボリー,黒	320mlカートリッジ 400mlモノ・ソーセージ 12.5ℓペール缶	1成分形	低モジュラス
	シーカフレックス11FC	グレー,白,黒	320mlカートリッジ 400mlモノ・ソーセージ	1成分形	速乾型
日本添加剤工業(株)	ファインシーラーNa200	グレー,ダークブラウン,ブラック,クリームホワイト	7ℓセット・ペール缶 3.5ℓセット	1:3:(0.1)	㊟8020
	ファインシーラーNa20	クリームホワイト,グレー	7ℓセット・ペール缶	1:3:(0.1)	ALC用
	ファインシーラーNa200水路用	グレー	7ℓセット・ペール缶	1:3	土木用
	ファインシーラーNa2000	グレー	7ℓセット・ペール缶	1:3	土木用
	ファインシーラーNa201	グレー,ダークブラウン,ホワイト	320mlカートリッジ	1成分形	
(株)ノーベル樹脂化学	ニューコーク#401	グレー,各色	6ℓセット	1:3	㊟8020 土木用,建築用
(株)服部商店	サンシール#701	グレー,ホワイト,アイボリー,ダークブラウン	1/3ℓカートリッジ	1成分形	
	サンシール#903	グレー,ホワイト,アイボリー,アンバー,ダークブラウン	7.5ℓセット,4ℓセット	1:2.9:(0.1)	㊟8020
	サンシールAU	ホワイト,グレー,ダークブラウン	7.0ℓセット	1:9.75:(0.25)	ALC専用

会社名	商品名	色	容量・荷姿	混合比	備考
日立化成ポリマー (株)	ハイボン5000	グレー, ダークグレー, ブロンズ, オフホワイト, ブラック, アイボリー	6ℓセット, 4ℓセット	1:3:(0.15)	㊟8020
	ハイボン5100	グレー, ホワイト, アイボリー, ブラウン	320mlカートリッジ	1成分形	
保土谷建材工業 (株)	ミリオネートNS-III	グレー, ホワイト, ブラウン, アイボリー, ブラック	6ℓセット	1:2.9:(0.1)	㊟8020
	ミリオネートシーラー	グレー, ホワイト, ブラウン, アイボリー	320mlカートリッジ	1成分形	
三星産業 (株)	三星シールAU	グレー, ブロンズ, ホワイト, ページュ, ブラック	6ℓセット	1:3	㊟8020
	三星シールU-1	グレー, ホワイト, アンバー, アイボリー	320mlカートリッジ	1成分形	
ヤマウチ (株)	トップシーラー#U2	グレー, 白	6ℓセット	1:3	
横浜ゴム (株)	ハマタイトUH-30	アイボリー-ホワイト, グレー, ダークブラウン, ブラック, ページュ	6ℓセット	1:3:(0.1)	㊟8020
	ハマタイトシールエース	ホワイト, グレー, ダークブラウン, ページュ	320mlカートリッジ 12ℓペール缶	1成分形	

* () 内はカラーマスター

アクリル系シーリング材

会社名	商品名	色	容量・荷姿	備考
カネボウ・エヌエスシー(株)	ペルエース P-4000	ホワイト, グレー	17ℓ	㊟7020
	デュアリボン4000	ホワイト, グレー	320mlカートリッジ	
関西パテ化工 (株)	ハイトコーク	白, アイボリー, アンバー, グレー	18ℓ 333mlカートリッジ	
	ハイトコークボンド	白, アイボリー, グレー, アンバー, 木色地各色	500g	
コニシ (株)	ボンドアクリルコーク	ホワイト, アイボリー, グレー	17.4ℓ 330mlカートリッジ	㊟7020 (缶タイプのみ)
	ボンドコークホワイト	ホワイト	500gチューブ	
	ボンドコークアイボリー	アイボリー	500gチューブ	
サンスター技研 (株)	ペンギンシール1250	ホワイト	333mlカートリッジ 340mlチューブ 18ℓ	
三洋工業 (株)	スリーラント	ホワイト	17ℓ 333mlカートリッジ 500ccチューブ 1.5kgカートリッジ	㊟7020
サンライズメイセイ (株)	SRシールY60A	白, グレー	17ℓ 320mlカートリッジ	
シャープ化学工業 (株)	シャープシーラーA	ホワイト, グレー	17ℓ 330mlカートリッジ	㊟7020
昭石化工 (株)	アクリルエース	ホワイト	18ℓ 330mlカートリッジ	
世界長 (株)	セカイチョーシーラーEA	ホワイト	17ℓ	㊟7020
	セカイチョーシーラーEA カートリッジ	ホワイト	340mlカートリッジ	㊟7020
	セカイチョーシーラーEA チューブ	ホワイト	500gチューブ	
セメダイン (株)	メジシールS-10 S-20	ホワイト	18ℓ	S-10 一般用 S-20 耐寒用
	メジシール	ホワイト	333mlカートリッジ	

会社名	商品名	色	容量・荷姿	備考
大 日 化 成 (株)	サンシーラーA	白, グレー	17 ℓ	
	サンシーラーAK	白, グレー	1/3 ℓカートリッジ	
(株) タ イ ル メ ン ト	アークシール S-500	ホワイト, グレー, アイボリー	333mℓカートリッジ	
		ホワイト	18 ℓ缶	
	アクリルコークジャンボS	ホワイト	900mℓカートリッジ	㊦7020
	アクリルコークジャンボL	ホワイト	900mℓカートリッジ	㊦7020
	コークボンド	ホワイト, アイボリー, ニューページュ, ジュラク*, ペニヤ*, ニス*	500gチューブ	*は特注色
テ イ バ 化 工 (株)	アクリルコーク A-100	ホワイト	330mℓカートリッジ 17 ℓ	
(株) 東 郊 産 業	ハイシーラー#2000	ホワイト, グレー, アイボリー	17 ℓ 330mℓカートリッジ	㊦7020
	アクリルジャンボ	ホワイト, グレー	900mℓ ジャンボカートリッジ	㊦7020
	アクリルSPジャンボ	ホワイト	900mℓソーセージパック	㊦7020
日 東 ポ リ マ ー 工 業 (株)	エラスコーク	ホワイト, グレー, アイボリー	17 ℓ 330mℓカートリッジ 500gチューブ	㊦7020
	エラスコークブリット	ホワイト	700mℓフィルムパック 350mℓフィルムパック	㊦7020
(株) 日 本 化 学 研 究 所	ニッカシールA	白	17 ℓ	ALC, PC 専用
日 本 添 加 剤 工 業 (株)	ファインシーラーNo1000	ホワイト, グレー	17 ℓ缶	㊦7020
(株) ノ ー ベ ル 樹 脂 化 学	ニューコーク#301	白	17 ℓ 330mℓカートリッジ 900mℓカートリッジ	㊦7020
(株) 服 部 商 店	サンシール#5001	ホワイト, グレー, アイボリー	1/3 ℓカートリッジ 17 ℓ	㊦7020
三 星 産 業 (株)	三星シールAC	ホワイト, グレー, ブロンズ	17 ℓ 333mℓカートリッジ	㊦7020
ヤ マ ウ チ (株)	トップシーラー #5000 #5000N	白, グレー	17 ℓ 330mℓカートリッジ	㊦7020 N:凍結防止品

ブチルゴム系シーリング材

会社名	商品名	色	容量・荷姿	備考
カネボウ・エヌエスシー(株)	ベルエース P-3000	グレー	18 ℓ	
	デュアリボン3000	グレー	320mℓカートリッジ	
関 西 パ テ 化 工 (株)	セルシールB	グレー, 新茶, 黒	18 ℓ 333mℓカートリッジ	
コ ニ シ (株)	ボンドシールパテ	グレー	18 ℓ	
	ボンドアチコール	灰, 新茶, 青	330mℓカートリッジ	
サ ン ス タ ー 技 研 (株)	ペンギンシール850	グレー	18 ℓ 333mℓカートリッジ	
三 洋 工 業 (株)	ブチラー	グレー, 新茶, ブラウン, ブルー	18 ℓ 333mℓカートリッジ	
サンライズメイセイ(株)	S RコーキングR-40	グレー	18 ℓ 320mℓカートリッジ	
シャープ化学工業(株)	シャープシーラーB	グレー, ホワイト, ブラック, ブラウン	17 ℓ 330mℓカートリッジ	
住 友 ス リ ー エ ム (株)	リボンシール	グレー	300mℓカートリッジ	
世 界 長 (株)	セカイチョーシーラーRB	グレー, アルミグレー, ホワイト	320mℓカートリッジ 18 ℓ	

会社名	商品名	色	容量・荷姿	備考
セメダイン(株)	ブチルシール S-620	グレー	18ℓ 333mlカートリッジ	
大日化成(株)	サンシーラー-B	グレー	17ℓ	
	サンシーラー-BK	グレー, ブラウン, 黒	1/3ℓカートリッジ	
(株) タイルメント	アークシール S-600	ホワイト, グレー, アルミ*, シンチャ*, レンガ*	333mlカートリッジ	*は特注色
テイパ化工(株)	ブチルコーク B-100	グレー	330mlカートリッジ 18ℓ	
(株) 東郊産業	ハイシーラー#3000	グレー, ホワイト, ブラウン, シルバー, ブルー, グリーン, アイボリー, ブラック	330mlカートリッジ	
日興化学工業(株)	ブレンシール	グレー, 黒	1/3ℓカートリッジ 17ℓ	
日東ポリマー工業(株)	ニューゴムコーキング	グレー, シルバー, 青, 深茶, れんが	330mlカートリッジ	
日本添加剤工業(株)	ファインシーラーNa150	グレー	18ℓ缶 330mlカートリッジ	
(株) ノーベル樹脂化学	ニューコーク#201	グレー, 各色	20kg缶 330mlカートリッジ	土木用, 防水用
(株) 服部商店	サンシール#601	グレー, 新茶, レンガ, 青	1/3ℓカートリッジ 17ℓ	
早川ゴム(株)	ミケロンコーク	黒, グレー	330mlカートリッジ 16ℓ 330mlチューブ	
日立化成ポリマー(株)	ハイボン310	グレー	18ℓ 330mlカートリッジ	
三星産業(株)	三星シールブチル	灰, 新茶, 赤, 青	17ℓ (灰) 333mlカートリッジ	
ヤマウチ(株)	トップシーラー#30	グレー, 黒, 茶ほか	18ℓ 330mlカートリッジほか	用途別多品種 取揃

油性コーキング材

会社名	商品名	色	容量・荷姿	備考
(株) エービーシー商会	ABCコーキング	グレー	18ℓ	
関西パテ化工(株)	Kコーク	グレー	18ℓ 333mlカートリッジ 1kgチューブ 500gチューブ	㊦
コニシ(株)	ボンド油性コーク	グレー	18ℓ 330mlカートリッジ	
	ボンドコーキング	グレー	500gチューブ	
サンスター技研(株)	ペンギンシール750	グレー	333mlカートリッジ 18ℓ	㊦
三洋工業(株)	スリーコーキング	グレー	18ℓ 330mlカートリッジ 800mlチューブ	㊦
サンライズメイセイ(株)	SRシールB20G	グレー	17ℓ 670mlチューブ 333mlチューブ 320mlカートリッジ	
シャープ化学工業(株)	シャープシーラーP	グレー, ホワイト, ブラウン	17ℓ 330mlカートリッジ 500gチューブ 1kgチューブ	㊦
昭石化工(株)	エパーシール	グレー	18ℓ	㊦
世界長(株)	ケミコーク	グレー	320mlカートリッジ 18ℓ	㊦

会社名	商品名	色	容量・荷姿	備考
セメダイン(株)	ポリコーク	グレー	18ℓ 333mlカートリッジ	㊦
大日化成(株)	サンコーク	グレー	17ℓ	
	サンコークK	グレー, ブラウン	1/3ℓカートリッジ	
(株) タイルメント	アークシール S-700	グレー	320mlカートリッジ	
テイパ化工(株)	グレインコート	グレー	330mlカートリッジ 18ℓ	㊦
(株) 東亜応用化工	ポリシール#100	グレー, ブロンズ, 白	18ℓ 330mlカートリッジ	㊦
(株) 東郊産業	ハイシーラーハイコーク	グレー	17ℓ 330mlカートリッジ 500gチューブ 1kgチューブ	
日東ポリマー工業(株)	ニッターコーク100G	グレー	17ℓ 330mlカートリッジ, 他	
(株) 日本化学研究所	ニッカシール	グレー	18ℓ	
	ニッカシールカートリッジ	グレー	400mlカートリッジ	
日本添加剤工業(株)	ファインコーク	グレー	16.5ℓ缶 330mlカートリッジ	
(株) ノーベル樹脂化学	ニューコーク#101	グレー	26kg缶 330mlカートリッジ	㊦
(株) 服部商店	サンシール#101	グレー, 新茶, レンガ, 青	1/3ℓカートリッジ 17ℓ	㊦
三星産業(株)	三星コーキン	グレー	18ℓ 800mlチューブ 500mlチューブ 360mlカートリッジ	

新 基 材

変成ポリサルファイド系シーリング材

会社名	商品名	色	容量・荷姿	備考
三洋工業(株)	スリーコールC-320	グレー, ホワイト	320mlカートリッジ	
セメダイン(株)	ポリシール1 (ワン)	グレー, ホワイト	4ℓベール缶	1成分形
日東ポリマー工業(株)	パーマシール	ホワイト, アイボリー, グレー, ブラック, アンバー	330mlカートリッジ	1成分形



エビ印 エアー式 コーキング・ハツリシステム

PM-106M

ハツリ効率
3倍アップの
ハイパワー



小型・軽量(800g)
サッシまわりにも使用OK!

- コーキングチッパー CC-M
(空気消費量0.23m³/mm)
- チゼルMC-7・MC-12・MC-15
(刃幅7mm・12mm・15mm)

システム内容

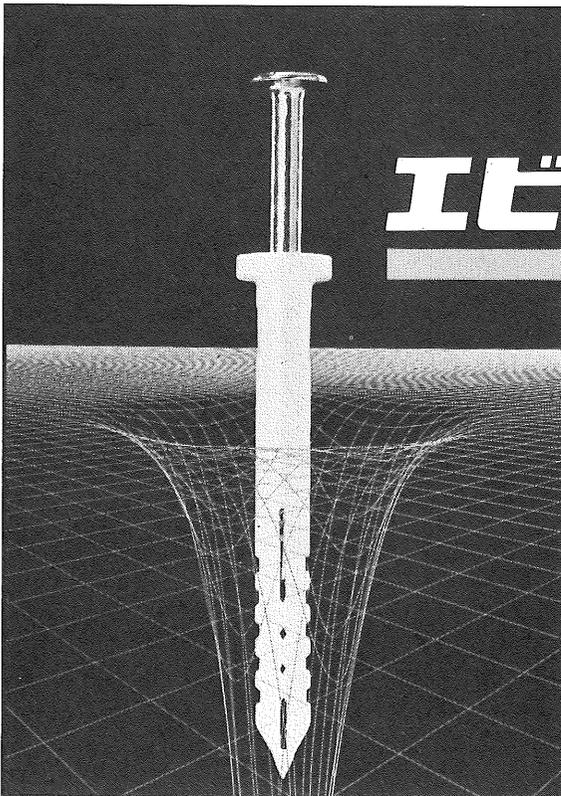
PM-106M…コーキングチッパーCCM・エアース・軽便グラインダー・
電源トリプルコード・コンプレッサー



日本理器株式会社

大阪営業本部 〒578 東大阪市中新開116-1 ☎0729(62)1601(代)
東京営業本部 〒175 東京都板橋区高島平2-6-4 ☎03(550)3671(代)

名古屋 ☎052(915)0431(代)
札幌 ☎011(251)5721
仙台 ☎022(284)5602
高松 ☎0878(61)6110
広島 ☎082(292)4422(代)
福岡 ☎092(431)0395(代)



打ち込んで
ガッチリ固定。



エビ印 ネイルフラク

NP5-35/6

スチール釘	NP4-25/5	ステンレス釘 (SUS×M7)	SNP4-25/5
	NP5-35/6		SNP5-35/6
	NP5-50/20		SNP5-50/20
	NP6-35/6		SNP6-35/6
	NP6-50/20		SNP6-50/20

防水シート・水切材施工に最適!!

ウエーブ溝で首下スリムな特殊ナイロン
スリーブは打ち込みやすく保持力強固。

日本理器株式会社

大阪営業本部 〒578 東大阪市中新開116-1 ☎(0729)62-1601(代)
東京営業本部 〒175 東京都板橋区高島平2-6-4 ☎(03)550-3671(代)

名古屋 ☎(052)915-0431(代) 高松 ☎(0878)61-6110
札幌 ☎(011)251-5721 広島 ☎(082)292-4422(代)
仙台 ☎(022)284-5602 福岡 ☎(092)431-0395(代)

委員会構成表

	(委員長)	(副委員長)
総務委員会	東レチオコール(株)	コニシ(株)
技術委員会	横浜ゴム(株)	サンスター技研(株) カネボウ・エヌエスシー(株) 信越化学工業(株)
広報委員会	日立化成ポリマー(株)	カネボウ・エヌエスシー(株)
調査委員会	サンスター技研(株)	世界長(株) 横浜ゴム(株)
検定委員会	セメダイン(株)	トーレ・シリコーン(株) 三洋工業(株)

分科会構成表

機能別分科会

	(リーダー)	(サブリーダー)
○弾性系1成分形分科会	セメダイン(株)	信越化学工業(株)
○弾性系2成分形分科会	サンスター技研(株)	横浜ゴム(株)
○非弾性系1成分形分科会	世界長(株)	日東ポリマー工業(株)

基材別分科会

	(リーダー)	(サブリーダー)
○シリコーン分科会	信越化学工業(株)	トーレ・シリコーン(株)
○変成シリコーン分科会	横浜ゴム(株)	サンスター技研(株)
○ポリサルファイド分科会	コニシ(株)	日本添加剤工業(株)
○ポリウレタン・ アクリルウレタン分科会	サンスター技研(株)	保土谷建材工業(株)
○アクリル・SBR分科会	日東ポリマー工業(株)	カネボウ・エヌエスシー(株)
○ブチルゴム・油性分科会	セメダイン(株)	昭石化工(株)
○変成ポリサルファイド分科会	三洋工業(株)	セメダイン(株)

日本シーリング工業会

会 員 名 簿

事務局所在地

〒 101 東京都千代田区外神田2-2-17 共同ビル 電話 03 (255) 2841

1. 正 会 員

42

会 社 名	所 在 地	郵便番号	電 話 番 号
アサヒボンド工業 (株)	東京都板橋区大谷口北町3-7	173	(03) 972 4929
(株) エーピーシー商会	〃 千代田区永田町2-12-14	100	(03) 507 7111
オート化学工業 (株)	〃 港区西新橋2-23-1 第3東洋海事ビル	105	(03) 437 3482
カネボウ・エヌエスシー (株)	大阪府箕面市船場西1-6-5 カネボウ千里ビル	562	(0727)28 4701
関西パテ化工 (株)	〃 東大阪市日下町3-7-36	579	(0729)82 2131
コニシ (株)	大阪市中央区平野町2-1-2 沢の鶴ビル	541	(06) 228 2970
サンスター技研 (株)	大阪府高槻市明田町7-1	569	(0726)81 0351
三洋工業 (株)	東京都江東区亀戸6-20-7	136	(03) 685 3452
サンライズメイセイ (株)	大阪府堺市浜寺石津町中1-4-7	590	(0722)44 7500
シャープ化学工業 (株)	〃 堺市築港浜寺西町13-12	591	(0722)68 0321
昭石化学工業 (株)	東京都渋谷区代々木1-11-2	151	(03) 320 2005
信越化学工業 (株)	〃 千代田区神田鍛冶町3-6-7 フジトシビル 5 F	101	(03) 256 3651
住友スリーエム (株)	〃 世田谷区玉川台2-33-1	158	(03) 709 8111
(株) スリーボンド	〃 八王子市狭間町1456	193	(0426)61 1333
世界長 (株)	兵庫県西宮市津門大箇町3-39	663	(0798)26 5724
セメダイン (株)	東京都品川区東五反田4-5-9	141	(03) 442 1341
大日化成 (株)	大阪府門真市末広町8-13	571	(06) 909 6755
(株) タイルメント	名古屋市中村区宿跡町1-58	453	(052)412 7321
武田薬品工業 (株)	大阪市中央区道修町2-3-6	541	(06) 204 2480
テイパ化工 (株)	〃 東淀川区下新庄3-11-28	533	(06) 328 1118
(株) 東亜応用化工	香川県坂出市室町1-3-32	762	(0877)46 2185
(株) 東郊産業	愛知県春日井市森山田町7	486	(0568)33 5118
東芝シリコン (株)	東京都港区六本木6-2-31 東日ビル	106	(03) 479 3501
トーレ・シリコン (株)	〃 中央区日本橋室町2-3-16 三井ビル6号館	103	(03) 246 1641
東レテオコール (株)	〃 中央区日本橋本石町3-3-16 日本橋室町ビル	103	(03) 241 1845
日興化学工業 (株)	〃 江東区白河4-9-5	135	(03) 642 7155
日東電工 (株)	〃 千代田区麴町5-7-2 第31森ビル	101	(03) 264 2101
日東ポリマー工業 (株)	兵庫県尼崎市大浜町2-5-1	660	(06) 418 7421
(株) 日本化学研究所	東京都中央区京橋1-6-13	104	(03) 564 5161
日本シーカ (株)	〃 大田区大森北2-4-18 東京建物大森ビル	143	(03) 767 9821
日本添加剤工業 (株)	〃 板橋区前野町1-21-5	174	(03) 965 5731
日本フランシール (株)	〃 港区赤坂1-9-20 第16興和ビル別館	107	(03) 587 4711
(株) ノーベル樹脂化学	埼玉県川口市東領家4-19-4	332	(0482)23 4511
バイエル合成シリコン (株)	東京都港区高輪4-10-8 京急第7ビル	108	(03) 280 9881
(株) 服部商店(淀支店)	京都市伏見区淀美豆町705	612	(075)631 3128
早川ゴム (株)	東京都江東区佐賀1-16-10	135	(03) 642 9434
日立化成ポリマー (株)	〃 千代田区内神田1-13-7 四国ビル	101	(03) 294 4501

保土谷建材工業(株)	東京都港区浜松町1-18-14 スバックスビル	105	(03) 437 9471
三井東庄化学(株)	〃 千代田区霞が関3-2-5 霞が関ビル	100	(03) 593 4700
三星産業(株)	〃 千代田区神田小川町3-28 三東ビル	101	(03) 292 1961
ヤマウチ(株)	大阪府枚方市招提田近2-7	573	(0720)56 1131
横浜ゴム(株)	神奈川県平塚市中原上宿900	254	(0463)31 3002

(1) 北海道支部 15

会社名	所在地	郵便番号	電話番号
(株) エービーシー商会	札幌市中央区南三条西13丁目 柴田ビル	060	(011)231 7904
オート化学工業(株)	〃 東区北15条東3丁目10-35 岩田商会内	065	(011)741 3302
カネボウ・エヌエスシー(株)	〃 中央区北一条東9丁目 潮物産(株)内	060	(011)261 8271
コニシ(株)	〃 西区琴似一条5丁目 札幌松井ビル	063	(011)612 0211
サンスター技研(株)	〃 中央区北一条西4丁目 札幌東邦生命ビル	060	(011)271 0392
三洋工業(株)	〃 白石区南郷通21丁目南5-31	003	(011)864 5155
シャープ化学工業(株)	〃 豊平区清田5条2丁目	061-01	(011)883 2489
信越化学工業(株)	〃 中央区北一条西5丁目 北一条ビル	060	(011)221 6471
世界界長(株)	仙台市小田原弓ノ町31 青葉商工第一ビル	983	(022)295 7051
セメダイン(株)	札幌市中央区北一条東9丁目	060	(011)261 1471
日本シーカ(株)	〃 中央区北二条西2丁目 加森ビル	060	(011)221 6331
日本添加剤工業(株)	〃 中央区北一条東9丁目 潮物産(株)内	060	(011)261 8271
保土谷建材工業(株)	〃 中央区北一条西5丁目 北一条ビル	060	(011)231 7618
三星産業(株)	〃 中央区南五条西24丁目	061	(011)551 3781
ヨコハマゴム工業品北海道販売(株)	〃 中央区大通東7丁目	060	(011)241 5111

(2) 仙台支部 //

会社名	所在地	郵便番号	電話番号
コニシ(株)	仙台市卸町1-6-15 卸町セントラルビル	983	(022)235 3178
サンスター技研(株)	〃 本町1-9-6 利根川ビル	980	(022)261 3391
三洋工業(株)	〃 扇町5-9-1	983	(022)232 5311
昭石化工(株)	〃 国分町2-2-8 ウェーブ88	980	(022)267 5319
信越化学工業(株)	〃 一番町4-6-1 仙台第一生命タワービル	980	(022)264 2777
(株)スリーポンド	〃 六丁の目西町8-8	983	(022)287 2905
世界界長(株)	〃 小田原弓ノ町31 青葉商工第一ビル	983	(022)295 7051
セメダイン(株)	〃 卸町2-12-14	983	(022)284 6167
日立化成ポリマー(株)	〃 一番町1-5-5 日立仙台別館	980	(022)227 8665
三星産業(株)	〃 本町1-3-20	980	(022)262 5201
ヨコハマゴム工業品東北販売(株)	〃 萩野町3-1-8	983	(022)284 0437

(3) 東京支部 27

会社名	所在地	郵便番号	電話番号
(株) エービーシー商会	東京都千代田区永田町2-12-14	100	(03) 507 7240
オート化学工業(株)	〃 港区西新橋2-23-1 第3東洋海事ビル	105	(03) 437 3482
カネボウ・エヌエスシー(株)	〃 千代田区平河町1-3-13 菱進平河町ビル	102	(03) 221 2384
コニシ(株)	〃 中央区日本橋室町4-1-21	103	(03) 245 6941
サンスター技研(株)	〃 港区三田1-3-35 ヤナバビル	108	(03) 453 9301
三洋工業(株)	〃 江東区亀戸6-20-7	136	(03) 685 2101
サンライズメイセイ(株)	横浜市神奈川区三枚町299-5	221	(045)383 4651
シャープ化学工業(株)	東京都江東区東陽5-26-1 小川ビル	135	(03) 649 8103
昭石化工(株)	〃 渋谷区代々木1-11-2	151	(03) 320 2005
信越化学工業(株)	〃 千代田区神田鍛冶町3-6-7 フジトシビル	101	(03) 256 3651
世界界長(株)	〃 渋谷区道玄坂2-10-7 新大宗ビル	150	(03) 462 5161
セメダイン(株)	〃 品川区東五反田4-5-9	141	(03) 442 1341
テイパ化工(株)	〃 港区新橋6-10-3 遠江ビル	105	(03) 431 9357
東京ハマタイト(株)	〃 港区芝浦2-13-7 宇徳田町ビル	108	(03) 769 3111

東レチオコール (株)	東京都中央区日本橋本石町3-3-16 日本橋室町ビル	103	(03) 241 1845
日興化学工業 (株)	〃 江東区白河4-9-5	135	(03) 642 7155
日東電工 (株)	〃 千代田区麴町5-7-2 第31森ビル	101	(03) 295 4441
日東ポリマー工業 (株)	〃 千代田区外神田2-2-17 共同ビル	101	(03) 255 6338
(株) 日本化学研究所	〃 中央区京橋1-6-13	104	(03) 564 5161
日本シーカ (株)	〃 大田区大森北2-4-18 東京建物大森ビル	143	(03) 436 4131
日本添加剤工業 (株)	〃 板橋区前野町1-21-5	174	(03) 965 5731
(株) ノーベル樹脂化学	埼玉県川口市東領家4-19-4	332	(0482)23 4511
早川ゴム (株)	東京都江東区佐賀1-16-10	135	(03) 642 9430
日立化成ポリマー (株)	〃 千代田区内神田1-13-7 四国ビル	101	(03) 294 4501
保土谷建材工業 (株)	〃 港区浜松町1-18-14 スバックスビル	105	(03) 437 9471
三井東圧化学 (株)	〃 千代田区霞が関3-2-5 霞が関ビル	100	(03) 592 4697
三星産業 (株)	〃 千代田区神田小川町3-28 三東ビル	101	(03) 292 1961

(4) 名古屋支部 17

会社名	所在地	郵便番号	電話番号
カネボウ・エヌエスシー (株)	名古屋市市中村区名駅4-17-19 鐘紡ビル	450	(052)583 8606
コニシ (株)	〃 西区菊井2-6-5	451	(052)563 6551
サンスター技研 (株)	〃 千種区萱場町2-4-7 サンスタービル	464	(052)722 6815
三洋工業 (株)	〃 緑区鳴海字母呂後26	458	(052)623 0061
サンライズメイセイ (株)	〃 名東区一社3-90 チサンビル202号	465	(052)703 2061
昭石化工 (株)	〃 中区丸の内1-17-19 長銀ビル	460	(052)231 6568
信越化学工業 (株)	〃 中村区名駅4-27-23 新名古屋三井ビル東館 4 F	450	(052)581 6511
世界長 (株)	〃 東区矢田町8-20	461	(052)722 3301
セメダイン (株)	〃 千種区井上町34	464	(052)781 3166
テイパ化工 (株)	大阪市東淀川区下新庄3-11-28	533	(06) 328 1118
(株) 東郊産業	愛知県春日井市森田町7	486	(0568)33 5118
日本シーカ (株)	名古屋市千種区内山3-10-17 今池セントラルビル	464	(052)733 7353
日本添加剤工業 (株)	〃 中村区太閤通り2-40 フタバビル	453	(052)451 8632
(株) 服部商店	〃 中区丸の内2-18-1	460	(052)221 9461
日立化成ポリマー (株)	〃 中村区名駅南1-24-21 名古屋三井ビル別館 5 F	450	(052)581 2967
保土谷建材工業 (株)	〃 中区錦1-17-13 名興ビル	460	(052)231 7225
横浜ゴム (株)	〃 中区錦1-17-13 名興ビル 3 F	460	(052)231 4321

(5) 大阪支部 22

会社名	所在地	郵便番号	電話番号
(株) エービーシー商会	大阪市淀川区西中島4-2-9	532	(06) 305 1181
カネボウ・エヌエスシー (株)	大阪府箕面市船場西1-6-5 カネボウ千里ビル	562	(0727)28 4701
コニシ (株)	大阪市中央区平野町2-1-2	541	(06) 228 2961
サンスター技研 (株)	大阪府高槻市川西町1-35-8	569	(0726)84 0600
サンライズメイセイ (株)	〃 堺市浜寺石津町中1-4-7	590	(0722)44 7500
シャープ化学工業 (株)	〃 堺市築港浜寺西町13-12	591	(0722)68 0321
昭石化工 (株)	大阪府北区梅田2-4-9 サンケイビル	530	(06) 341 6395
信越化学工業 (株)	〃 北区小松原町2-4 富国生命ビル	530	(06) 315 3071
世界長 (株)	兵庫県西宮市津門大箇町8-39	663	(0798)26 5724
セメダイン (株)	大阪市中央区島之内1-15-14	543	(06) 251 3555
大日化成 (株)	大阪府門真市末広町8-13	571	(06) 909 6755
武田薬品工業 (株)	大阪市中央区道修町2-3-6	541	(06) 204 2481
テイパ化工 (株)	〃 東淀川区下新庄3-11-28	533	(06) 328 1118
(株) 東亜応用化工	香川県坂出市室町1-3-32	762	(0877)46 2185
日東ポリマー工業 (株)	兵庫県尼崎市大浜町2-5-1	660	(06) 418 7421
日本シーカ (株)	大阪府北区野崎町7-8 梅田パークビル	530	(06) 315 7851
日本添加剤工業 (株)	〃 西区江戸堀1-5-13 大阪新日本会館ビル	550	(06) 443 6231
(株) 服部商店	京都市伏見区淀美豆町705	613	(075)631 3128
日立化成ポリマー (株)	大阪市中央区北浜3-5-29 日生日立ビル	541	(06) 202 6341

保土谷建材工業(株)	大阪市中央区高麗橋4-2-7	541	(06) 203 4651
ヤマウチ(株)	〃 淀川区西中島4-3-2 新大阪丸正ビル	532	(06) 301 3336
横浜ゴム(株)	〃 北区堂島1-5-17 堂島グランドビル	530	(06) 345 1425

(6) 広島支部 13

会社名	所在地	郵便番号	電話番号
(株) エービーシー商会	広島市中区小町8-3 モントレビル	730	(082)243 3096
カネボウ・エヌエスシー(株)	〃 中区舟入幸町8-11 サンケイハイム	730	(082)249 6615
コニシ(株)	〃 西区上天満町3-14 渋谷ビル	733	(082)294 8811
サンスタージャパン(株)	〃 西区商工センター5-15-25	733	(082)277 8444
三洋工業(株)	〃 東区曙町4-50	730	(082)261 9321
サンライズメイセイ(株)	〃 西区三篠町3-20-19 中川ビル1 F	733	(082)230 0019
信越化学工業(株)	〃 中区中町7-32 日本生命広島ビル	730	(082)248 3931
世界長(株)	〃 中区江波本町15-33	730	(082)295 0371
セメダイン(株)	〃 中区鶴見町12-13 昇和ビル	730	(082)249 0941
日本シーカ(株)	大阪市北区野崎町7-8 梅田パークビル	530	(06) 315 7851
日本添加剤工業(株)	〃 西区江戸堀1-5-13 大阪新日本会館ビル	550	(06) 443 6231
(株) 服部商店	京都市伏見区淀美豆町705	613	(075)631 3128
横浜ゴム(株)	広島市中区鉄砲町5-16 広島サンケイビル9 F	730	(082)227 8105

(7) 福岡支部 15

会社名	所在地	郵便番号	電話番号
カネボウ・エヌエスシー(株)	福岡市中央区大手門3-7-9	810	(092)752 0024
コニシ(株)	〃 南区清水3-24-19	815	(092)551 1761
サンスタージャパン(株)	〃 博多区店屋町8-24 九勸日産ビル	812	(092)281 3581
三洋工業(株)	〃 博多区大字板付866	816	(092)581 3438
サンライズメイセイ(株)	福岡県宗像郡福岡町字長引3464 桜井ビル	811-32	(0940)43 2254
昭石化工(株)	福岡市博多区綱場町2-2 福岡第1ビル	812	(092)291 0008
信越シーラント(株)	〃 中央区天神1-12-20 日之出東京海上ビル	810	(092)781 2782
世界長(株)	〃 博多区博多駅東2-8-26 第3白水駅東ビル	812	(092)474 5582
セメダイン(株)	〃 中央区大手門1-9-22 大手門ビル	810	(092)741 7188
テイパ化工(株)	大阪市東淀川区下新庄3-11-28	533	(06) 328 1118
日本シーカ(株)	福岡市博多区博多駅前3-19-14 ビーエスビル博多	812	(092)472 1684
日本添加剤工業(株)	大阪市西区江戸堀1-5-13 大阪新日本会館ビル	550	(06) 443 6231
日立化成ポリマー(株)	福岡市中央区天神1-14-16 三栄ビル	810	(092)712 4243
保土谷建材工業(株)	〃 中央区大名2-9-25 わこうビル	810	(092)751 3506
ヨコハマゴム工業品九州販売(株)	〃 中央区薬院1-7-4	810	(092)711 8541

2. 賛助会員

(1) 日本シーリング工業会賛助会員 22

会社名	所在地	郵便番号	電話番号
旭化成工業(株)	東京都千代田区有楽町1-1-2 日比谷三井ビル	100	(03) 507 2957
(株) 井上製作所大阪支店	大阪市淀川区三津屋南3-6-20	532	(06) 301 2637
(株) 小野田	東京都台東区上野5-15-14 御徒町CYビル8 F	110	(03) 837 0912
化研マテリアル(株)	〃 港区西新橋3-8-1 第2鈴丸ビル	105	(03) 436 3011
鐘淵化学工業(株)	〃 港区元赤坂1-3-12 赤坂センタービル	107	(03) 479 9675
(株) 菅野製作所	〃 北区志茂3-3-26	115	(03) 903 3140
光栄商事(株)	〃 練馬区上石神井1-20-6	177	(03) 928 5811
(株) 芝浦製作所機工事業部	〃 港区赤坂1-1-12 溜池明産ビル	107	(03) 586 2113
白昭和丸筒	大阪府北区堂島浜1-4-19 日土地堂島ビル8 F	530	(06) 345 3751
(株) 新和商會	東京都中央区日本橋茅場町1-11-3 岡本ビル	103	(03) 639 5066
(株) 新和商會	〃 荒川区西日暮里2-24-14	116	(03) 803 1411
大進商工(株)	〃 北区東十条3-13-9	114	(03) 912 8447
(株) ダイフレックス	〃 千代田区平河町2-4-16 平河中央ビル	102	(03) 230 4311

タカビシ化学(株)	大阪市中央区平野町1-2-4	541	(06) 231 8751
(株)日本カーテンウォール工業会	東京都港区南青山5-11-2 共同ビル(南青山)	107	(03) 409 6981
日本バックアップ工業(株)	〃 中野区中央1-10-5	164	(03) 369 0215
日本ポリウレタン工業(株)	〃 港区虎ノ門1-2-8 虎ノ門琴平会館	105	(03) 508 0621
日本触媒化学工業(株)	〃 港区三田3-11-36 三田日東ダイビル	108	(03) 798 7071
野口興産(株)	〃 練馬区豊玉北2-10	176	(03) 994 5601
(株)野村事務所	〃 港区西新橋1-1-15 物産ビル別館	105	(03) 502 1468
フヨ一(株)	〃 墨田区業平5-5-6	130	(03) 626 3371
ミキスタ工業(株)	〃 中央区日本橋蠣殻町1-33-7	103	(03) 669 9471

(2) 日本シーリング工業会大阪支部賛助会員

会社名	所在地	郵便番号	電話番号
大阪御国商事(株)	茨木市横江2-1-12	567	(0726) 34 8214
鐘淵化学工業(株)	〃 北区中の島3-2-4 朝日新聞ビル	530	(06) 226 5330
鐘工工業(株)	〃 都島区高倉町1-11-12	534	(06) 921 4231
岸田資材工業(株)	神戸市兵庫区中道通り5-1-13	652	(078) 575 2953
(株)旭栄	大阪市北区天神橋1-1-1 中塚ビル	530	(06) 354 0356
三省物産(株)	〃 中央区南船場4-1-9	542	(06) 252 5541
白石工業(株)	兵庫県尼崎市元浜町4-78	660	(06) 417 3131
(株)ジャビコ	大阪市北区梅田2-4-9 サンケイビル本館	530	(06) 345 6871
竹原化学工業(株)	〃 北区梅田1-12-17 梅田ビル	530	(06) 343 0591
(株)野村事務所	〃 中央区南船場4-12-8 関西心齋橋ビル	542	(06) 243 0341
フヨ一(株)	〃 淀川区宮原5-6-10	532	(06) 395 0201
(株)前田精市商店	〃 中央区道修町1-4-14	541	(06) 203 4641
三国金属工業(株)	大阪府豊中市豊南町西4-7-20	561	(06) 332 0251
(株)宮崎	大阪市中央区平野町3-4-9	541	(06) 231 5891
モリシタ化学産業(株)	〃 天王寺区勝山通り1-6-7	543	(06) 771 3929
(株)山本製作所	〃 阿倍野区松崎町2-7-10	545	(06) 623 5170
ヨコハマゴム工業品関西販売(株)	〃 西区京町堀1-17-16 スミトー京町堀ビル	550	(06) 446 6701

真空脱泡攪拌機

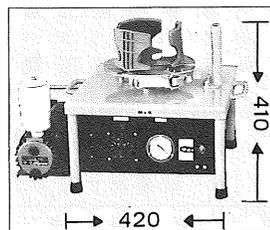
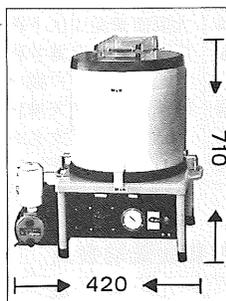
小型、**33kg** (本体)
軽量

ボーク

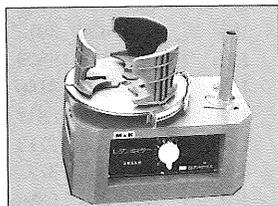
〔誕生〕

- 真空ポンプ…100ℓ/分
- 電源…AC100V (アースコンセント付)

価格 **39万円**



シーリング材専用攪拌機



NEW レジンミキサー (誕生)

- 自動反転型
- 正転型

小型、軽量 **13.5kg**

〈改質利点〉

- タイマーノブにストッパ取付、ノブの回転オーバーによる故障の解消。
- 操作盤の傾斜、及びタイマー位置の変更で、操作がし易くなりました。
- ホルダーは樹脂性のため弾力性があり、缶の密着が良く、すべりません。

エムアンドゲー株式会社

本社 / 〒459 名古屋市緑区大高町川添51 TEL052(621)3100・FAX052(621)0030

東京営業所 / TEL03(491)7500・FAX03(491)7510 大阪営業所 / TEL06(339)0133・FAX06(339)0122

日本シーリング工事業 団体連合会の歩み

山本 勇

私たちの団体略称は、日シ工連と呼称いたします。組織形態は全国を七地区にわけ、各地区に地区団体を置き、東京本部において総括運営いたしております。目的は全国会員会社の技術、技能のレベルアップを目指す教育事業の推進と、企業力安定のための団結力の醸成にあります。昭和44年4月に、メーカー団体である日本シーリング工業会（略称日シ工）の施工部会より材工体制の確立を目指し、同工業会の協力のもとに施工業者のみの独立団体を結成誕生させたのが始まりであります。爾来、現今に至るまで、各地区団体を指導し、昭和53年12月、東北地区を包括することで全国組織の体制作りを完了したわけがあります。現在は、事業目的達成の目標に邁進中で、材工一体の協調精神をもって、日シ工の援助を得て活動しております。シーリング管理士と防水技能士の確保は、業界発展の基となるべきものと信じておりますので、関連業界皆様の理解とご支援を切にお願い申し上げ、ご挨拶といたします。

（日本シーリング工事業団体連合会会長）

日本シーリング工事業団体連合会

本 部 〒105 東京都港区浜松町1-11-11 康進ビル4F
電話 03(432)5738 FAX.03(459)9575

“責任施工と保証の確立”

シーリング防水施工の発注は優秀な技術管理（シーリング管理士）と国家認定技能（防水技能士）を持つ、下記所属団体会員へ。

北海道地区 北海道シーリング工事業協会	近畿地区 関西シーリング工事業協同組合
住 所 〒064 札幌市中央区北2条東2-1 浜野ビル 電 話 011(251)3364	住 所 〒550 大阪市西区新町1-8-1 諏訪ビル 電 話 06(531)8107
東北地区 東北シーリング工事業協会	中国地区 中国シーリング工事業協会
住 所 〒989-41 宮城県志田郡鹿島台町広長字深田4 懶旭シーリング内 電 話 0229(56)3531	住 所 〒730 広島市中区宝町8-26 ㈱マルエス工業内 電 話 082(243)7474
関東地区 東日本シーリング工事業協同組合	四国地区 四国シーリング工事業協同組合
住 所 〒135 東京都江東区深川2-15-23 小泉ビル 電 話 03(641)9561	住 所 〒790 松山市二番町4-1-5 愛媛県建築士会館5F 電 話 0899(47)2300
中部地区 中部シーリング工事業協同組合	九州地区 九州シーリング工事業協同組合
住 所 〒460 名古屋市中区丸の内1-2-28 吉村ビル4F 電 話 052(201)7086	住 所 〒810 福岡市中央区桜坂2-1-3 荒川ビル21号 電 話 092(781)5660・5676

日本シーリング工事業団体連合会

会 員 名 簿

本部・支部所在地

事 務 局	所 在 地	郵便番号	電 話 番 号
本 部	東京都港区浜松町1-11-11 康進ビル4 F	105	(03) 432 5738
北海道シーリング工事業協会	札幌市中央区北2条東2-1	064	(011)251 3364
東北シーリング工事業協会	仙台市扇町1-3-6 (株)丸本工業所内	983	(022)284 6662
東日本シーリング工事業協同組合	東京都江東区深川2-15-23 小泉ビル内	135	(03) 641 9561
中部シーリング工事業連合会協同組合	名古屋市中区丸の内1-2-28 吉村ビル4 F	451	(052)201 7086
愛知県シーリング工事業協同組合	同上	同上	同上
関西シーリング工事業協同組合	大阪市西区新町1-8-1 諏訪ビル内	550	(06) 531 8107
中国シーリング工事業協会	広島市西区中広町3-17-16 (株)サンゼオン内	733	(082)291 1631
四国シーリング工事業協同組合	松山市2番町4-1-5 愛媛県建築士会館5 F	790	(0899)47 2300
九州シーリング工事業協同組合	福岡市中央区桜坂2-1-3 荒川ビル21号	812	(092)781 5660

1. 北海道シーリング工事業協会々員

会 社 名	所 在 地	郵便番号	電 話 番 号
柏 工 建 (株)	旭川市神楽岡6条3丁目	078	(0166)65 0121
(株)片岡コーキング	札幌市西区西野9条5-8-3	063	(011)664 1488
(株)カトウシーリング工業	〃 北区屯田4条8-1-5	001	(011)772 3377
(株)北日本コーキング	苫小牧市しらかば町2-4-5	053	(0144)73 4697
(株)協栄シール	〃 緑町1-24-8	053	(0144)33 6256
熊 谷 興 業 (株)	札幌市北区篠路9条3-5-6	002	(011)771 9381
(株)光建シール	〃 南区川沿1条2-4-7	005	(011)572 0820
(株)互建防水工業	帯広市西10条南11丁目2	080	(0155)25 5776
(有)札幌コーキング	札幌市豊平区月寒東2条20丁目	004	(011)851 3782
佐 藤 研 究 所	函館市時任町22-13	040	(0138)51 3586
サ ン 美 工 (有)	旭川市北門町20丁目	070	(0166)52 3309
(株)スズケン興業	〃 東光5条6-188	078	(0166)31 8902
セイコー技建(株)	札幌市東区北34条東17丁目2-4	065	(011)783 2830
(有)セントラル・ビル・サービス	釧路市材木町14-28	085	(0154)41 1010
(有)第一コーキング工業	札幌市白石区菊水1条2丁目	003	(011)812 9121
第一ブロック建設(株)	北見市南町1-8-33	090	(0157)23 4155
(有)タケイチ工業	札幌市北区新川593-63	001	(011)764 2884
(株)中央コーキング	〃 豊平区西岡1条10-334	062	(011)854 0222
(有)トーケン工業	砂川市宮川町1-6	073-01	(01255)4 2843
東 邦 興 業 (株)	札幌市北区篠路7条6-5-27	002	(011)772 3272
道北シール工業(株)	旭川市神居8条13丁目1-4	070	(0166)62 5088
中 田 工 業 (株)	千歳市北栄1丁目17-8	066	(0123)23 3960
中林防水工業(株)	帯広市西17条北1-14	080	(0155)35 6800
(株)日 研	札幌市豊平区平岸1条2丁目	062	(011)841 6101
函館イーシー工業(株)	函館市高松町129-29	042	(0138)59 5385
(株)馬場工業	〃 本通4丁目31-18	041	(0138)53 2260
(株)浜 建	札幌市中央区北3条東5-5	060	(011)261 5676
フタバ工業(株)	〃 中央区北2条東10-15 すずかけビル	060	(011)231 0046
北星シール工業(株)	〃 白石区本通り6丁目北28	003	(011)863 5226

(有) 北斗美装工業	砂川市西3条北2丁目	073-01	(01255)2	2918
北洋コーキング(株)	札幌市白石区中央2条4丁目 勝見コーポ112	003	(011)821	7947
北海コーキング(株)	// 白石区北郷4条6丁目7-12	003	(011)871	0721
北海道サン工業(株)	// 中央区北2条東9丁目	060	(011)251	3648
北海道タイホー(株)	// 東区北20条東2-15-41	065	(011)731	6351
北海道防水工業(株)	旭川市末広町3条7丁目	071	(0166)57	2163
北眺防水工業(株)	札幌市豊平区北野7条4-1-13	004	(011)882	5987
山川工業(有)	函館市榎本町14-1	042	(0138)57	1870
(株) ヤマト工業	札幌市豊平区御園1条6丁目	062	(011)812	6347

2. 東北シーリング工事業協会々員 36

会社名	所在地	郵便番号	電話番号
(株) 旭シーリング	宮城県志田郡鹿島台広長字内之浦21-12	989-41	(0229)56 4305
(有) 旭日産業	仙台市下愛子字原4-1	989	(022)392 6122
(有) 旭防水工業	名取市増田3-2-20	981-12	(022)382 2814
青葉エービーシー建販(株)	仙台市大町2-15-24	980	(022)265 3051
大島金属商事(株)	// 名掛丁15-24	980	(022)291 2288
(有) 進建シーリング工業	// 若林1-10-23	982	(022)286 1423
仙台高分子工業(株)	// 青山2-27-9	982	(022)229 5102
中外商工(株)東北支店	// 台原4-7-20	980	(022)271 2171
トップ工業(株)	// 新寺3-4-31	980	(022)257 5023
東北化研工業(株)	// 中倉3-18-16	982	(022)236 1802
(有) 東北シール工業	// 袋原字台93-10	982	(022)241 1269
(株) 久光商会	// 八木山本町2-32-18	982	(022)229 6560
(有) 丸伊工業所	泉市南光台南2-11-10	983	(022)252 1971
(株) 丸本工業所	仙台市扇町1-3-6	983	(022)284 6662
(有) 我妻工業所	// 鉤取3-4-13	982	(022)244 5544
郡山シーリング(株)	郡山市富久山町久保田字前田40-2	963	(0249)33 4212
(株) 光信工業	いわき市下荒川字剱町32-43	970	(0246)28 1200
(有) 氏家樹脂防水工業	福島県伊達郡桑折町大字南半田字鍛冶屋沢16	969-16	(0245)82 5056
(株) 郡山医療機器製作所	郡山市大町2-16-17	963	(0249)32 1858
紺野工業	いわき市泉町滝尻字泉町58	970-04	(0246)56 0379
(有) タダキシール工業	福島市吉倉字谷地48-1	960	(0245)46 5222
福島防水(株)	郡山市鳴神1-39	963	(0249)51 5612
(有) 渡辺防水	// 富田町字下堰1-11	963	(0249)52 0553
イトウ防水工業(株)	米沢市城南3-3-10	992	(0238)23 8321
奥羽シーリング工業	山形市大字沼木121-64	990	(0236)44 0632
(有) 泉クリナー	盛岡市神子田9-26	020	(0196)51 4726
小山商店	// 上堂1-19-9	020-01	(0196)46 9162
(有) 秋田コーキングセンター	秋田市四ッ小屋船場前50-53	010	(0188)39 1297
(有) 環清工業	湯沢市字砂田95-1	012	(01837)2 0038
東北化工(株)	秋田県鹿角郡小坂町上谷地47-18	017	(018629) 2349
三國工業(有)	秋田市土崎港相染町中谷地36-6	011	(0188)45 7576
(株) 井村工業	青森市大矢沢字里見502	030	(0177)38 5042
(有) 池田防水工業	八戸市新湊1-15-4	031	(0178)31 3246
(有) 興伸総業	青森市三内字里見86-13	030	(0177)82 5800
(有) シーリングタナカ	三沢市大字三沢字下沢20-24	033	(0176)57 1643
桜シーリング工業	弘前市向外瀬字木伏610-11	036	(0172)35 3750

3. 東日本シーリング工事業協同組合員 59

会社名	所在地	郵便番号	電話番号
アルファ産業(株)	東京都浜松町1-11-11	105	(03) 432 5735
(有) 石黒建材社	// 杉並区阿佐谷北5-12-2	166	(03) 338 0905
(株) 石田シール工業	新潟市下場新町20-12	950	(0252)76 5991
伊藤建材(株)	東京都台東区西浅草2-15-9	111	(03) 842 1431

井上建設(株)	東京都北区豊島2-20-13	114	(03) 919 9420
内倉工業(株)	〃 練馬区上石神井4-9-6	177	(03) 928 0386
木元工業(株)	埼玉県志木市下宗岡4-31-6	353	(0484)73 8851
協和シーリング工事(株)	栃木県宇都宮市若草町字宮の関2647-22	320	(0286)24 7072
(株)栗崎工業	東京都葛飾区西亀有2-56-6	124	(03) 620 4901
クニ化学防水(株)	〃 中野区中央1-51-6 クニ防水ビル	164	(03) 362 9321
グローリー防水工業(株)	〃 江戸川区春江町2-34-1	132	(03) 678 4512
京葉シール(株)	〃 墨田区緑4-13-8	130	(03) 631 0106
光栄工業(株)	〃 練馬区上石神井1-20-5	177	(03) 928 2271
(株)工業技術研究所	〃 文京区本郷2-12-6	113	(03) 811 4421
興進工業(株)	〃 新宿区西新宿8-14-19 小林第2ビル	160	(03) 363 8741
山栄興業(株)	〃 渋谷区恵比寿1-13-10 恵比寿壺番館301	150	(03) 443 3321
三協防水(株)	〃 千代田区内神田3-4-9 上田ビル3F	101	(03) 251 6476
三和工業(株)	千葉県市川市相ノ川1-20-20	272-01	(0473)57 5153
(株)ジックスト	東京都渋谷区代々木1-30-1 代々木パークビル	151	(03) 370 0121
シーラント	〃 豊島区東池袋3-5-7 ユニオンビル203号	170	(03) 981 7266
清新工業堂	〃 杉並区荻窪5-1-14 秋山ビル201	167	(03) 392 8621
(株)新起工業	〃 昭島市玉川町5-15-17	196	(0425)46 5311
タイガー工業(株)	〃 品川区戸越5-17-13	142	(03) 783 0151
大栄建材(株)	〃 板橋区板橋3-30-5	173	(03) 964 1901
(株)大栄興業	〃 練馬区東大泉5-41-28	178	(03) 925 3106
(有)泰成工業	長野市青木島町大塚1053-3	381-22	(0262)86 4290
大和興業(株)	東京都大田区池上7-30-5	146	(03) 758 0342
高萩興業(株)	〃 江戸川区西小岩5-4-11	133	(03) 650 5261
田代工業(株)	〃 練馬区大泉学園町5-17-23	177	(03) 925 0711
中央建材工業(株)	〃 中央区銀座7-14-3 安田松慶ビル	104	(03) 543 8106
東邦シール(株)	〃 文京区春日2-1-5	112	(03) 815 3047
(株)トーホー・テクニカ	〃 中央区新川1-5-19 茅場町第一長岡ビル2F	104	(03) 297 3861
(株)東邦レジナ	〃 練馬区中村北2-20-10	176	(03) 926 0007
(株)トミヨシ商会	〃 大田区南馬込5-33-7	143	(03) 775 2203
日本ビソー(株)外装工事部	〃 杉並区方南2-4-6	168	(03) 313 1281
日本防水工業(株)	〃 練馬区富士見台4-43-5	177	(03) 998 8721
パシフィック開発建工(株)	〃 港区新橋5-14-2 鈴工ビル2F	105	(03) 437 0720
平沢コーキング工業(株)	新潟県長岡市前島町237	940-11	(0258)23 1529
ビルコン(株)	東京都文京区千駄木3-42-5	113	(03) 823 6061
北斗工業(株)	埼玉県上福岡市大字駒林680	356	(0492)61 2398
細田工業(株)	東京都港区芝大門2-1-8	105	(03) 432 8731
(株)マコト	〃 台東区台東1-6-3 東神ビル	110	(03) 834 6696
マサル工業(株)	〃 江東区佐賀1-9-14	135	(03) 643 5911
(株)マツダパラウオータ	〃 杉並区高円寺北3-31-15	166	(03) 330 9312
三矢興産(株)	〃 品川区戸越3-11-6	142	(03) 787 0360
(株)山形防水	〃 渋谷区幡ヶ谷2-21-1	151	(03) 377 3481
理建工業(株)	〃 墨田区太平4-22-4	130	(03) 622 4081
瀝青建材(株)	〃 千代田区神田佐久間町2-4	101	(03) 861 2706
レミントン工業(株)	埼玉県大宮市大和田町1-1500-2	330	(0486)83 0161
(株)アートシーリング	東京都渋谷区東2-27-4	150	(03) 406 7535
池田防水工業(株)	〃 江戸川区中央3-13-15	132	(03) 655 6770
吉田建設工業(株)	〃 港区六本木6-9-12	106	(03) 403 0851
(有)トミタ	〃 東久留米市下里7-7-4	203	(0424)73 9237
永福産業(株)	〃 昭島市昭和町4-11-24	196	(0425)45 0053
(株)栄和シーリング工事	〃 調布市西つつじヶ丘3-15-3	182	(0424)88 1654
(有)シグマ	〃 文京区本郷2-40-13	113	(03) 814 3704
(株)第一興産	〃 新宿区西新宿8-2-20	160	(03) 363 9918
拓友防水工業(株)	〃 新宿区新宿1-18-15	160	(03) 350 6252
武蔵工業(株)	〃 東大和市向原2-1047-4	189	(0425)64 5521

4. 中部シーリング工事業連合会々員 68

会 社 名	所 在 地	郵便番号	電 話 番 号
(有) あいさんブルーフ	津島市申塚町1-89	496	(0567)24 2004
愛知トヨタ興業(株)	名古屋市長和区高辻6-8	466	(052)871 1651
朝日建物(株)	金沢市泉が丘2-9-3	921	(0762)42 1281
(有) 朝日コーキング	名古屋市中区西八筋町347	452	(052)502 8935
(有) 石原コーキング興業	小松市村松町19	923	(0761)43 2201
石動コーキング(株)	富山市柳町4-1-9	930	(0764)33 8966
石渡産業(株)	沼津市神田町6-3	410	(0559)21 6061
(有) 市川防水	小牧市大字北外山宮ノ腰56-1	485	(0568)72 0587
(有) 大久保コーキング	春日井市如意申町字丸山878-1	486	(0568)31 8775
大村商事(株)	静岡県榛原郡吉田町神戸3852-1	421-03	(05483)2 2486
加賀防水工業(株)	金沢市増泉4-10-22	921	(0762)42 1494
掛川シーリング工業	掛川市垂木2002-6	436-02	(05372)4 0283
(有) 加藤防水工業	名古屋市中区東区延珠町802	465	(052)771 6691
北川防水工業所	〃 中区新栄2-48-11	460	(052)241 7628
(株) 栗原栄	金沢市増泉3-7-1	921	(0762)42 5101
(株) 三栄コーキング	名古屋市中区北区志賀本通2-24	462	(052)981 2134
(有) サン・シーリング工業	一宮市松降1-3-11	491	(0586)24 1840
三信工業(株)	富山市飯野134	930	(0764)51 1511
三信建材工業(株)	静岡市曲金1-9-53	422	(0542)83 2180
(株) 志水化工	豊橋市鴨田町52-1	440	(0532)45 8211
(株) 静岡コーキング工業	名古屋市中区西區稲生町3-37-1	451	(052)531 5295
清水シール工業	静岡市西島473-1	422	(0542)81 1618
(株) シリコンエンジニア	清水市横砂西町1-12	424	(0543)63 0915
(株) シンコー工業	名古屋市中区東区上社3-102	465	(052)703 6181
(有) 新静岡シーリング	清水市北脇新田328-1	424	(0543)46 7859
関シーリング工業	静岡市敷地2-18-18	422	(0542)37 2086
(有) 第一防水	富士市天間1461-2	419-02	(0545)71 8518
大栄工業(株)	名古屋市中村区中町3-45	453	(052)482 1654
大信工業(株)	焼津市石脇上133-2	425	(05462)7 9400
(株) 高坂工業	愛知県海部郡甚日寺町山の浦65	490-11	(052)442 5775
隆志建工業(株)	名古屋市中村区五反城町4-31	453	(052)412 0857
タナカ工業(株)	愛知県西春日井郡師勝町大字六ッ師500	481	(0568)21 0794
中央建材工業(株)	伊勢市上地町2677-1	516	(0596)23 3113
長陽装業(有)	名古屋市中千種区高見1-6-1	464	(052)761 6181
津田硝子(株)	長野県下伊那郡上郷町飯沼349-1	395	(0265)24 0378
(有) ツカコシ商工	名古屋市中村区一ツ山1-2	468	(052)801 1195
(株) 東海工事	浜松市白羽町2676	430	(0534)41 2273
東海物産(株)	豊橋市岩屋町字岩屋下33-13	440	(0532)62 7614
(有) 中村コーキング工業	名古屋市中千種区若水3-20-23	464	(052)721 2211
(株) 中村コーキング店	静岡県掛川市家代49-1	436-02	(05372)3 1184
(株) ナカムラシール	名古屋市中千種区車田町2-8	466	(052)731 5059
(有) 名西商会	浜松市市野町933-1	433	(0534)33 2434
(有) 西村工研	愛知県西春日井郡清洲町新清洲6-5-1	452	(052)409 4629
日満防水工業(株)	静岡市広野2-5-32	421-01	(0542)58 7537
日精工業(株)	犬山市字角池57-3	484	(0568)67 1810
(株) 日本ビルサービス	金沢市新保本1-465	921	(0762)40 1101
(株) ノダキ	富山県砺波市三郎丸313	939-13	(07633)3 1202
(有) 浜松シーリング工業	名古屋市中千種区名駅3-10-26	450-91	(052)561 4371
(株) ビルドサービス東海	浜松市長鶴町177-1	435	(0534)64 3839
(株) ビルメン	静岡県浜名郡可美村増楽1481	432	(0534)48 4711
不二化成(株)	名古屋市中千種区苗田町16	462	(052)901 1801
フジ工業(株)	清水市鳥坂327	424	(0543)45 7281
不二興業(株)	名古屋市中千種区石園町3-21	462	(052)991 4741
	金沢市法光寺町24	920-01	(0762)58 4755

フルヤマズコーキング	一宮市北方町中島字中越27-10	493	(0586)86	5355
北陸ビル防設(株)	富山市布瀬町1区3-6	930-11	(0764)21	6924
堀越コーキング(株)	富山県射水郡下村加茂3686	933-02	(0766)59	2308
(株)前田コーキング	高岡市細池533	933	(0766)21	4034
松村建工(株)	滋賀県愛知郡愛東町大字上中野983-2	527-01	(07494)6	1277
丸ツミ工業	富山市平吹町4-21	930	(0764)23	3754
ムラセ工業(株)	金沢市八日市出町465	921	(0762)40	3131
(株)名岐	名古屋守山区小幡3-2-14	463	(052)791	4465
森建材商行	岐阜市藪田3-63	500	(0582)73	2761
(株)ヤグチ工業	名古屋市西区松西町2-87	451	(052)562	1668
山新工業	富士市伝法710-7	417	(0545)71	5656
(株)リノテック	土岐市旭ヶ丘47-34	509-54	(05725)9	4505
和興建材工業(株)	〃千種区新西2-3-6	464	(052)774	6621
	浜松市向宿町212	430	(0534)65	1328

5. 関西シーリング工事業協同組合員 48

会社名	所在地	郵便番号	電話番号
新和化工(株)	豊中市南桜塚1-3-40	560	(06) 843 0356
エマール工業(株)	大阪市住吉区山之内1-21-21	558	(06) 695 0751
大阪アルファ産業(株)	〃 淀川区西中島4-6-30 チサン第5ビル303	532	(06) 301 5235
(株)大阪シール	〃 北区天満4-11-16	530	(06) 352 2895
(株)大阪防水工業所	守口市梶町1-124-7	570	(06) 903 0016
大阪ユニロシ(株)	大阪市福島区玉川2-11-21	553	(06) 448 2341
(株)勝友商会	神戸市東灘区青木5-18-23	658	(078)411 4418
(株)京都シール	京都市山科区音羽八ノ坪町34-15	607	(075)501 1100
共立産業(株)	大阪市中央区本町4-5-2 広和ビル	541	(06) 262 5845
神戸建設(株)	伊丹市荒牧字桑田60	664	(0727)81 5189
三大工業(株)	大阪市西区京町堀3-3-30 第2同盟ビル405号	550	(06) 443 2728
三幸物産(株)	〃 住吉区万代3-5-9	558	(06) 671 2498
昌栄亀井(株)	尼崎市武庫之荘3-17-11	661	(06) 431 8429
(株)大一防水工業	大東市寺川2-1-1	574	(0720)71 8951
(株)大協建材料	大阪市浪速区元町1-13-7 第3カネイチビル	556	(06) 649 4105
大信防水工業(株)	神戸市長田区西丸山町3-3-16	653	(078)642 3760
(株)東光商会	〃 東灘区岡本4-4-6	658	(078)453 2211
(株)東洋防水	大阪市阿倍野区文の里2-3-15	545	(06) 621 3741
(株)中出商会	神戸市兵庫区上沢通6-1-1	652	(078)511 4501
日建瀝青工業(株)	〃 兵庫区水木通8-2-7	652	(078)576 0851
日添工業(株)	大阪市北区天満4-3-9	556	(06) 357 8088
日本化成工業(株)	吹田市南金田1-4-46	564	(06) 385 3886
白洋建材料(株)	大阪市都島区本通2-15-1	534	(06) 924 2536
(株)豊栄シール	堺市奥本町1-74	591	(0722)55 0338
(株)美作	守口市八雲西町4-69	570	(06) 991 0500
八尾コーキング	八尾市久宝寺5-4-31	581	(0729)92 3846
(株)吉川美装商事	滋賀県大津市中央3-2-2	520	(0775)24 8289
大阪工業(株)	大阪市西区南堀江3-13-11	550	(06) 531 4814
関西シーリング工業(株)	大阪府南河内郡太子町山田2673-1	583	(0721)98 0239
山陽シール工業(株)	姫路市八代宮前町18-15	670	(0792)97 0658
(株)特殊技研	大阪市北区末広町3-21 星和地所扇町ビル	530	(06) 315 0701
(株)関西住建	京都市伏見区石田大受町31-266	601-13	(075)571 0246
トシダ工業(株)	高槻市芝生町1-14-1	569	(0726)77 1536
ユニオン商事	大阪市西区靱本町3-1-6	550	(06) 445 0753
高橋シーリング	大阪市旭区新森3-17-19	535	(06) 951 9585
(株)中村商店	摂津市鳥飼下3-3-7	567	(0726)54 4538
山下防水建設(株)	大阪市中央区道頓堀2-3-24	542	(06) 211 0553
セキシュウ技研(株)	〃 東淀川区菅原2-11-35	533	(06) 326 1088
(株)天草シール	神戸市東灘区田中町3-7-11	658	(078)451 0816
高月商会	宝塚市千種4-10-3	655	(0797)72 5922

大和シール工業	大阪府南河内郡太子町春日135-2	583	(0721)98	1819
八鍼シーリングコンサルタント	神戸市須磨区妙法寺字牛の子999-28	654	(078)743	2455
ユニオン保全(株)	西宮市染殿町6-12-104	662	(0798)35	8800
(有)京阪防水	堺市小阪115-13	593	(0722)77	5180
(株)泉北特殊防水	〃 横塚台2-16-24	590-01	(0722)91	4111
宝シール工業(株)	大阪市阿倍野区三明町1-10-9	545	(06)629	0196
日栄化工(株)	尼崎市武庫之荘本町3-19-22	661	(06)431	0819
(有)松山工業	堺市神石市之町11-4	590	(0722)65	1200

6. 中国シーリング工事業協会々員 36

会社名	所在地	郵便番号	電話番号
アイシン工業(株)	広島市西区楠木町3-6-9	733	(082)238 3883
アオケン(株)	〃 中区舟入幸町19-10	730	(082)292 3200
(株)岩本商店	福山市曙町5-163-1	721	(0849)53 8798
鳥城防水工業(有)	岡山市倉富494-34	703	(0862)77 0364
(株)占部防水工業	福山市御船町1-11-7	720	(0849)21 1458
(有)小野甚商店	岡山市丸の内1-13-13	700	(0862)25 4868
(有)山陰シール工業	米子市両三柳165-4	683	(0859)32 2287
(株)サンゼオン	広島市西区中広町3-17-16	733	(082)291 1631
(株)三洋技研広島支店	〃 西区庚午南1-3-30	733	(082)271 9317
(有)昭和化学防水工業	岡山市下伊福1-3-24	700	(0862)53 4093
シーリング工業(株)	広島市西区横川町1-11-15	733	(082)294 6637
(有)スミ防工業	岡山市中仙道42-118	703	(0862)44 5566
第一化工(株)	広島市西区南観音町1-5-40	733	(082)293 3828
大和防水(株)	岡山市矢坂西町7-36	700	(0862)52 2642
高橋工業(株)	福山市野上町1-11-8	720	(0849)21 2570
千葉工業(株)	広島市西区山田新町2-11-27	733	(082)272 7600
中国特殊防水産業(有)	〃 西区中広町3-11-9	733	(082)231 9958
中国富士化工建設(株)	〃 東区矢賀町1-527-12	730	(082)284 3117
(株)ツキタニ工業	広島県安芸郡府中町本町1-11-3	735	(082)282 7019
日化工材(株)	岡山市表町2-6-21	700	(0862)25 2021
ニッテイ(株)	新南陽市大字富田4530	746	(0834)63 2532
日本シール工業(株)	広島市西区楠木町4-15-39	733	(082)238 7447
(株)はまはら	尾道市新浜1-3-4	722	(0848)23 2760
(有)肥田工業	広島市東区戸坂新町2-3-5	732	(082)229 3411
広島アルファ産業(株)	〃 西区中広町2-25-14	733	(082)293 6557
(株)広島防水工業	〃 西区東観音町12-14	733	(082)294 3238
(有)フヂ防水工業	〃 佐伯区海老園2-11-17	731-51	(0829)22 9757
フジミ工業(株)	広島県安芸郡府中町大須3-7-14	735	(082)282 2201
豊永建材(株)	広島市東区光町2-14-34	732	(082)264 1223
防長建材(株)	徳山市野上町2-15	745	(0834)21 0003
マルエ商工	防府市大字牟礼岸津4314-4	747	(0835)23 5123
(株)マルエス工業	広島市中区宝町8-26	730	(082)243 7474
丸福建材工業(株)	〃 中区吉島町12-18	730	(082)241 6666
(株)森本組	〃 西区中広町3-22-12	733	(082)291 2629
(株)ヤマザキ技販	福山市横尾1-88	720	(0849)55 5353
(有)吉田シーリング工業	徳山市楠木1-11-17	745	(0834)28 5788

7. 四国シーリング工事業協同組合員 45

会社名	所在地	郵便番号	電話番号
(有)日本防水三島工業所	伊予三島市中央5-9-45	799-04	(0896)24 5174
イヨ防水	川之江市川之江町古町1128	799-01	(0896)56 2984
錦海防水(有)	新居浜市西の土居町1-3-43	792	(0897)34 3333
東亜グラウト(株)新居浜四国支店	〃 西原町1-2-25	792	(0897)34 7111
(株)マルマス河野商店	今治市共栄町4-5-2	794	(0898)32 5000

イ ケ ダ 産 業 (株)	松山市久万の台189-1	790	(0899)25	5590
(株)マルマス河野商店松山支店	〃 間屋町3-6	791	(0899)22	2121
(株)山 本 商 会	〃 三番町7-8-1	790	(0899)31	6261
(株)日本防水松山工業所	〃 石手1-3-19	790	(0899)77	0998
岩 田 建 材 (株)	〃 南高井町1280-1	791-11	(0899)75	6700
大 淵 建 工 (株)	〃 谷町甲179-10	791	(0899)78	2745
山 建 工 (株)	〃 福音寺町249-2	790	(0899)75	1590
(有)広 栄 商 会	愛媛県伊予郡松前町浜781-8	791-31	(0899)84	3576
正 和 商 事 (株)	松山市一番町3-3-5	790	(0899)21	8161
(有)富 士 防 水	〃 平和通り2-3-3	790	(0899)45	5401
(有)フ ク ヤ 建 材	宇和島市高串1-468	798	(0895)24	2280
(株)シ コ ク ビ ル	松山市居相町450-4	790	(0899)58	1222
和 研 工 業 (株)	高松市松並町683	760	(0878)66	8122
古 市 断 熱 工 業 (株)	〃 宮脇町2-30-5	760	(0878)61	5034
大 三 工 業 (株)	〃 本町1-17	760	(0878)51	6811
マ ル エ 工 業 (有)	〃 福岡町2-13-22	760	(0878)21	8410
(株)日 新 建 工	丸亀市田村町525	763	(0877)24	3535
四 国 日 東 工 材 (株)	香川県三豊郡高瀬町大字新名1913-1	767	(0875)72	5337
四 国 防 水 工 業 (株)	高松市藤塚町2-8-20	760	(0878)31	6661
(株)東 垂 応 用 化 工	坂出市室町1-3-32	762	(0877)46	2185
新 弘 化 建 (株)	善通寺市弘田町768-5	765	(0877)63	0801
(有)大 石 防 水 工 業	高松市屋島西町68-2	760	(0878)41	3690
(有)西 部 シ ー ル	丸亀市三条町13-9	763	(0877)28	8191
(有)高 分 子 工 材	高松市浜の町18-27	760	(0878)21	3010
四 国 ポ リ マ ー (有)	香川県綾歌郡飯山町上法軍寺326-5	762	(0877)98	3991
(有)フ ク シ マ 工 業	高松市香西北町54-3	761	(0878)81	3366
(株)香 川 シ ー ル 工 業 所	丸亀市垂水町3224-19	763	(0877)25	0171
(有)高 知 エ バ レ チ ン 工 業 所	高知市南川添26-11	780	(0888)84	0571
岸 防 水 工 業 (有)	〃 塩屋崎町2-10-35	780	(0888)32	7731
(有)高 知 防 水 セ ン タ ー	〃 神田吉野1829	780	(0888)31	7324
朝 日 産 業 (株)	〃 南の丸町2-1	780	(0888)33	2100
谷 本 商 事 (株)	〃 農人町5-17	780	(0888)82	6900
古 市 断 熱 工 業 (株)高 知 営 業 所	〃 薮野1073	780	(0888)45	0624
大 三 工 業 (株)高 知 支 店	〃 一宮東光蓮寺2635-4	780	(0888)45	4800
徳 島 大 三 工 業 (株)	徳島市北矢三町1-2-61	770	(0886)31	4161
(有)ミ ツ ワ 建 産	〃 富田橋5-8	770	(0886)25	7585
徳 島 ゴ ー レ ッ ク ス 工 業 (株)	〃 川内町沖島612-1	771-01	(0886)65	3811
(有)中 條 防 水 工 業 所	〃 末広5-4-25	770	(0886)23	2564
徳 島 白 川 防 水 (株)	〃 川内町榎瀬506-49	771-01	(0886)65	4339
(有)斉 藤 防 水 工 業	〃 吉野本町6-9	770	(0886)22	2931

8. 九州シーリング工事業協同組合員 26

会 社 名	所 在 地	郵便番号	電 話 番 号
ア イ ワ 工 業 (株)	宮崎県東諸県郡高岡町大字高浜2573-1	880-22	(0985)82 1687
(有)岡村シーリング工事	福岡市南区清水2-15-30	815	(092)553 1881
九 州 特 殊 工 事 (株)	〃 博多区千代4-5-1	812	(092)611 0426
草 野 工 業 (株)	北九州市小倉北区霧ヶ丘1-5-11	802	(093)922 7631
(株)ク ロ キ 工 業	鹿児島市下福元町6567-23	891-01	(0992)61 5361
(株)佐 藤 防 水	〃 郡元1-20-5	890	(0992)54 2704
三 賀 産 業 (株)	福岡市博多区博多駅前3-5-7 博多センタービル	812	(092)471 1355
し ま だ 工 業 (株)	北九州市小倉南区大字徳吉108-4	803-02	(093)452 0220
昭 和 日 本 化 成 (株)	福岡市早良区原4-8-11	814-01	(092)843 3311
(有)神 栄 工 業	長崎市三川町800-40	852	(0958)46 0775
シ ン コ ー 化 成 興 業 (株)	福岡市城南区別府6-3-6	814	(092)821 1546
(株)新 日 本 樹 脂 化 工	〃 博多区金隈303-3	816	(092)503 5070
須 川 防 水 工 業 2	春日市一の谷3-149-2	816	(092)501 6101
大 栄 (株)	北九州市小倉北区西港町61-13	803	(093)571 4581

(有) ダイシン産業	福岡市城南区別府2-15-41	814	(092)851	8722
テイパ化工九州販売	〃 南区長丘5-11-20	815	(092)561	1675
(有) 成建	熊本市健軍町2622-20	862	(096)367	3631
(有) 日本シーラント工業	筑紫野市二日市658-2	818	(092)928	1417
(有) 野田工業所	福岡県大野城市仲畑1-9-17	816	(092)572	3859
博栄工業	長崎市川平町1389-2	852	(0958)49	2232
橋口工業	福岡県筑紫郡那珂川町片縄807-111	811-12	(092)573	5101
B J 工事	那覇市前島町2-14-11 松ビル	900	(0988)63	2164
福岡アルファ産業	福岡市博多区博多駅前3-9-5 チサン博多ビル316号	812	(092)451	1073
南日本化成	鹿児島市中山町2037-5	891-01	(0992)67	6121
宮本産業	福岡市早良区賀茂1-7-12	814-01	(092)862	3331
(株) ム ト ウ	〃 早良区昭代3-2-5	814	(092)851	0111

実績と信頼のシーリング材

JIS-A-5758 9030認定品

ボニーシーラー

ポリサルファイド系シーリング材

PS 2000

JIS-A-5758 8020認定品

ボニーシーラー

ポリウレタン系シーリング材

U 3000

JIS-A-5758 9030認定品

ボニーシーラー

変成シリコーン系シーリング材

MS 3000

エポセット

JIS-A-6024規格合格品

エポキシ系注入剤

RH 200D

テイパ化工株式会社

本社 〒533 大阪市東淀川区下新庄3-11-28
 TEL 大阪 (06) 328-1118 (代表)

東京営業所 〒105 東京都港区新橋6-10-3 (遠江ビル)
 TEL 東京 (03) 431-9357 (代表)

関連会社、団体一覧表

1) バックアップ材メーカー

会社名	所在地	郵便番号	電話番号
旭化成工業(株)	東京都千代田区有楽町1-1-2 日比谷三井ビル	100	(03) 507 2957
化研マテリアル(株)	江東区新木場1-17-6 東邦港運内	136	(03) 521 7439
光栄加工(株)	練馬区上石神井南町18-11	177	(03) 920 2671
(株)新和商会	荒川区西日暮里2-24-14	116	(03) 803 1411
積水化学工業(株)	大阪市北区西天満2-4-4 堂島関電ビル	530	(06) 365 4306
大進商工(株)	東京都北区東十条3-13-9	114	(03) 912 8447
日本バックアップ工業(株)	中野区中央1-10-5	164	(03) 369 0215
野口興産(株)	練馬区豊玉北2-10	176	(03) 994 5601
日立化成工業(株)	新宿区西新宿2-1-1 新宿三井ビル	163	(03) 346 3111
フヨ一(株)	墨田区業平5-5-6	130	(03) 626 3371

2) 施工用具メーカー

会社名	所在地	郵便番号	電話番号
エムアンドケー(株)	名古屋市緑区大高町川添51	459	(052)621 3100
大竹工業(株)	東京都江戸川区江戸川6-40	134	(03) 878 7501
(株)菅野製作所	北区志茂3-3-26	115	(03) 903 3140
巴工業(株)	中央区日本橋3-9-2 第二丸善ビル	103	(03) 271 4075
日本ソセー工業(株)	名古屋市南区南野1-99	457	(052)612 7321
ミキスタ工業(株)	東京都中央区日本橋蠣殻町1-33-7	103	(03) 669 9471
(株)山本製作所	大阪市阿倍野区松崎町2-7-10	545	(06) 623 5170

3) 建材関連団体

団体名	所在地	郵便番号	電話番号
板硝子協会	東京都中央区丸の内3-3-1 新東京ビル4F	100	(03) 212 8631
A L C 協会	港区元赤坂1-1-15 ニュートヨビル	107	(03) 403 7767
(財)化学製品検査協会	大阪市天王寺区堂ヶ芝町1-6-5	543	(06) 771 5157
(財)建材試験センター	東京都中央区日本橋小舟町1-3 太田ビル	103	(03) 664 9211
建築ガスケット協会	港区西新橋2-2-10 三喜ビル	105	(03) 501 2906
コンクリートカーテンウォール工業会	中央区日本橋2-10-2 第一ビル	103	(03) 273 6337
全国板硝子商工協同組合連合会	千代田区神田神保町3-4 総合板硝子会館	101	(03) 262 6737
(社)日本カーテンウォール工業会	港区南青山5-11-2 共同ビル(南青山)	107	(03) 409 6981
日本乾式防火サイディング協会	中央区銀座7-10-8 高橋ビル9F	104	(03) 571 1359
(社)日本建材産業協会	港区新橋6-13-1 第3長谷川ビル	105	(03) 435 0571
日本建築仕上材工業会	千代田区神田和泉町1-6 インターナショナルビル	101	(03) 861 3996
(財)日本建築センター	港区虎ノ門3-2-2 第30森ビル	105	(03) 434 7161
(財)日本建築総合試験所	大阪府吹田市藤白台5-8-1	565	(06) 872 0391
(社)日本サッシ協会	東京都港区南青山5-11-2 共同ビル(南青山)	107	(03) 409 3441
日本樹脂施工協会	台東区台東1-12-11 青木ビル	110	(03) 831 6185
日本接着剤工業会	千代田区内神田1-15-10 福島ビル	101	(03) 291 3303
(社)日本塗料工業会	港区元赤坂1-5-26 東部ビル	107	(03) 408 7201
(社)プレハブ建築協会	港区芝公園3-1-38 秀和芝公園3丁目ビル	105	(03) 431 1481

4) 防水団体

団体名	所在地	郵便番号	電話番号
全国防水工事業団体連合会	東京都中野区中野1-55-7 藤ビル	164	(03) 369 7351

アスファルトルーフィング工業会
 外壁補修工事業協同組合
 九州アスファルト工事業協同組合
 合成高分子ルーフィング工業会
 ゴムアスファルト防水工事業協同組合
 シート防水工事業団体連合会
 常温アスファルト防水事業協同組合
 西部アスファルト工事業協同組合
 全国アスファルト工事業協同組合連合会
 全国塗膜防水工事業団体連合会
 全日本プレハブ建築防水協会
 東部アスファルト工事業協同組合
 西日本建設防水協同組合
 (社) 日本アスファルト同業会
 日本ウレタン建材工業会
 日本外壁防水材工業会
 (社) 日本薬液注入協会
 東日本建設防水協同組合

東京都千代田区岩本町3-11-13
 // 新宿区西新宿3-2-10 水間ビル
 福岡市中央区舞鶴2-8-2 村上ビル
 東京都中央区新川1-3-2 新東京ビル
 // 渋谷区代々木1-11-2
 // 中央区日本橋人形町3-6-2 細田ビル2F
 // 板橋区坂下3-29-11
 大阪市西区江戸堀1-20-11 辻川ビル
 東京都中央区八重洲1-2-1 新呉服橋ビル
 // 中野区中野1-55-7 藤ビル
 // 渋谷区代々木1-11-2
 // 中央区八重洲1-2-1 新呉服橋ビル
 大阪市天王寺区餌差町7-6
 東京都中央区八重洲1-2-1 新呉服橋ビル
 // 港区芝浦1-14-7 朝日ビル701号
 // 中央区八重洲2-8-5 三菱レイヨン(株)内
 // 文京区後楽1-1-2 春日ビル
 // 新宿区歌舞伎町2-1-2 北井ビル

101 (03) 862 8531
 160 (03) 344 2475
 810 (092) 713 5263
 104 (03) 552 8479
 151 (03) 320 2020
 103 (03) 661 5787
 174 (03) 558 0218
 550 (06) 445 1138
 103 (03) 271 5797
 164 (03) 363 9718
 151 (03) 320 2019
 103 (03) 271 5797
 543 (06) 762 4047
 103 (03) 271 2208
 105 (03) 452 7852
 104 (03) 274 4621
 112 (03) 816 2681
 160 (03) 200 3584

シリコン系シーリング材JIS A 5758 耐久性区分9030適合品

エヌシーシーラント

耐火2時間
無汚染タイプ

製造元

日東紡ビル
日東紡コンパウンド株式会社

本社/〒108 東京都中央区日本橋富沢町9の10(稲村ビル)
TEL. 03(669)1007(直)

・大阪・名古屋・札幌・仙台・広島・福岡

発売元



化研マテリアル株式会社
KAKEN MATERIAL LTD.

〒105 東京都港区西新橋3-8-1(第2鈴丸ビル)

TEL. 03(436)3011(代)

FAX. 03(433)3914

「シーリング技術管理士」に関する規約

(昭和62年9月8日改訂)

第1条 (目的)

この規約は日本シーリング工業会（以下工業会という）が設けた資格制度に関するものであり、水密、気密保持に関するシーリング材の重要性にかんがみ、設計・施工を通じた技術の向上に併せて、業界の地位向上を図ることを目的としたものである。

第2条 (職務)

シーリング技術管理士（以下技術管理士という）は、シーリング工事に関して、防水設計、シーリング材の性能・品質・施工法について十分な知識を活用し、技術指導を行なう。

第3条 (技術管理士の認定)

シーリング管理士検定委員会（以下検定委員会という）は第2条に基づき、講習ならびに検定試験を毎年1回実施し、これを受講し試験に合格した者を工業会は技術管理士として認定する。

第4条 (受験資格)

受験資格者は工業会々員会社に所属する者、および会員会社が推薦し理事会が承認した者とする。ただし施工会社に所属する者は除く。

技術管理士の受験資格は次の通りとする。

イ. 年齢22歳以上の者

ロ. 実務（シーリング工事にかかわる業務）経験年数が次の表以上の者であってそれを証明する所属会社の証明書を提出した者、ただし中学卒業者はその限りではない

学 歴	経 験 年 数	
大 学 卒 業	普 通	2 年
	専 門	1 年
高 専 卒 業	普 通	3 年
	専 門	2 年
短 大 卒 業	普 通	3 年
	専 門	2 年
高 校 卒 業	普 通	5 年
	専 門	3 年
中 学 卒 業	普 通	7 年

注：専門とは建築、化学の専門課程修了者、
普通とは専門以外の課程修了者をいう。

第5条 (資格の更改)

技術管理士は4年毎に資格の更改を行なう。ただしこの間1年毎に所属する会社代表者の在籍証明書を提出しなければならない。更改に際しては検定委員会で定める技術向上を目的とする講習を受けなければならない。

講習に不参加であった者はその資格を停止し、次回の講習を受けその資格を復活できるものとする。資格を停止された者はシーリング技術管理士証明書（以下証明書という）を工業会に返却しなければならない。原則として資格停止者が次回の講習を受けなかった場合は、その資格は取消される。

第 6 条 （証明書の返却）

技術管理士が所属する会社を退職する場合は、速かに証明書を工業会に返却しなければならない。

第 7 条 （証明書の再交付申請）

第 6 条により証明書を工業会に返却した者が新たに証明書の再交付を希望する場合は、改めて所属会社代表者の推薦書を付して工業会に申請することができる。

第 8 条 （証明書の再交付）

証明書再交付の申請を受けた場合、工業会は所定の審査の上再交付する。

第 9 条 （資格の取消し）

次に掲げる各項に該当する場合は技術管理士の資格を取消することができる。

1. 第 2 条に定める職務の遂行が困難になった場合
2. 刑罰又はこれに準ずる処罰を受けた場合
3. その他技術管理士の権威を著しく汚す行為があった場合

第 10 条 （その他の事項）

前各条の他、運営上必要な細部事項については別に定める。

「シーリング管理士」に関する規約

（昭和62年 9 月 8 日改訂）

第 1 条 （目 的）

この規約は日本シーリング工業会（以下工業会という）が設けた資格制度に関するものであり、水密、気密保持に関するシーリング材の重要性にかんがみ、設計・施工を通じた技術の向上に併せて、業界の地位向上を図ることを目的としたものである。

第 2 条 （職 務）

シーリング管理士（以下管理士という）は、現場施工能力を有し、かつ防水設計、シーリング材の性能・品質・施工方法について十分な知識を活用し、シーリング工事について施工及び技術指導を行なう。

第 3 条 （管理士の認定）

シーリング管理士検定委員会（以下検定委員会という）は第 2 条に基づき、講習ならびに検定試験を毎年 1 回実施し、これを受講し試験に合格した者を工業会は管理士として認定する。

第 4 条 （受験資格）

受験資格者は日本シーリング工事業団体連合会（以下日シ工連という）会員会社に所属し、人格識見を有する者で、所属する会社代表者の推薦を必要とする。

管理士の受験資格条件は次の通りとする。

- イ. 年齢22歳以上の者

ロ. 実務（シーリング工事にかかわる業務）経験年数が次の表以上の者であってそれを証明する所属会社の証明書を提出した者、ただし中学卒業者はその限りではない

学 歴	経 験 年 数	
大 学 卒 業	普 通	2 年
	専 門	1 年
高 専 卒 業	普 通	3 年
	専 門	2 年
短 大 卒 業	普 通	3 年
	専 門	2 年
高 校 卒 業	普 通	5 年
	専 門	3 年
中 学 卒 業	普 通	7 年

注：専門とは建築、化学の専門課程修了者、
普通とは専門以外の課程修了者をいう。

ハ. ゴンドラ運転の特別教育修了証所持者であること

第 5 条 （資格の更改）

管理士は 4 年毎に資格の更改を行なう。ただしこの間 1 年毎に所属する会社代表者の在籍証明書を提出しなければならない。更改に際しては検定委員会で定める技術向上を目的とする講習を受けなければならない。

講習に不参加であった者はその資格を停止し、次回の講習を受けその資格を復活できるものとする。資格を停止された者はシーリング管理士証明書（以下証明書という）を工業会に返却しなければならない。

原則として資格停止者が次回の講習を受けなかった場合は、その資格は取消される。

第 6 条 （証明書の返却）

管理士が所属する会社を退職する場合は、速かに証明書を工業会に返却しなければならない。

第 7 条 （証明書の再交付申請）

第 6 条により証明書を工業会に返却した者が新たに証明書の再交付を希望する場合は、改めて所属会社代表者の推薦書を付して工業会に申請することができる。

第 8 条 （証明書の再交付）

証明書再交付の申請を受けた場合、工業会は所定の審査の上再交付する。

第 9 条 （資格の取消し）

次に掲げる各項に該当する場合は管理士の資格を取消することができる。

1. 第 2 条に定める職務の遂行が困難になった場合
2. 刑罰又はこれに準ずる処罰を受けた場合
3. その他管理士の権威を著しく汚す行為があった場合

第 10 条 （その他の事項）

前各条の他、運営上必要な細部事項については別に定める。

シーリング技術管理士名簿

(465名)

会社名	氏名
愛知住宅工業 (株)	瀬ノ上正一
(有) アイワ工業	白地幸男
(有) アクト	村田治男
旭硝子コートアンドレジ (株)	古谷健一
アサヒボンド工業 (株)	徳田精久
(株) アジア建設資材	富田則行 樋口哲也
	佐藤一郎
(株) 阿部塗料店	宗延徳仁
井上喜 (株)	勝尾明兼 田中猛仁
	古賀俊男
潮物産 (株)	竹浪博
(株) エービーシー商会	芥川慎一 仁多見憲二
	磯部文男 小泉雅二
	千葉隆一
オート化学工業 (株)	高木紀英 笠原 哲
	塚田正博 森田栄一
	伊藤彰彦 谷川邦彦
	相原正伸
大分 Y K K 工業 (株)	甲斐基介
大阪御国商事 (株)	吉村和弘
近江 Y K K 工業 (株)	山田哲雄 藤井久和
オギノセメン (株)	加藤幹也
小野田エーエルシー (株)	服部貴久
化研マテリアル (株)	郷間隆一
鐘工業 (株)	越賀恒雄
カネボウ・エヌエスシー (株)	脇健答 渡辺敏幸
	河端健二 羽土浩春
	福富浩司
カネボウ化成 (株)	森重幸雄
共信商事 (株)	古田裕康
光栄商事 (株)	内田 勲 増田博文
コニシ (株)	河端次彦 谷口雅俊
	勝又賢次 小林保夫
	林信義 中野信二
	井谷誠 加藤昭彦
	小杉誠一 福永陽一
	山崎一昭 赤松郷也
	日下部悟 日向俊夫
	秋山晶俊 田室浩一郎
小林通商 (株)	小林 剛 遠藤研也
讃岐 Y K K 工業 (株)	轟 清
(株) サ	前田敏行
サンスター技研 (株)	花田健治 榎本教良
	加川順一 田村耕三
	平井孝典 水野隆司
	田島哲夫 市川隆吉
	大中義夫 西村良雄
	金長祥光 和田 裕
	田中美樹夫 尾茂田宏侍
	野村昌弘 堀 恒美
	佐藤 昌修 福元 寛
	原田康裕 野口伸一郎
	上田政則 川上一三
	猪俣節雄 多田羅晋由
	井上陽介 内藤彰彦
	岩本康良 川井亮一 平生澄男
	田中愛益

三洋工業 (株)

サンライズメイセイ (株)

滋賀トーヨーサッシ工業 (株)

(株) ジェイ・シーサプライ

昭石化工業 (株)

下田通商 (株)

信越化学工業 (株)

(株) 住ゴム産業

(株) スリーポンド

世界長 (株)

セメグイン (株)

木村安男 泉 克幸
北浦孝二 尾 宏二
前田山次 寺沢順二
秋江道法 青木茂広
永江道法 青木茂広
金久保雄司 熊谷正浩
高良龍一

西野俊幸
小笠原利樹 男 谷田部利夫
杉山博 齊藤健二
東 洋池正博
中島芳夫 大物久夫
鈴木信久 大竹本寛
浦川英明 辺田 浩
土谷秀樹 宮下貢次
田中清晴 国見延勝
三好 志賀芳勝
長尾 賢一
土嶺俊夫 富永淳一
中村公士 庄 誠
梶山武夫 藤本亮秀

荒巻久雄
秋沢充敏
富田健一 山田明宏
山田一洋 滋田和幸
佐山 滋 豊田耕二
渡辺 大 星賀見修由
大関彦志 久田光男
増子潔 白倉晋
大山 隆夫 浦山政成
伊藤哲夫 塩垣紀明
木村公彦
加藤輝男

高山雅美 北村利晃
河野純一 小林 勲
坂詰功晃 増田 透
鮪水寿博 石坂和夫
佐藤治信 鳥屋幸男
浅見嘉信 布施雅己
西沢 修 里二三夫
上田文雄 原沢健夫
横塚貞治 上野隆仁
萩原 隆 辻 原武則
中野昭弘 藤原正浩
渡辺 博剛
中島 剛

松本 智
勝野宣広 田村英明
井上久世 橋本剛一
中田豊隆 松田修蔵
中村光男 松井潤介
森本隆良 坂口 茂
酒井久男 村上純一
山崎健一 安藤政人
田所和正 重永真二
中村章一

小形考一 八代秀雄
松田 豊 松林日出男
降岸清志 後藤 均
熊谷建基 川辺征善
川端 博 安齊忠男
五味秀樹 中池欽也
新村由行 新谷勝巳
大給近尚 辻野未次
鳥巢幸雄 木下雅智
阿部祐輔 信 佐々木友考
山口 修

	供田良憲 川井一郎	藤原靖博 杉浦條二		福岡トーヨーサッシ工業(株)	池田 勇 塩塚慶志	大園浩和 深堀圭介
住友ウォールシステム (株)	木村 充		(株) タイルメン	福岡 Y K K 工業	笹原信行	若山修一
(有) 高倉アルミ工業	河合 敦	小島健市	テ イ パ 化 工 (株)	フ ヨ ー (株)	山根高志 宮崎 進 木山雅博	荒喜一郎
	高倉健一郎			保土谷化学工業 (株)	山崎滝通	
	上田 武	北野真一		保土谷建材工業 (株)	小嶋三郎	山内 節
	山崎保充	堀河哲雄		(株) 前 田 理 工	生田正道	角田和也
	関野士郎	小倉 臻			池田和広	村中 等
	杉中 肇	市川益己			三浦正文	
	井口幸一	上田正行			佐々木 忠	
	八友 聡			前橋トーヨーサッシ工業(株)	野口 修	
東京ハマタイト (株)	松居幸男	河野 実		松戸トーヨーサッシ工業(株)	太田 誠	
(株) 東 郊 産 業	石飛俊二			(有) 三 河 英 建	萩原昭文	
東芝シリコーン (株)	岸 三治	船越 力		水島ゴム工業品 (株)	長久誠治	
	斉藤 修	渡辺修二		三井東圧化学 (株)	関口高正	
	小笠原義治	篠沢一義		三菱化成工業 (株)	矢島克美	
	清水千之	小野部盛雄		三 星 産 業 (株)	宮下 孝	藤本啓之
	細川 清	大工園昭二		モリシタ化学産業 (株)	福原孝司	
	高井直人	安藤秀秋		八代 Y K K 工業 (株)	梅野雅孝	山田 博
	吉川敏夫	仲野英樹		ヤマウチ	渡部高久	石山悦隆
	神崎 聖	下屋敷恵治		横 浜 ゴ ム (株)	羽原吉雄	井部才輝
	浜砂岩平	分部康平			庄田 守	鎌田正徳
	福島通人	大木直也			塩田 実	森 輝明
	横川 健	山本 治			細田新也	五十嵐稔一
	金子啓之	大神田裕司			鶴野孝一	斉藤昭博
	上野雄一	岸上浩二			岩田克博	仲宇佐隆一
	町田孝夫	吉村純一			高橋総一郎	飯島俊之
					大島幸雄	永野 勇
(株) 東北協和工商	菅原久志				佐々木雅大	
トーヨーサッシ (株)	大久保克春	金子英昭		ヨコハマゴム工業品北海道販売(株)	中川仁公	大滝正己
	石井良光	渡辺和基			陳岡達也	宮崎 敏
	菅原 昇			ヨコハマゴム工業品東北販売(株)	草刈正幾	岡本博行
	河口達也			ヨコハマゴム工業品中部販売(株)	佐藤新一	佐々木雅之
東洋ビルサッシ (株)	市橋弘雄	笠井慎年		ヨコハマゴム工業品関西販売(株)	大野幸保	
トーレ・シリコーン (株)	沢村直文	権名健介			佐藤良正	梅津卓也
	久野二郎	広田正行			小山昌明	
	空本 宏	吉水 毅			高森 寛	高木良知
	山田孝男	田中孝次			中林秀樹	村上 修
	伊比輝男	小田喜幸			鈴木伸治	大島幹生
	米谷敏夫	木原克己			鈴木憲人	佐藤達彦
	菅沼紀之	高木忠雄		ヨコハマゴム工業品九州販売(株)	松浦市郎	
	藤井秀一	土橋善雄			大原光良	斉藤章徳
	奏泉寺利春	内田広之			西村龍夫	藤原利夫
	岩下恵一	立岡道広			萩原 優	深尾正美
	石田忠雄	近藤秀俊			沖 昌弘	大塚政幸
	鈴木輝幸	大石泰彦			武田善史	横山雅彦
	須原 勇	斉藤 馨			山田修司	二反田英史
	石川秀高	平嶋弘司		吉 田 工 業 (株)	井上哲二	河原和伸
東レチオコール (株)	窪 正一	佐藤 修二			吉田匡史	田辺賢二
	薮 一穰	佐々木幸男			渡辺英治	白藤 薫
	岡村芳雄	蔵本博義			井上嘉英	山本 東
(株) ト ク ハ ン	柳沼由夫	増田道夫			宮袋武裕	我妻道男
(株) 西井塗料産業	山口良治	柴田英則			千原 淳	在塚 均
日東ポリマー工業 (株)	与義守信	梅本州一			竹村正巳	山下康広
	谷岡博美				小鍛冶秀明	鹿野裕市
日興化学工業 (株)	篠田正巳	松村 博			中 雅之	三井田満男
	山崎信義	宍倉政男			泉谷昇二	広野利昭
ニッセイ技研 (株)	岸原 淳	川崎隆実			横谷 功	石川真義
日東化成工業 (株)	紺木忠興				中山芳雄	小林幸男
日東電工 (株)	山口龍之助				栗木英明	伊藤 卓
日東電材 (株)	加藤一美					
日本シーカ (株)	古田春喜	阿部真久				
	久保勝年					
日本添加剤工業 (株)	山本浩一	石田 博		(株) 吉 田 産 業	熊谷隆良	
	岡田安正	田中昭南		(株) 吉 田 産 業 青 森	福津聖二	三上幸雄
野口興産 (株)	野口裕二	舟木保雄		(株) 吉 田 産 業 久 慈	下石畑信一	
	本村 力			(株) 吉田産業建材センター	下斗米勝彦	長谷川政弘
日立化成ポリマー (株)	山室義行	中田勝哲		(株) 吉田産業五所川原	今井秀男	玉川 武
	竹本富夫	北川 進		(株) 吉 田 産 業 水 沢	千田正志	
	山中 明	古新居敦		(株) 吉 田 産 業 盛 岡	吉岡一男	
	浜野幸市	立花豊松				

シーリング管理士名簿

北海道地区

(22名)

会社名	氏名
(株) 片岡コーキング	片岡京子
(株) カトウシーリング工業	佐藤信彦
(株) 北日本コーキング	土田 武
(株) 協栄シール	吉無田泰長 長島規夫
熊谷興業(株)	下井 守
佐藤研究所	佐藤和久
セイコー技建(株)	川原田義行
第一ブロック建設(株)	達本秀雄
中田工業(株)	中田敬一
中林産業工販(株)	田中達美
中林防水工業(株)	石田誠二 根本 誠
(株) 馬場工業	馬場哲也
フタバ工業(株)	山口正行
北海コーキング	平塚安弘
北海道タイホー(株)	鳴海忠義 長尾忠幸 斉藤 伸 深尾 哲
北眺防水工業(株)	菊地 薫
(有) ヤマト工業	小山毅芳

東北地区

(13名)

会社名	氏名
(有) 泉クリーナー	花村卓次
大島金属商事(株)	高橋卓孝
(株) 郡山医療器製作所	安斉国紀
(有) 興伸総業	工藤秀二
郡山シーリング(株)	梅津祐一
桜シーリング工業	阿部賢一
(有) シーリングタナカ	高橋栄一
(株) 丸本工業所	本吉和康 千葉忠男
(有) 三國工業	伊藤真太郎 斉藤智弥 菅原春男
(株) 我妻工業所	我妻貴司

東日本地区

(92名)

会社名	氏名
(株) アートシーリング	工藤純二
アルファ産業(株)	山本 勇 奏 達也 宮代 博 加藤由之助
石黒建材社	石黒勝己
(株) 石田シール工事	石田 実 鈴木隆男 田中義一 鈴木芳英
(有) 環清工業	伊藤儀一
木元工業(株)	神尾 健 初鹿忠夫 田尻茂人
協和シーリング工事(株)	手塚 透
(株) 栗崎工業	栗崎堅司
(株) 京葉シール	木下義晴 木下 剛
光栄工業(株)	内田鶴鶴 川口正秀
(株) 工業技術研究所	鈴木裕二

興進工業(株)

山栄興業(株)

(株) ジ ッ ク ス

(株) シ ー ラ ン ト

(株) 第 一 興 産

タイガー工業(株)

大和興業(株)

高萩興業(株)

拓友防水工業(株)

中央建材工業(株)

東邦防水総業(株)

(株) ト ミ ヨ シ 商 会

日本ビソー(株)

平沢コーキング工業(株)

ビルコン(株)

北斗工業(株)

マサル工業(株)

(株) マツダパラウォータ

(株) 山 形 防 水

理 建 工 業 (株)

瀝 青 建 材 (株)

五十嵐志郎 高宮昇二

小山忠夫 大坪徳夫

宇山広道 柏瀬謙一

鶴田正行 上田稠身

名倉 茂 松田英男

岩崎元廣

安保正則

椛江裕二

堀 亨

斗成 隆

佐藤正則

大坪政博

渡辺昭悟 甲斐 誠

広瀬忠夫 戸田 裕

深津富正 青山淳二

富岡勝人 富岡睦男

小松幹久 竹間由孝

加藤 重

平沢敏男 勝視益明

駒崎弘幸

高橋和彦 大関 勉

操上弘昌 鈴木賢一

宮川文雄 大辻勇七郎

雪入 毅 塚本 弘

佐藤義政 中沢文隆

木村芳孝 村山美二

斉藤誠一 細谷英雄

小峰 茂 坪山和幸

中島一三 苅谷 純

平野正治 林 徳行

小島卓三 半野田重俊

大越清美 村上孝行

田村良則

(株) マツダパラウォータ 福山政隆 松田和彦

生出 正

竹内利三

木村正一 室井幸雄

戸張達士 関 浩士

金山信二 林 正実

西園克己 山本真一

今井武義 村井 眞

村上富男

中部地区

(55名)

会社名	氏名
愛知トヨタ興業(株)	間瀬伸司 後藤伸一
朝日建物(株)	朝倉英心
(有) 石原コーキング興業	紺谷俊志
石渡産業(株)	高村克己
石動コーキング(株)	仁村 孝 萱原 寛
(有) 市川防水	市川文則
(有) 大久保コーキング	水野久夫
大村商事(有)	大村盛雄
加賀防水工業(株)	諸橋茂一 昇塚繁行
(株) 栗 原	栗原 眞 山下晴夫 原 友次 関 博夫

(株) サ ン エ イ	堀 忠夫 村 武和	
(株) 三	松代敏一	
三 信 建 材 工 業 (株)	菅谷敏行	
山 新 工 業 (株)	安藤時敬	沢田洋行
(株) 静 岡 コーキング工 業	石田敦則	
(株) 志 水 化 工	加藤忠司	
(株) シリコンエンジニア	堀川信昭	太田広道
(有) シ ン コー 工 業	清水茂喜	
(有) 新 静 シーリング	匂坂良造	
(有) ツカコシ商工	新保喜美雄	田村 仁
津 田 硝 子 (株)	新保文規	
中 央 建 材 工 業 (株)	川口博史	
(株) 東 海 工 事	塚越 勲	
(株) ナカムラシール	竹田正治	
(株) 日本ビルサービス	阿野田卓男	犬飼健一
(有) 浜松シーリング工業	橋本孝由	杉田好隆
北 陸 ビル 防 設 (株)	野間 浩	
堀 越 コーキング (株)	勘解由信幸	
(株) ビ ル メ ン	中村 守	
フ ジ 工 業 (株)	坂口 貢	
不 二 興 業 (株)	伊藤正智	
(株) 前 田 コーキン	田崎 隆	
丸	堀越飛行	
(有) 和 興 建 材 工 業	守山彰治	清水洋紀
	岡 穂	山寄清孝
	河原昇一	
	松本 勉	
	前田敏行	
	見角 弘	
	大西康進	大石秀幸

関西地区 (77名)

会 社 名	氏 名
(有) 天 草 シー ル	岩崎弘敏 岩崎泰博
	岩崎十代志 三石富夫
大 阪 アルファ産業 (株)	内田勝久
大 阪 工 業 (株)	中田安信 長棟利彦
(株) 大 阪 シー ル	阪井敏夫
(株) 大 阪 防 水 工 業 所	水口峰彦 野上條司
	佐伯忠雄 塩谷昭文
大 阪 ユニロン (株)	金山満昭
大 芝 建 材 (株)	中山親治
(株) 勝 友 商 会	田宮貞夫
(株) 京 都 シー ル	竹田征司
共 立 産 業 (株)	木寺玄太
(有) 京 阪 防 水	蛸崎徳靖
三 幸 物 産 (株)	横谷興彦
三 大 工 業 (株)	大西利昭
昌 栄 亀 井 (株)	亀井一身 榊田 潔
新 和 化 工 (株)	黒木俊行 溝淵 勇
	重実俊憲
セ キ シ ユ ウ 技 研 (株)	田中秀穂
(株) 大 一 防 水 工 業	上田正義 上田三郎
(株) 大 協 建 材	安東延治 吉田 功
	上西雅司 川井一哉
	浅田政幸 小田義数
	山田耕司 西齒恒夫
(株) 東 光 商 会	志水利達 高月春彦
	和田俊治 長江誠一
	早平淳一 北野裕一
	新藤昭三 板倉 保

(株) 東 洋 防 水	谷口忠文 横道哲幸
	村田康保 川畑裕之
	冲浜巨人 大村幸美
	烟中美佐男
(株) 特 殊 技 研 会	西山義雄
(株) 中 出 商 会	中出紘一
日 本 化 成 工 業 (株)	松下 実 三谷孝一
	岡田良平 山村博司
	岡田城治 山下雄治
	岡田誠治 小森 勝
	久保欣也 大平利久
	赤埴桂司 福水昭公
	山口孝志 江藤孝明
日 添 工 業 (株)	浅見和宏
白 洋 建 材 (株)	井上信夫 小阪幸治
(有) 豊 栄 シー ル	笹崎幹雄
(株) 美 作	小林三千勝 山越章良
八 尾 コーキン	中元幸弘
山 下 防 水 建 設 (株)	渡辺光穂
ユ ニ オ ン 商 事	杉原良一
ユ ニ オ ン 保 全 (株)	後藤晋也

中国地区 (26名)

会 社 名	氏 名
ア イ シ ン 工 業 (株)	木村通伸
ア オ ケ ン (株)	月本満俊 秋山 吉
	斉藤秀峰 油木孝士
	江角善雄
(有) 鳥 城 防 水 工 業	原 俊之
(株) 占 部 防 水 工 業	内田 武 岡 和夫
(株) サ ン ゼ オ ン	佐々木守 佐々木淳
	梅本祐二
シ ー リ ン グ 工 業 (株)	小田野哲夫 林 利明
中国特殊防水産業 (有)	海部信章
中国富士化工建設 (株)	今井浩成
(株) ツ キ タ ニ 工 業	世羅敏則
ニ ッ テ イ (株)	鈴木泰彦
広 島 アルファ産業 (株)	狭間延史
豊 永 建 材 (株)	河野和壮
(株) マ ル エ ス 工 業	小野田真治 庄司洋一
丸 福 建 材 工 業 (株)	長島隆良 多田 泉
(株) ヤ マ ザ キ 技 販	山崎雅弘 松井良仁

四国地区 (23名)

会 社 名	氏 名
朝 日 産 業 (株)	小川隆三
岸 防 水 工 業 (有)	坂井秀夫 小松憲二
(有) 高 知 エバレン工業	中野 宏
(有) 高 知 防 水 セ ン タ ー	神崎保之
(有) 高 分 子 工 材	益田憲司 松川光雄
	山本武雄
(有) 齊 藤 防 水 工 業	坂東公夫
(株) シ コ ク ビ ル	中板勇二 梶原 響
四 国 ポ リ マ ー (有)	森川弘己
大 三 工 業 (株)	高橋講二
徳 島 ゴーレックス工業 (株)	井川清文
徳 島 大 三 工 業 (株)	塩月辰男 鶴飼弘昭
	中西浩見
(株) 日 本 防 水 松 山 工 業 所	富永幸雄
(有) フ ク シ マ 工 業	富井英利 福島康泰

古市断熱工業(株)	白坂吉友
マルエ工業(有)	市川利彦
有)ミツワ建産	上野 薫

九州地区

(19名)

会社名	氏名
(株) 佐藤防水平	佐藤良一
昭和日本化成(株)	吉川繁満 山嶺知行 嘉村 昇
(株) 新日本樹脂化工	小野賢二
(有) タイシン産業	檜原行雄
テイパ化工九州販売(株)	青野博文 永野光幸
(有) 野田工業所	諏訪憲雄
B J 工事(株)	下田敏彦
南日本化成(株)	柳橋国博 白坂和也 東 正博
宮本産業(株)	宮本宣博 原山裕次
(株) ム ト ウ	武藤 貞 瀧本英治 朝原義隆 古川泰志

変成シリコン系 2 成分形シーリング材

ニッシーター・MS

ポリサルファイド系 2 成分形シーリング材

ニッシーール

ポリウレタン系 2 成分形シーリング材

ニッシーター・ウレタン

ブチル系 1 成分形シーリング材

スレニシーール

〈製造元〉

日興化学工業(株)

■ ☎135 東京都江東区白河 4-9-5

■ ☎東京03 (642) 7105~6・7155



シーリング 編集後記

昭和から平成に時代は変わりましたが、内需拡大策の影響は継続の様相を呈し、各地でシーリング施工者の不足が目立っている状態です。建築用シーリング材も、昭和63年は前年比約12.5%の高い伸び率を示しました。さて、平成元年度は消費税の導入により、日本シーリング工業会も転嫁・表示の共同行為（カルテル）を結ぶ事となりました。広報委員会と致しましても、機

関誌等で、需要家各位の御理解を賜りたく、何卒よろしくお願い申し上げます。ところで、本年度より、建設省「建築工事共通仕様書」の内容が一部変更となりました。これも、機関誌を通じて、御報告申しあげましたので御活用頂ければ幸いです。また、当工業会発行の「シーリング材ハンドブック」も、各方面で御好評を頂き増刷してまいりましたが、前記「共通仕様書」の変更、及び「保証についての見解書」等、内容を若干変更し表紙も新装して平成元年版の発行を予定しております。『役に立

つ広報誌』として、倍旧のお引立を願いつつ、学・官・販・工・材並びに需要家各位の御指導、御鞭撻をお願い申し上げます。

平成元年 4月

広報委員長 小林 茂之
 広報副委員長 山内 雅夫
 広報委員 斉藤聰一郎
 広報委員 船越 カ



日本シーリング工業会の概要

性格と組織

本会はわが国における建築用、土木用シーリング工事の健全な発展と振興を計ることを目的として、昭和38年2月に設立されました。会員はわが国のシーリング材メーカーが加盟し、賛助会員は原材料メーカーおよび取扱業者が加入しており、全国に支部を有する全国的組織であります。

事業

- シーリング管理士の養成
- 日本シーリング工事業団体連合会と連携、材料および工事に対する信頼の確保
- 技術資料の収集と情報の交換
- JIS、JASSへの協力
- 市場調査、需要開発に関する調査研究

発行図書

- 機関誌「シーリング」（年1回）
- シーリングニュース（年3回）
- 建築用シーリング材とその正しい使い方
- シーリング材ハンドブック
- シーリング管理士用テキスト

シーリング
SEALING

第26号（第21巻・第26号）

発行/日本シーリング工業会

東京都千代田区外神田2-2-17（共同ビル万世）

TEL 03 (255) 2841~2 FAX 03 (255) 2183

編集/日本シーリング工業会広報委員会

制作協力・広告/新樹社 東京都中央区銀座8-15-4

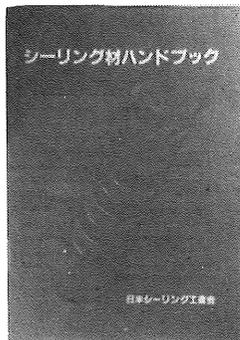
☎03 (542) 9011(代)

平成元年 4月10日印刷
 平成元年 4月15日発行

非売品

< 禁無断転載 >

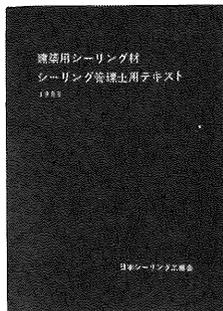
新装・シーリング材 ハンドブック



従来のシーリングハンドブックを全面的に内容改訂、最新情報を随所に盛り込んだシーリング材の案内書が完成しました。シーリング材とその選び方に重点を置き、誌面もA5判に拡大、解り易く見易い構成になっています。お申込みはお早目に！

頒布価格 900円

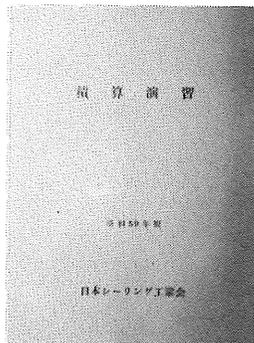
新・建築用シーリング材 シーリング管理士用テキスト 1988



内容も大幅に改訂。教科書サイズとなり携帯にも便利。シーリング材の適材適所の使用、適切な目地設計、正確な施工など種々の知識と技術の向上を旨とした「シーリング管理士」養成講習会の教材であり、シーリング関係者にとって貴重な参考書です。

頒布価格 4,500円

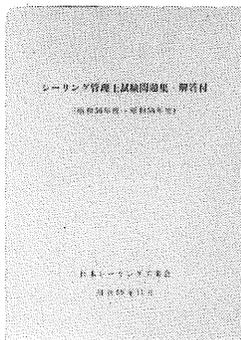
積算演習



図面から正確な目地寸法、延べ長さを拾い出し、材料費、工賃を加えた材工共の単価の算出は施工会社、シーリングメーカーおよび関係者各位にとって重要な業務です。この道のベテランが図面により一からわかり易く順序だてて解説しています。

頒布価格 1,000円

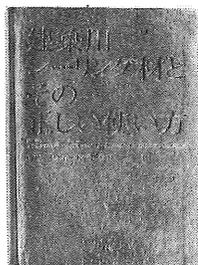
シーリング管理士試験 問題集・解答付(60~62年度)



問題集として最近5年間(60~62年度)のシーリング管理士試験問題を年度別に集約した本書は管理士・技術管理士を志す人のみならずシーリング業務に携わる方々にとって参考となるものです。

頒布価格 1,000円

建築用シーリング材と その正しい使い方

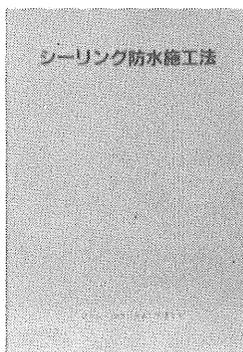


わが国建築用シーリング材の最高権威である・故狩野春一工学博士の監修による、シーリ

ング関係者必読の座右の書。執筆者は故・波多野一郎千葉大学教授、小池迪夫東京工業大学教授、加藤正守千葉大、学助教授をはじめ、わが国シーリング材研究の第一人者および業界関係者多数。設計から材料、施工まで幅広い内容となっています。

頒布価格 4,800円
(会員頒布価格 4,300円)

シーリング防水施工法 改定版



シーリング工事の基本から実践・応用までを最新技術資料を盛り込み解り易く解説した実務参考書。内容は▷ 建築物の基礎知識▷ シーリング防水の基礎知識▷ 良いシーリング防水工事▷ 良いシーリング防水工事のためのディテールシート▷ 故障と補修の一の構成。

日本シーリング工事業団体連合会発行
頒布価格 2,500円

未知への挑戦

〈防水資材・防漏材〉
光栄会

〈防水資材・防漏材・
工具、安全器具・防炎板売〉

株式会社
光栄ショールーム

TEL 03(928)1342

〈防雨・防水工〉
光栄工業株式会社

TEL 03(928)2271(代)

〈防水材、シーリング材、
関連資材販売〉

光栄商事株式会社

TEL 03(928)5811(代)

〈防音・防振工・
防カビ・その他加工・板売〉
光栄加工株式会社

TEL 03(920)2671(代)

 光栄グループ

取締役会長 内田 鶴 鶴

〈関連企業親睦団体〉
グローリー会

多彩に実績を築いて20余年。

よりキメ細かく、信頼にお応えする建築・土木用シリコーン

●1成分形 一般用 オキシムタイプ	シーラント45
●1成分形 防カビ用 オキシムタイプ	シーラント4588
●1成分形 プラスチック用 アルコールタイプ	シーラント72
●1成分形 SSGシール 超高モジュラス	シーラント90
●1成分形 一般用 酢酸タイプ	KE42
●1成分形 高透明 酢酸タイプ	KE420
●1成分形 防カビ用 酢酸タイプ	KE422
●2成分形 建築・土木用 アミノキシタイプ	シーラント70
●2成分形 水平目地用 アミノキシタイプ	シーラント701
●2成分形 耐火目地用 アミノキシタイプ	シーラント74
●3成分形 油性補修用 アミノキシタイプ	シーラント79
●1成分形 コーティング用 水性タイプ	Mコート56
●1成分形 コーティング用 溶液タイプ	Sコート57
●1成分形 ライニング用 オキシムタイプ	KE4573
●2成分形 難燃・充填シール用(フォーム)	KE52A・B
●2成分形 難燃・充填シール用(ゴム)	KE1219A・B

信越化学工業株式会社 03-256-3651

シリコーン事業本部 国内営業第3部
〒101 東京都千代田区神田鍛冶町3-6-7(フジトシビル)

大阪支店 大阪市北区小松原町2-4(大阪富国生命ビル) 〒530 (06) 315-3071
名古屋支店 名古屋市中村区名駅4-27-23(名古屋三井ビル東館) 〒450 (052) 581-6511
福岡支店 福岡市中央区天神1-12-20(日之出東京海上ビル) 〒810 (092) 781-2782

札幌営業所(011)221-6471
仙台営業所(022)264-2777
新潟営業所(025)247-3321
北陸営業所(0776)26-1551

長野営業所(0262)28-9104
北関東営業所(0273)63-2731
広島営業所(082)248-3931
高松営業所(0878)22-3613

sunstar

動くビル

剛から柔へ——現代の建築構造が剛構造から柔構造（動くビル）へと変わったいま、シーリング材は、建物の柔軟性や設計の自由性を支える重要な部材として、設計段階から慎重に検討されています。

サンスター技研は、シーリング材のリーディングメーカーとして、高度化・多様化する建築業界のニーズに、たゆまぬ研究開発と確かな実績でお応えています。

●日本を代表する数々の著名建築物で使用実績を誇るサンスター技研のシーリング材。



●広島厚生年金会館



●六本木アーケードビル

●ホテルアルファ・ド・マム
ザ・パーク

耐候力と対応力に自信あり、
サンスターの
シーリング材。



建築用弾性シーリング材
ペンギンシール

サンスター技研株式会社

本社:大阪府高槻市明田町7番1号 TEL.0726(81)0351
東京支店:東京都港区三田1丁目3番35号(ヤナハビル) TEL. 03(453)9301
名古屋支店:名古屋市中千種区常盤2丁目4番7号 TEL.052(722)6815
大阪支店:大阪府高槻市明田町7番1号 TEL.0726(84)0600